

香川大学博物館

13 年間の歩み



2021.3



ごあいさつ

香川大学博物館が四国初の大学博物館として2008年4月に開館してから13年が経ちました。これまでに学内外からのご支援ご協力を得ながら行った活動を、この要覧「13年間の歩み」でご紹介いたします。企画展は、夏休みには自然系、秋には人文系を基本として計24回開催しました。特別展は、開館前に開催した学外特別展2回を加えると計15回に上ります。合計39回の企画展・特別展では、関連行事としてミュージアム・レクチャー、特別講演会、講演会、セミナー、トークイベント等を開催しました。瀬戸内国際芸術祭2019期間中には、特別講演会「現代アート入門サイトスペシフィックアートとは?」を開催し、瀬戸内国際芸術祭の期間中だけでなく期間外にも国内外から多くの人々が瀬戸内海の島々に訪れるようになるまでの第一歩と軌跡を知り、さらに今後の展開について考えることができました。



香川大学博物館長
寺林 優

2020年2月19日からの特別展「香川大学第五代学長倉田貞美博士の業績」では、倉田博士の「研究者であり続ける姿勢」と「教育者に必要な資質」、さらに学生運動の嵐の中で「大学の矜持を守り抜くための人間性」とは何かを考えることができました。当時も学問の中心は東京でしたが、香川という地方にいながら、どのようにして最新の情報を得て、単に享受するだけでなく発信するための方策は何か、膨大な資料とそれらの詳細な分析にもとづく研究手法は、高度情報化時代である現在において情報にあふれる中、地方大学で研究する私どもが学ぶことが多くありました。さらに総説・レビュー論文は、特定のテーマの単なるまとめではなく、オリジナリティのあるアイデアを創出するものであることは、当時も現在も、人文系と自然系でも変わらず、一流の研究者のみが可能とするものであると再認識しました。そして恩師の存在と生涯を通しての関わりについても深く考えさせられるものがありました。

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、その特別展を会期中の2020年3月14日に早期終了し、その後、臨時休館が1年近く続きました。その間も感染対策を十分にとって、野外で小学生の親子や高等学校の生徒と教員を対象としたフィールド実習を例年と同様に実施することができたのは日常の喜びでした。近年、国立の美術館・博物館ではマスコミと美術館の共催による「ブロックバスター展」と呼ばれる大規模かつ大量動員の展示が多く開催されるようになりましたが、コロナ禍においては、それらはもちろんのこと、中小規模の博物館・美術館においても臨時休館や事前予約制の導入による入館者制限をしなければならなくなっています。大学博物館は、大学での教育と研究の成果を学内外に公開することが目的であり、学芸員養成課程における博物館実習などの機能を有する館もありますが、コロナ禍においては、それらの役割を果たすことができない館も多数生じています。日常のなかで、持続可能な社会に向けて、発信し続ける博物館としての使命や役割を再考することが求められています。

2021年4月からの2年間、大学博物館等協議会の会長校を香川大学博物館が務めることになりました。大学博物館等協議会は、会員相互の緊密な連絡と協力によって博物館活動の進展に寄与し、当面する問題の解決を図っていくために、大学附置の博物館や設置準備委員会、国立博物館等で創設された団体で、加盟館は現在41館です。年に一度介し、大学博物館等が抱える課題と取り組みについて協議・検討し、同時に開催される博物科学会では、教育、情報、研究、地域との連携、展示、マネジメントに係る事例紹介や成果発表が行われ、活発な議論がなされます。会長校としての責務を果たすのはもちろんですが、協議会の伝統を継続するだけでなく、さらなる発展と加盟館の協働・共創のハブとなるよう努める所存です。

理念と目標

香川大学博物館は、香川大学と地域との連携を文化面から深めるために以下のような理念と目標を持って設置されました。

1. 香川大学の教育・研究において蓄積された数万点に及ぶ標本・資料・発明品などの知的財産の収集・保管・研究活動に重点を置く。
2. 香川大学における教育・研究の成果を活かし、地域の自然や文化を研究する市民研究者や郷土史家、小中高の教員、学芸員、サイエンスボランティアなどの研修や交流の場としての「教育・研究型」博物館。
3. 香川大学の教職員がその専門的な知識や経験を生かして、香川県全域に展開するさまざまな博物館・資料館、及び歴史、地理、生物、地学、科学などに関する研究団体などの研究活動を支援する「地域密着型」博物館。

活動

1. 収集・保存

香川大学の全ての学部、各学科、各研究室などに所蔵されている標本・資料のリストを作成しウェブサイトで公開する。大学の教育・研究活動によって増加する標本・資料を収集・保管する。さらに学外から寄贈・寄託される標本・資料を積極的に受託する。



2. 展示・交流

博物館の基本的性格を示す常設展のほかに、学内の教育研究成果や、大学博物館と学外のさまざまな個人、団体との協力によって多様な企画展を開催する。

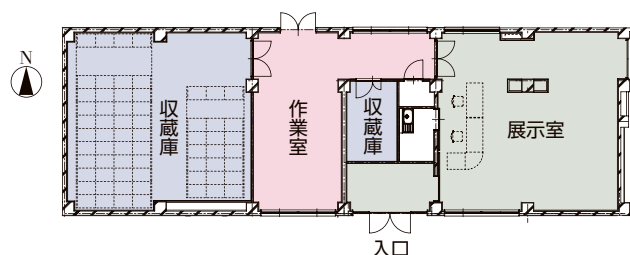
3. 教育・普及

「モノ」を通して、真理を学ぶ生涯学習の場を提供する。本学教職員や学外協力員をミュージアム・アドバイザーとして、学生や学外の個人、団体が共に研究し、学ぶ「協育」を基本とする。多様なテーマのミュージアム・レクチャーを開講する。企画展のテーマにあわせた公開講座を香川大学生涯学習教育研究センターと協力して開講する。



施設

香川大学博物館は、香川大学幸町北キャンパス幸町北1号館の1階にあり、展示室、収蔵庫、作業室を備え、延床面積約250㎡です。



〈高松高等商業学校〉

1928(昭和3)年

9月12日 御大典奉祝事業として商業博物館の設置が決定

1929(昭和4)年

4月26日 商業博物館規定、および主事1名と委員11名が決定
5月9日～12日 第1回臨時展覧会開催
(出品総数1,663点)

〈香川県師範学校〉

1930(昭和5)年

文部省より郷土研究施設費が交付される
→「郷土室」開設

1933(昭和8)年

10月 「郷土館施設概要」刊行

〈香川県女子師範学校〉

1930(昭和5)年

8月 文部省より郷土研究施設費が交付される
→「郷土研究室」開設

1933(昭和8)年

3月 郷土研究室新設(手狭になったため)
9月 「郷土室施設概要並に目録」刊行

1949(昭和24)年

香川大学が発足(経済学部・学芸学部)

1955(昭和30)年

農学部設置(香川県立農科大学が移管)

1956(昭和31)年

神原文庫の寄贈

1966(昭和41)年

学芸学部が教育学部に改称

1978(昭和53)年

香川医科大学開学

1981(昭和56)年

法学部設置

1997(平成9)年

工学部設置

2003(平成15)年

旧香川大学と香川医科大学が統合し、新しい香川大学が発足

2005(平成17)年

- 1月 木村好次学長の指示で大学博物館設置に関する研究会が発足
- 3月 「香川大学『大学博物館(仮称)』設置趣旨」が役員会で承認
- 5月 平成17年度学長裁量経費「大学博物館(仮称)設置計画に関する調査・研究」のため香川大学博物館研究機構が発足(代表 岡野 眞工学部教授)
- 10月 国立大学博物館等協議会にオブザーバー加盟

2006(平成18)年

- 3月 名誉教授座談会「大学博物館について」開催
- 4月 博物館委員会が発足
- 6月 国立大学博物館等協議会に加入
- 12月 「香川大学『大学博物館』設置計画書」が役員会で審議され、「香川大学博物館」として平成19年4月1日付けで設置することが承認

2007(平成19)年

- 1月 第1回学外特別展「香川大学のあしあと」開催
- 4月 図書館・情報機構内に「博物館」設置

2008(平成20)年

- 1月 第2回学外特別展「かがわの里山」、公開シンポジウム「大学の資源を地域の教育に生かす～大学博物館の目指すもの～」開催
- 3月 博物館の竣工
- 4月 ウェブサイトの公開・一般公開開始(24日)

受賞・表彰

〈受賞〉

●平成25年度科学技術分野の文部科学大臣表彰 科学技術賞(理解増進部門)

受賞日：2013(平成25)年4月16日

受賞者：寺林 優(博物館長、工学部教授)・伊藤文紀(博物館副館長、農学部教授)・山本珠美(元博物館副館長、生涯教育研究センター准教授)・松本由樹(農学部准教授)・松下幸司(教育学部附属教育実践総合センター准教授)

業績名：「自然史系標本資料活用の拠点形成による科学への理解増進」

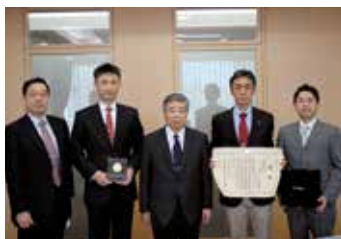
香川県は狭い面積にもかかわらず古くから人口が多く徹底的に開発されてきたため、希少な自然環境はあまり残されていない印象があるが、注目すべき地質や特有の動植物相がみられる。自然史に対する児童生徒および地元住民の理解を深めるだけでなく、自然に関する活動に携わり、さまざまな環境問題の解決にも資する人材の養成が求められている。本活動では、香川大学内に分散している貴重な学術資料を収集し、公開・活用するために、四国初となる大学博物館の設置(平成19年4月)および開館(平成20年4月)に尽力した。学内から異なる専門分野の教員が参画し、企画展、公開講座、講演会、ミュージアム・レクチャーなどを多数開催した。さらに、科学技術振興機構のサイエンス・パートナーシップ・プロジェクトによるフィールドワークを中心とした講座・実習を県内の中学校および高等学校と連携して実施した。本活動により、大学博物館を拠点とした自然史科学に関する学内外との交流および協同が実現し、地元住民の自然史系標本資料に対する関心と意識が高まるなど、科学への理解増進に寄与している。



受賞した5名



表彰式



香川大学長に報告



高松市長を表敬訪問

●平成31年度科学技術分野の文部科学大臣表彰 科学技術賞(理解増進部門)

受賞日：2019(平成31)年4月17日

受賞者：寺尾 徹(元博物館副館長、教育学部教授)・村山 聡(教育学部教授)・寺林 優(博物館長、創造工学部教授)・末永慶寛(創造工学部教授)・畔柳昭雄(日本大学理工学部特任教授)

業績名：「持続可能社会への地域の知恵に学ぶ水環境と減災の理解増進」

地球温暖化に伴う気候の極端化や南海トラフ巨大地震などの災害脅威に対応し、水環境の保全と減災を実装するために、持続可能な社会の仕組みづくりを推進するというグローバル課題への地域社会の関心と機運は、かつてなく高まっている。本活動は、少雨特性を有し、常に水を大切にしてきた讃岐地方の歴史と活動、瀬戸内海をSATOUMIとして育てる先人の歴史に根差した活動、瀬戸内地方のレジリエントで持続可能な海洋空間の活用、南海トラフ巨大地震や地球温暖化に伴う災害特性研究など、瀬戸内地域の水環境保全の知恵を持続可能社会と減災に活かす科学技術のシーズを育て、公園、エクスカージョン、シンポジウム、学会、論文等により、全国および世界へ発信してきた。本活動により、(1)防災対策への意識高揚、(2)震災復興後の地先海域で操業可能な漁場づくり、(3)里海の創生と保全に関する学びと交流の場の拡大等を通して、グローバルな持続可能社会の実現をめざし、地域社会における水環境と減災についての理解の増進、そして、レジリエントな地域社会に向けた科学技術に対する理解の増進に寄与している。



表彰式



林芳正前文部科学大臣に受賞を報告

〈受賞〉

● 令和2年度高松市文化奨励賞（顕彰部門）

受賞日：2020（令和2）年11月2日

受賞者：寺林 優（博物館長、創造工学部教授）

分野：文化総合（博物館活動）

香川大学博物館の構想・設置・運営において主導的役割を果たすとともに、多数の展覧会及び関連行事を企画・実施し、博物館活動を通じて、広く市民に対する自然科学及び文化芸術の教育普及に尽力した。また、市内における「小惑星探査機『はやぶさ』帰還カプセル展」や瀬戸内国際芸術祭2019特別講演会等、話題性の高い企画において中心的役割を担った。さらに、高松市子ども未来館運営協議会委員、高松市歴史資料館運営協議会委員に就任し、市施設の運営に協力している。特に、高松市子ども未来館については、展示設計に携わり、体験教室の講師を務める等多大な貢献を果たしている。



贈呈式（右から2人目）



香川大学長に報告

〈表彰〉

● 感謝状贈呈

2010年10月1日 大屋 崇氏 第2回企画展「昆虫のふしぎ」展示協力（学長表彰）

2012年2月15日 福田隆宥氏 南極の岩石2点、関連書籍1冊の寄贈

2012年5月9日 長坂直比路氏 第7回企画展「おいしいお肉の向こうには…」展示協力及び公開講座講師

2012年5月9日 NPOたけとよ・武豊はやぶさ実行委員会 第8回企画展「小惑星探査機『はやぶさ』帰還カプセル展」展示協力

2012年5月15日 財団法人日本宇宙少年団香川小惑星分団 第8回企画展「小惑星探査機『はやぶさ』帰還カプセル展」共催（学長表彰）

2013年12月5日 渡辺義雄氏 送信管2点の寄贈

2015年11月19日 丸岡正明氏 砂金3点の寄贈

2015年11月19日 瀬戸修一氏 パソコン・ディスプレイ・プリンタ5点の寄贈

第8回企画展共催団体に感謝状贈呈（学長表彰）

香川大学博物館は、同大博物館第8回企画展「小惑星探査機『はやぶさ』帰還カプセル展」の共催団体である財団法人日本宇宙少年団香川小惑星分団（岡内尊重分団長）に対して感謝状を贈呈した。2012年5月15日に行なわれた贈呈式では、阪本副学長および寺林博物館長の列席のもと、長尾学長から感謝状が贈られた。

同分団は、平成13年5月に結成以来、児童・生徒らを対象に各種の天体観測会の開催、水ロケットの作成・発射や、宇宙と同じ真空条件を作り出す実験等の実施、山崎直子宇宙飛行士や吉川真「はやぶさ2」プロジェクトマネージャーらによる講演会の開催など、通算200回近い活動を続けて来ている。それらの活動が評価され、4月6日には国際宇宙天文学連合が、美里スペースガードによって発見された小惑星に岡内尊重分団長の名前から「Okauchitakashige」と命名した。

企画展の共催は、同大博物館の機能のひとつである「学外のさまざまな個人・団体との協力によって多様な企画展示を行なう」にもとづく要請に応えたものであった。2011年10月20日から24日までの会期中の入場者は10445人に上り、同分団による「はやぶさ」帰還カプセル類や実物大模型の解説は、来場者へのアンケートでも、解説によって理解や関心がより深まったという回答が多くみられた。



特別講演会であいさつする岡内分団長



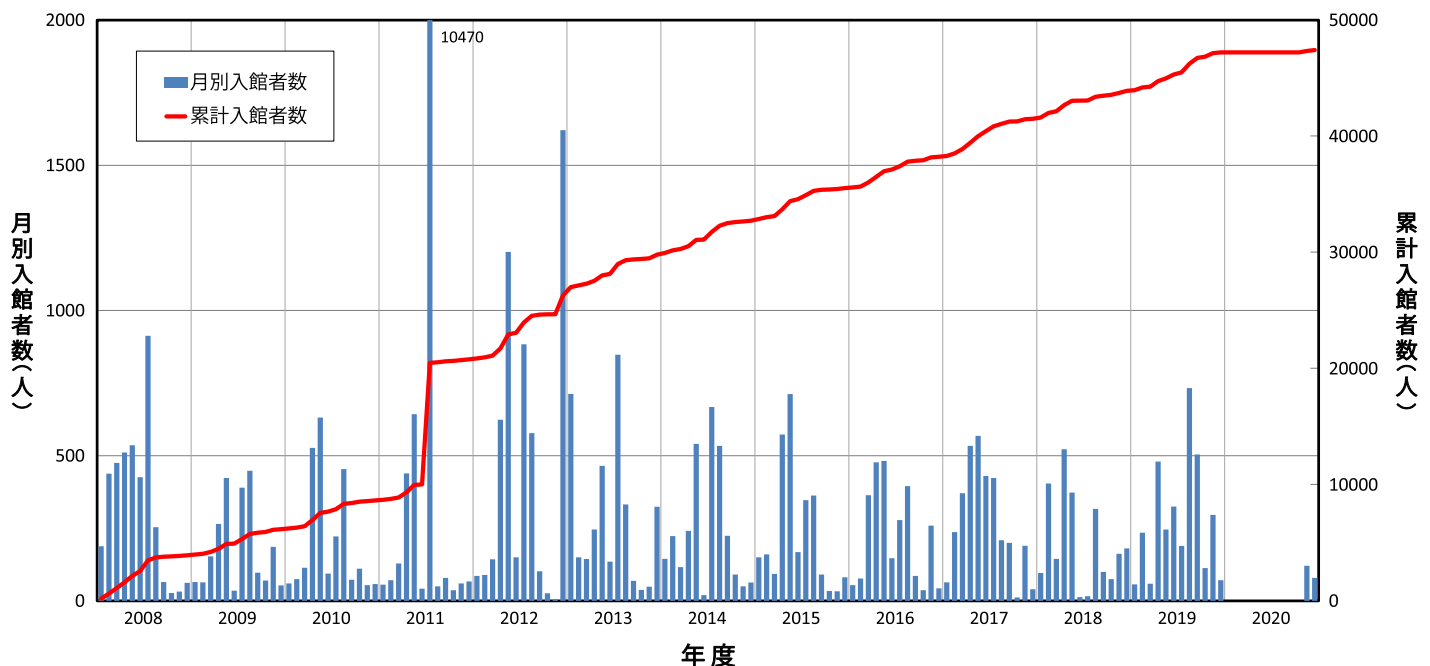
香川大学長から感謝状の贈呈

入館者数・主な団体

年度	入館者数 (利用者数)	開館日数	香川大学関係	学校・PTA等	その他
2008 (平成20)	3,927人 (4,016人)	210日	教育学部：専門科目「社会教育 課題研究Ⅱ」、同窓会連合会 「ホームカミングデー」	香川県立高松東高等学校、香川県立高松南高等 学校、香川県立香川中央高等学校、香川県立琴 平高等学校、岡山龍谷高等学校、香川大学教育 学部附属坂出中学校、高松市立亀阜小学校、香 川大学教育学部附属特別支援学校、讃岐学園、 西春日保育所学童保育	日本昆虫学会第68回 大会、三木町文化財 保護協会、三豊市消 費者友の会、第1回日 本地学オリンピック
2009 (平成21)	2,249人 (2,249人)	228日	全学共通科目：学問基礎科目 「地学P」、教養ゼミナール「街の 化石と岩石」、経済学部：専門 科目「観光地理学」、工学部：専 門科目「数理演習Ⅱ」、地学サロ ン	香川県立三本松高等学校、香川県立三木高等学 校、香川県立高松南高等学校、香川県立香川中 央高等学校、香川県立琴平高等学校、香川県立 高瀬高等学校、香川大学教育学部附属高松中 学校、香川大学教育学部附属高松小学校、二番丁 幼稚園	コズミックカレッジ2009、 第2回日本地学オリ ンピック
2010 (平成22)	2,473人 (2,524人)	215日	全学共通科目：教養ゼミナール 「街の化石と岩石」、生涯学習教 育研究センター：公開講座「讃 岐ジオサイト探訪」、同窓会連合 会「ホームカミングデー」	香川県立三木高等学校、香川県立香川中央高等 学校、高松市立桜町中学校、高松市立亀阜小 学校、香川県立高松養護学校、香川大学教育学 部附属特別支援学校、岡山県立笠岡商業高等学 校PTA、鳥取中央育英高等学校PTA	和歌山市立博物館
2011 (平成23)	12,143人 (12,252人)	211日	全学共通科目(夜間主コース)： 学問基礎科目「地学」、経済学 部：専門科目「演習」、農学部・ 工学部：教職科目「地学実験」	埼玉大学教育学部、高松市立高松第一高等学 校、高松市立紫雲中学校、高松市立亀阜小 学校、高松市立新番丁小学校、香川大学教育学 部附属高松小学校	宇宙少年団香川小惑 星分団
2012 (平成24)	5,510人 (5,570人)	213日	全学共通科目：学問基礎科目 「地学G」・「歴史学A」、経済学 部：専門科目「演習」・「観光資 源論」、同窓会連合会「ホームカ ミングデー」	名古屋工業大学、香川県立三木高等学校、香川 県立高松南高等学校、 香川県立香川中央高等学校、香川県立丸亀高 等学校、香川県立善通寺第一高等学校、香川 県立高瀬高等学校、香川県立藤井高等学校、 広島県立尾道北高等学校、高松市立扇町保 育所	コズミックカレッジ2012、 名古屋市科学館、ど りいみんぐアカデミー
2013 (平成25)	3,513人 (3,726人)	211日	全学共通科目：外国語 「Communicative English IV」、 学問基礎科目「地学A」、男女 共同参画推進室「児童サマース クール」	山口大学、香川県立高松東高等学校、香川県立 高松南高等学校、香川県立善通寺第一高等学 校、岡山県立美作高等学校、香川大学教育学 部附属高松小学校、愛媛県立大洲高等学校PTA	高瀬大学(三豊市高 瀬公民館講座)、次世 代リーダー養成ゼミナ ール(四国地区大学教職 員能力開発ネットワ ーク)、三豊市財田町公 民館、宇宙少年団香 川小惑星分団
2014 (平成26)	2,916人 (3,406人)	220日	全学共通科目：学問基礎科目 「地学A」・「地学P」、農学部・工 学部：教職科目「地学実験」、同 窓会連合会「ホームカミングデー」	香川県立三木高等学校、香川県立高松高等学 校、香川県立高松商業高等学校、香川県立高 松東高等学校、香川県立高松西高等学校、香 川中央高等学校、香川県立丸亀高等学校、 徳島県立池田高等学校、岡山県立美作高等学 校、兵庫県立山崎高等学校、高松市立桜町中 学校、高松市立下笠居小学校	第55回中国四国地区 大学図書館研究集会
2015 (平成27)	2,805人 (3,358人)	189日	全学共通科目：学問基礎科目 「地学A」・「地学P」、主題科目 「生命と環境」	香川県立高松西高等学校、香川県立高松桜井高 等学校、香川県立丸亀高等学校、香川県立善 通寺第一高等学校、香川大学教育学部附属特 別支援学校高等部、徳島県立脇町高等学 校、徳島県立池田高等学校、岡山県立笠岡商 業高等学校、岡山県立玉野高等学校、兵庫 県立芦屋高等学校、鳥取県立米子西高等学 校PTA	第8回日本地学オリ ンピック
2016 (平成28)	2,699人 (3,425人)	202日	全学共通科目：学問基礎科目 「地学A」、主題科目「地形地質 からみた讃岐の風土」・「動物の エサ・ヒトの食料」、経済学部：専 門科目「プロゼミナール『四国遍 路を観光の視点から考える』」、 男女共同参画推進室「児童サ マースクール」、同窓会連合会 「ホームカミングデー」	香川県立高松商業高等学校、香川県立高松西高 等学校、香川県立香川中央高等学校、香川 県立高松桜井高等学校、香川県立坂出高等学 校、香川県立丸亀高等学校、高松市立高松第 一高等学校、兵庫県立西宮東高等学校、学 校法人山陽学園山陽女子中学校、高松市立 亀阜小学校	かがわ宇宙教育推進 協議会、第9回日本 地学オリンピック

年度	入館者数 (利用者数)	開館日数	香川大学関係	学校・PTA等	その他
2017 (平成29)	3,278人 (3,771人)	189日	全学共通科目：学問基礎科目「地学A」、主題課目「地形地質からみた讃岐の風土」、教員免許更新講習：選択講習「地球とその歴史を探る」、男女共同参画推進室「児童サマースクール」	香川県立三木高等学校、香川県立高松東高等学校、香川県立香川中央高等学校、香川県立高松桜井高等学校、香川県立坂出高等学校、香川県立丸亀高等学校、香川県立善通寺第一高等学校、香川県立琴平高等学校、高松市立高松第一高等学校、大手前丸亀高等学校、岡山県立総社南高等学校、岡山県立美作高等学校、兵庫県立西宮東高等学校、香川大学教育学部附属高松小学校、高松市立瀬戸内保育所、兵庫県立姫路飾西高等学校PTA、兵庫県立姫路高等学校PTA	かがわ宇宙教育推進協議会、高松市男女共同参画センター、広島県府中町南部町内会連合会
2018 (平成30)	2,404人 (2,783人)	160日	全学共通科目：主題C「地形・地質から見た讃岐の風土」、男女共同参画推進室「児童サマースクール」	大阪産業大学、香川県立三木高等学校、香川県立香川中央高等学校、香川県立高松西高等学校、香川県立坂出高等学校、岡山県立倉敷鷺羽高校、岡山県立玉野高等学校、高松市立勝賀中学校、学校法人みつ朝日学園、朝日塾中等教育学校、高松市立亀阜小学校、高松市立東植田小学校	かがわ宇宙教育推進協議会、高松市男女共同参画センター、大学博物館等協議会2018年度大会・第13回日本博物科学会
2019 (平成31・令和元)	3,308人 (3,870人)	185日	全学共通科目：主題C「地形・地質から見た讃岐の風土」・地学P、経済学部夜間主コース「地学」、教員免許状更新講習：選択講習「地球とその歴史を探る」、男女共同参画室「児童サマースクール」、同窓会連合会「ホームカミングデー」	香川県立三木高等学校、香川県立香川中央高等学校、香川県立高松桜井高等学校、香川県立高松西高等学校、高松市立第一高等学校、香川県立丸亀高等学校、香川県立善通寺第一高等学校、香川県立小豆島中央高等学校、大手前丸亀高等学校、岡山県立倉敷鷺羽高等学校、高松市立鶴尾中学校、高松市立勝賀中学校、高松市立扇町保育所	第19回日本地質学会四国支部総会・講演会
2020 (令和2)	200人 (351人)	15日	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため団体見学なし		

入館者数



常設展示

教育学部

国分台遺跡の
含火山灰土と旧石器
(坂東祐司先生からの贈り物)



教育学部

北投石
(中華民国台北市北投温泉)



教育学部

瀬戸内海産貝類標本
(畠山祥一郎コレクション)



法学部

英国単語圖解
市川央坡2巻明治5~7刊
(香川大学神原文庫)



経済学部

弥生土器
(農学部遺跡・約2300年前)



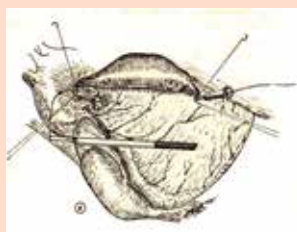
経済学部

足跡剥ぎ取り標本
(農学部遺跡・奈良時代末期)



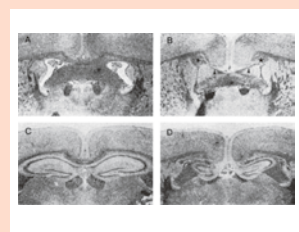
医学部

ワイヤーガイドナイフ
(心臓血管手術用メス)



医学部

脳梁欠損マウス
(回避学習用の実験動物)



創造工学部

摩擦試験機
(昭和49年製)



創造工学部

香川発超小型人工衛星
(2009年打上げKUKAIの模型)



創造工学部

岩石
(世界最古の岩石など)



創造工学部

長尾断層剥ぎ取り標本
(香川県三木町水上)



農学部

香川の昆虫今昔
(里山の生物相の変遷)



農学部

香川大学オリジナルワイン
ソヴァージュヌ・サヴルーズ
(農学部交配品種「香大農R-1」使用)



農学部

酒米「さぬきよいまい」
(1990年から農学部で
育種がスタート)



農学部

希少糖
(自然界での存在量が少ない
糖の大量生産に成功)



コレクション

神原コレクション

旧香川大学初代学長の神原甚造氏（1884-1954）によって収集された器物コレクション。

神原氏は、1884年に香川県多度津町で生まれ、第三高等学校を経て京都帝国大学で刑法を学ぶ。高校時代から「明星」に短歌を出詠。1911年、京都地裁判事に任ぜられる。1918年から創刊号雑誌の収集を開始し、1921年から京都を中心に古書を収集し、1925年の大審院判事就任後は東京で西洋文明移入期の諸文献を収集した。1945年の大審院部長退任を機に収集を終え、1948年に弁護士登録。1950年に旧香川大学の初代学長となり、1954年に在職中64歳で病没。神原氏の膨大な旧蔵図書・資料約12,000点、16,560冊（和漢書15,890冊、洋書670冊）は、「神原文庫」として香川大学図書館に収蔵されている。江戸時代後期から明治初中期にかけて、日本が西洋の文物を摂取して急速に近代化して行った時代の蘭学関係書をはじめとする外国語の辞書や文法書、数学や物理の教科書、各種新聞や錦絵版画など様々な資料があり、世界に一冊しかないといわれる非常に貴重な資料も含まれる。その一方で、器物等の収集物についてはあまり知られていないが、置物、脇差、キセル、鏡、版本挿絵版木、株札、鑑札、通行手形など多岐にわたる。香川大学図書館に収蔵されていた全44点が香川大学博物館に移管された。

岩崎コレクション

岩崎正夫氏（1922-2016）によって国内外で採取された岩石鉱物標本コレクション。

岩崎氏は、1922年に中国大連で生まれ、1945年旅順工科大学卒業、同年同大学講師、戦後引き上げ後に東京大学大学院で学び、1953年徳島大学学芸学部助手、1955年同講師、1962年同助教授、1971年同教育学部教授、1985年同総合科学部教授、1988年に退官し徳島大学名誉教授。1994年から岩崎地質研究所所長。1988年から1994年まで応用地質株式会社技術顧問、1996年から2006年までラピス大歩危・石の博物館館長を務めた。1962年に東京大学から理学博士の学位を授与、2006年に日本岩石鉱物鉱床学会「渡邊萬次郎賞」を受賞。岩崎氏は、変成岩岩石学および地域地質学の分野を中心に活躍し、重要な論文を国内誌と国際誌に数多く発表した。1960年代後半には、海洋地殻から上部マントルにかけての連続した層序がみられる岩体であるオフィオライトの重要性に着目し、四国の三波川帯低温部に分布する御荷鋒帯の研究を行い、プレートテクトニクスに基づく日本列島形成史の構築に重要な貢献をした。岩崎コレクションは、変成岩、火成岩、堆積岩に加え、多種の鉱物および鉱石の結晶などからなり「もろぶた」300箱以上にも及ぶ。岩崎氏の貴重なコレクションに対しては、他の大学博物館などから受け入れの申し出があったが、岩崎氏から本館に寄贈の申し出があり、2012年に受け入れを開始した。

佐藤コレクション

栗林公園の東側にあった栗林公園動物園（1930年開園、2002年休園、2004年閉鎖）元鳥類研究員の佐藤勤氏（1932-2014）によって製作された剥製標本コレクション。

佐藤氏は、三木町文化協会剥製部会会長として、同会会員らと剥製の製作技術を研鑽した。1976年には、剥製会館の建設を計画し、その後自宅敷地内に建設されるに至った。佐藤コレクションは、鳥類を中心として、哺乳類、爬虫類など総数700点以上にも及ぶ。ほとんどが本剥製と呼ばれる標本で、動物たちが生きていたときのもっとも美しかった姿を再現し、動物たちが生きていた証の一コマを観察できるように製作されている。現在では収集が困難な種の標本も多数含まれており、学術的にも極めて価値の高いものである。晩年、コレクションの保存を危惧した佐藤氏から寄贈の打診があり、没後、ご遺族から寄贈の申し出があって受け入れを決定し、2014年から受け入れを開始し、データベース化を進めている。希少種の受け入れに際しては、「絶滅のある野生動植物の種の保存に関する法律」（種の保存法）で定められた措置に従い、環境省に届け出ている。



森田コレクション



森田政雄氏（暁峰）（1923-2012）によって製作された拓本作品コレクション。

森田氏は、1973年に東洋書道会、1979年に日本拓本研究会に入会し、1979年には東洋書道会の師範。1992年にはNHK文化センター高松教室で「楽しい拓本と表装」講師を務め、1994年には著書「讃岐の文学碑」を上梓した。日本各地にひっそりと建っている石碑は先人が残した郷土の貴重な文化の証であるが、中には失われてしまうもの、劣化し読み取れなくなるもの、所在地が変わってしまうものなどがある。こうしたなかで、森田氏は香川県内だけでなく日本各地を巡り、石碑に刻まれた文字を墨で写し取り、表装を施して、拓本作品として数多く残し、香川県内各地でたびたび拓本展を開催した。森田氏のご遺族から寄贈された137点の拓本作品からなる。

データベース

学術標本資料の情報を一元的に管理し、学内の教職員や学生はもとより、学外の方々も情報を利用できるようなデータベースの構築をめざして整備を進めています。現時点では、登録・収蔵標本の概要についてウェブサイト上で紹介するとともに、農学部保管されている1960年代に採集された昆虫標本(松沢コレクション)を中心とした所蔵標本のデータベースを作成中です。これまでに1,841個体の標本が整理されていますが、まだ膨大な量の標本が未整理のままです。今後は、2001年に活動が始まった国際科学プロジェクトであるGBIF(Global Biodiversity Information Facility=地球規模生物多様性情報機構)にも利用可能な形式のデータベース化を進めます。他の標本資料のうち、まとまったコレクションについては、データベース化を進め順次公開しています。

松沢コレクションの一部

	オオミドリシジミ		シータテハ
	香川県三木町		香川県三木町
	1958年6月5日		1958年8月6日
	Saekusa, K		Saekusa, K
<p>香川県では準絶滅危惧種に指定されており、近年三木町周辺では見ることはまれ。</p>		<p>西南日本で近年ほとんど記録がなく、各県で絶滅種とされている。香川県でも1980年代を最後に記録が途絶えている。</p>	

香川大学博物館のウェブサイトでは、標本資料のデータベースに加え、これまでに開催した「学外特別展」と「企画展」の展示パネル等も公開しています。

モバイルミュージアム

博物館の所蔵標本をテーマごとにパッケージ化し、香川大学サテライトオフィス、小中学校の空き教室、廃校舎等を活用して展示し、レクチャーや体験教室を合わせて開催するという計画です。モバイルミュージアムを通して、児童生徒や一般市民の特に自然史に対する理解を深めることを目的とします。さらに、高等学校の理系クラスや自然科学部の生徒を対象に、講義、野外実習および成果報告会を行います。これらを通じて、将来地元の自然に関する活動に携わる人材養成することを目指しています。

モバイルミュージアムの試みとして、財田町自然観察同好会の協力で三豊市財田町公民館で展示を行いました。

2015年1月7日～4月12日 「財田町に生息する哺乳類と鳥類」

2015年6月1日～8月31日 「アリの世界」

2015年12月11日～2016年3月31日 「カメの世界」

また、博物館の所蔵標本をトランクキットとして持ち出すことで、児童や生徒が授業で学んだことを標本で確かめることが可能になります。2015年4月28日～5月には、香川大学農学部遺跡出土の弥生時代土器(つぼ)1点、石器(石包丁)1点を高松市立新番丁小学校に貸し出し、6年生の学習で活用されました。

2015年11月28日～2016年1月11日には、国営讃岐まんのう公園自然生態園の四国の自然の恵みに触れて感じる展「屋島の動植物-香川大学天然記念物屋島調査団の成果より-」に協力しました。2017年1月29日、2018年1月28日、2019年1月27日には、三木町こどもまつりに「むしむし博物館」を出展し協力しました。

2016年11月23日にオープンした高松市こども未来館には、剥製標本等を貸し出し、科学展示室で展示されています。



特別展

サヌカイト標本展示開始記念式典

年月日：2005年7月11日(月)
 会場：香川大学工学部3号館1階エントランスホール
 内容：工学部創設時に前田聖一氏より寄贈されたサヌカイトの標本を展示



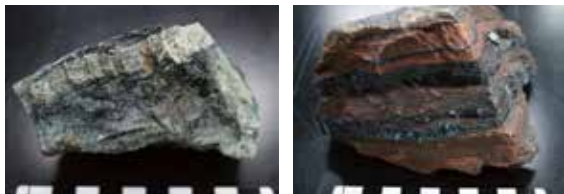
木村好次学長退任記念特別展

期間：2005年9月20日(火)～11月3日(木)
 会場：香川大学工学部3号館1階エントランスホール
 内容：木村好次学長の研究業績に対して贈られたトライボロジーゴールドメダルに関する展示

緊急展示

「アスベスト問題(1) アスベストとは何か」

年月日：2005年11月3日(木)
 会場：香川大学工学部2号館1階
 内容：工学部オープンキャンパスでアスベスト原石を展示



The Wonder Box

ユニヴァーシティ・ミュージアム合同展

期間：2006年11月4日(土)～12月17日(日)
 会場：東京藝術大学大学美術館
 主催：東京藝術大学大学美術館
 内容：「会話する足跡-香川大学農学部遺跡」を出品

■2007年度香川大学公開シンポジウム

大学の資源を地域の教育に生かす ～大学博物館の目指すもの～

年月日：2008年1月24日(木)
 講師：林 良博(東京大学総合研究博物館長)
 田井静明(香川県歴史博物館主任専門職員)
 丹羽佑一(香川大学博物館長、香川大学経済学部教授)
 清國祐二(香川大学生涯学習教育研究センター長)
 会場：高松市生涯学習センターまなびCAN 多目的ホール
 参加者：80名
 主催：香川大学生涯学習教育研究センター
 共催：香川大学博物館

第1回学外特別展「香川大学のあしあと」

期間：2007年1月23日(火)～28日(日)
 会場：ヨンデンプラザ高松1階ギャラリー
 入場者：911名



第2回学外特別展「かがわの里山」

期間：2008年1月22日(火)～27日(日)
 会場：ヨンデンプラザ高松1階ギャラリー
 入場者：507名



特別展

開館
5周年記念
特別展

フクイサウルスがやってきた！～骨から学ぶ生物進化～

期 間：2013年3月7日(木)～4月7日(日)

入場者：2,185名

2013年4月に開館5周年を迎えるにあたって特別展を開催し、福井県立恐竜博物館の協力でフクイサウルス・テトリエンシスとフクイラプトル・キタダニエンシスの復元全身骨格標本、株式会社日本ドルフィンセンターの協力でスマメリの骨格標本、本館所蔵のヒト、黒毛和牛、ネコ、ニワトリ等の骨格標本を展示



後 援：社団法人香川県獣医師会

協 力：福井県立恐竜博物館、株式会社日本ドルフィンセンター

協 賛：株式会社桜製作所、近藤電子株式会社、太洋物産株式会社、株式会社成豊堂、株式会社レアスイート



第26回
ミュージアム
レクチャー

「骨付き鳥の恐竜学」

年月日：2013年3月16日(土)

講 師：松本由樹(特別展実行委員、農学研究院准教授)

会 場：香川大学博物館

参加者：33名



骨付き鳥の恐竜学

第27回
ミュージアム
レクチャー

「クジラの祖先は4本足で陸上を歩いていた」

年月日：2013年3月28日(木)

講 師：石川 創(公益財団法人下関海洋アカデミー鯨類研究室室長)
寺山弘樹(株式会社日本ドルフィンセンター代表取締役社長)

会 場：e-とびあ・かがわ 5階 BBスクエア

参加者：60名



クジラの祖先は4本足で陸上を歩いていた

特別展

時代を駆け抜けた銀塩カメラ—フィルムカメラ40台の展示—

期 間：2014年3月7日(金)～3月29日(土)

入場者：259名

露出計がカメラに搭載される1960年以前のカメラから、マイクロコンピュータが搭載されてシャッター速度や絞り設定の自動化が進んだ1980年前後までのフィルムカメラ(銀塩カメラ)約40台を展示。ヒューマン・マシン・インターフェイスに関わる分野の研究者の個人所蔵品の一部。いずれもベストセラーの機種で記憶にあるカメラも少なくなく、どのカメラも自身でオーバーホールしてあり、フィルムを通せば撮影できる状態。「北欧のキオク」と題して、撮りためてきたスウェーデンを中心とする北欧の写真を合わせて展示し、街並みの美しさ、生活の豊かさランキング第2位のライフスタイルを紹介



協 力：鈴木桂輔(香川大学工学部准教授)

特別
講演会

「3D and Finland」

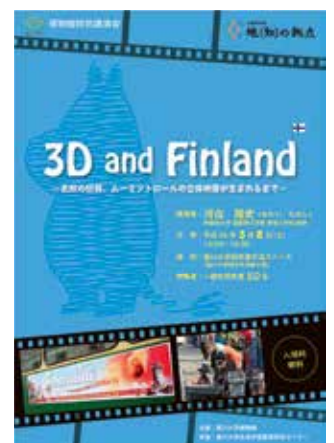
—北欧の妖精、ムーミントロールの立体映像が生まれるまで—

年月日：2015年3月8日(土)

講 師：河合隆史(早稲田大学基幹理工学部表現工学科教授)

会 場：香川大学研究交流棟5階 研究者交流スペース

参加者：30名



特別展

教授を魅了した大地の結晶—北川隆司 鉱物コレクション—

期 間：2014年10月1日(水)~11月3日(月) 入場者：820名

故 北川隆司広島大学教授(1949-2009)は、粘土鉱物を主な研究テーマとし、鉱物学の基礎から地震・災害・環境問題までを広く研究。一方で熱心な鉱物収集家で、野外調査などで世界各地におもむき、その生涯にわたって収集した専門性と趣味性を兼ね備えた鉱物コレクション約2,000点の中から、色・輝き・結晶の形などが美しく自然の造形を感じることが出来る選抜された標本約200点を北川ふさえ様と北川研究室卒業生によるご協力で開催。世界結晶年(IYC2014)の趣旨に賛同して実施



共 催：日本鉱物科学会、日本粘土学会、日本結晶学会
協 力：国立科学博物館



第35回
ミュージアム
レクチャー

「教授を魅了した大地の結晶 ミュージアム・トーク」

年月日：2014年10月4日(土)・18日(土)
講 師：谷山 穰(香川大学名誉教授)
会 場：香川大学博物館展示室
参加者：1日目 18名
2日目 22名



特別展

神原文庫で見る幕末・明治の食文化と西洋文明

期 間：2016年3月11日(金)~3月26日(土) 入場者：75名

「日本の夜明け」と称される幕末から明治の世への時の変化は、日本人の生活を急速に西洋化へと誘いました。明治期における我が国の西洋文明(金融、事業、商習慣、教育、食文化、衣装、街並み)の変容を見るために、本展示では旧香川大学初代学長・神原甚造先生が残された明治時代の資料を豊富に有している神原文庫から明治の世の中を垣間見られる「食文化」や「時代背景」に関する資料を展示。明治後期から昭和初期にかけて一般に普及した、代表的な西洋家庭料理のレシピを揃えて展示



主 催：香川大学図書館
共 催：香川大学博物館
協 力：加藤みゆき(香川大学教育学部教授)



トマト入りオムレツ(オムレット・オウ・トマト)

材 料(5人前)

玉子……………10個
牛乳……………90ml(5勺)
パセリ……………10本
バター……………大2(10匁)
トマト・ケチャップ…大5
塩……………小1
コショウ……………小1
味の素……………少々

ト
コ
ロ
ク
レ
シ
ョ
ウ

- ①赤く熟したトマトの薄皮を剥き、横に2つに切り、軽くつかんで種を絞りだし、果肉を2分角位のさいの目切りに切っておく。トマトの皮を容易に剥くには、熱湯の中に1分間浸すか上から熱湯を2回くらいかけると良く剥けます。
- ②パセリは微塵切りにしておきます。
- ③鉢に玉子を割り、これに、牛乳90ml、塩小1、こしょう小1、味の素 耳かき3杯くらいを入れて、よくかき混ぜて玉子汁を作っておきます。

- ①きれいに拭いたフライパンにバター小1位を入れて火にかけ、よく溶けたところへ玉子汁をお玉杓子に2杯(玉子2個分くらい)を入れ、トマトと刻みパセリとを5分の1程手早く平らに散らして加え混ぜ、玉子が半熟になったころ2つに折り返してふくらと焼き上げて皿に取ります。
- ②次に小1のバターを溶かして前のように焼きます。
- ③西洋皿に盛り、トマト・ケチャップ大1を添えて、パセリを飾って温かいところを勧めます。



特別展

パンチを予見する男 福田直樹写真展 ～渡米15年の軌跡～

期 間：2017年2月3日(金)～2月18日(土)

入場者：205名

福田直樹氏はボクシングカメラマン。2001年に渡米し、ラスベガスを拠点に全米各地で年間約400試合を撮影。パンチのインパクト、決定的瞬間をとらえる能力において並ぶものはなく、本場で極めて高い評価を受け続ける。2008年に世界で最も権威がある米国の専門誌「リングマガジン」にスカウトされ、同誌のメインカメラマンを8年間勤めた。2010年から2014年にかけてBWAA(全米ボクシング記者協会)の最優秀写真賞を4度受賞という快挙を成し遂げる。2012年のWBC(世界ボクシング評議会)フォトグラファー・オブ・ザ・イヤーにも選出されている。2016年に帰国し、日本のボクシング、ファイターの写真を世界各地に発信する活動を行っている。写真の他にカメラ、表彰盾、クレデンシャル(記者証)などを展示



香川大学博物館特別展

パンチを予見する男 福田直樹写真展 ～渡米15年の軌跡～

会 期：2017年2月3日(金)～2月18日(土)
日・月曜日休館 2月11日(土)特別開館
OPEN 10:00～16:00 入場無料
会 場：香川大学博物館(高松市幸町1-1 幸町北1号館1F)
TEL:087-852-1300

■トークイベント@香川大学研究交流棟5F
2月4日(土)10:00～11:30(9:30受付開始・申込不要)
福田直樹 × 末永慶寛 × 寺林 優

福田直樹氏、末永慶寛氏、寺林優氏によるトークイベントの様子。福田直樹氏は「パンチを予見する男」として知られるボクシングカメラマン。末永慶寛氏はボクシングリサーチャー、寺林優氏は香川大学博物館長。トークイベントでは、福田直樹氏の渡米15年の軌跡や、ボクシングカメラマンとしての経験、そして日本のボクシング界の現状について話し合った。

トーク
イベント

「福田直樹×末永慶寛×寺林 優」

年月日：2017年2月4日(土)

講 師：福田直樹(ボクシングカメラマン)
末永慶寛(ボクシングリサーチャー、香川大学工学部教授)
寺林 優(香川大学博物館長、香川大学工学部教授)

会 場：香川大学研究交流棟5階
参加者：58名



福田直樹氏

特別展

K-Lovers Photographers 写真展 ～香川で生まれた、ファインアート写真家集団～

期 間：(前期)2017年9月12日(火)～9月23日(土)
(後期)2017年9月26日(火)～10月7日(土)

入場者：472名

「K-Lovers Photographers」は、写真家所幸則氏が主宰するアートとして香川を撮り続けるファインアート写真家集団。そこから選抜されたメンバー8名の作品を前期後期に分けて展示。見慣れた香川県内の風景を彼らが独自の視点で写すことでそこに新たな価値が見いだされていく。選抜メンバー各々の世界観が見られる展示



香川大学博物館特別展

K-Lovers Photographers 写真展

～香川で生まれた、ファインアート写真家集団～

会 期：2017年9月12日(火)～9月23日(土)
(後期)2017年9月26日(火)～10月7日(土)
会 場：香川大学博物館(高松市幸町1-1 幸町北1号館1F)
TEL:087-852-1300

K-Lovers Photographersは、写真家所幸則氏が主宰するアートとして香川を撮り続けるファインアート写真家集団。そこから選抜されたメンバー8名の作品を前期後期に分けて展示。見慣れた香川県内の風景を彼らが独自の視点で写すことでそこに新たな価値が見いだされていく。選抜メンバー各々の世界観が見られる展示

トーク
イベント

「所 幸則×寺林 優×若井健司」

年月日：2017年9月16日(土)

講 師：所 幸則(写真家、大阪芸術大学客員教授)
寺林 優(香川大学博物館長、香川大学工学部教授)
若井健司(声楽家、香川大学教育学部教授)

会 場：香川大学オーリースクエア
参加者：21名



左：若井健司氏 右：所 幸則氏

特別展

所幸則写真展 ～香川が生んだ、時のWizard～

期 間：2017年10月10日(火)～10月21日(土) 入場者：154名

1992年世界写真見本市「フォトキナ92」で「世界の新しい表現者」の日本代表として作品が選ばれ、その後、海外の雑誌に何度も特集が組まれる



など国内外で活躍している高松市出身の写真家所幸則氏の写真を展示。独特の世界観が写し出す時間と空間の歪みの中を浮遊しているような作品は、写真の枠組みを超え世界的にも類い稀なアーティストとして写真界以外からも注目されている。所幸則氏の初期から最新作までの世界を一貫して見通すことが出来る展示



「写真の意味が変わってきた理由とは、これからの写真は？」

年月日：2017年10月12日(木)
講 師：所 幸則 (写真家、大阪芸術大学客員教授)
会 場：香川大学オーリーブスクエア
参加者：43名



特別展

Bangladesh国境沿いのエスニックマイノリティの世界 ～本邦初！クミ民族・ムロ民族のくらしをのぞいてみませんか？～

期 間：2017年12月8日(金)～12月28日(木) 入場者：139名

香川大学教育学研究科大学院生の持ち込み企画である本展は、Bangladeshの少数民族について知ってもらう機会となり、さらに交友関係が深まるきっかけになればという思いから実現。Bangladesh・チッタゴン丘陵地帯に暮らす少数民族の民族衣装や生活用品、現地で撮影した写真などを展示。チッタゴン丘陵地帯の山奥に暮らすクミ族とムロ族の村へ外国人が入るためには、ビザの他に政府からの「特別許可証」が必要であり、なかなか実態を把握できない地域のため、このような展示は日本初



「ムロ民族の文化」

年月日：2017年12月16日(土)
講 師：マンラン・ムロ (日本唯一のムロ民族出身)
通 訳：田中志歩 (香川大学大学院教育学研究科M1)
会 場：香川大学オーリーブスクエア
参加者：13名



左：マンラン・ムロ氏 右：田中志歩氏

特別展

教育・研究をささえた情報機器

期 間：2018年2月1日(木)～3月10日(土)

入場者：223名

大学における教育・研究では、そろばんや計算尺のようなアナログ式デバイス、機械式の手回し計算機、電子式の大型コンピューターやミニコンピューター、そしてパーソナルコンピューターが数値計算に用いられてきた。コンピューターの処理速度の向上は、キーボードでコマンド入力する方法から、GUIというコンピューターグラフィックスとマウスなどによる直感的操作方法が可能になり、計算のツールとしてだけでなく画像処理やデザインのツールへと変容した。香川大学での教育・研究に用いられてきた種々のコンピューターと周辺機器などを中心に展示



協 力：香川大学教育学部数学教室・地学教室、林純一郎(香川大学工学部講師)、内藤浩忠(香川大学教育学部教授)、伊藤文紀(香川大学農学部教授)、山崎敏範(香川大学名誉教授)、服部哲郎(香川大学名誉教授)、瀬戸修一(元香川大学職員)、仲谷英夫(鹿児島大学教授・元香川大学工学部教授)

開館
10周年記念
特別展

香川大学博物館 10年間の歩み

期 間：2018年4月3日(火)～6月30日(土)

入場者：634名

香川大学博物館が2008年4月24日に四国で最初の大学博物館として開館してから2018年4月で10年になるのを記念して開催。学内外からの支援と協力を得て行ったこれまでの活動を紹介します。開館前に開催した2回の学外特別展、開館してから開催した20回の企画展、9回の特別展を当時のチラシやポスター、展示した標本資料を用いて振り返る。それまでの活動をまとめ2018年3月に刊行した要覧「香川大学博物館10年間の歩み」を配布するとともに、活動をパネル等で紹介。会期中の6月21日(木)と22日(金)には、開館10周年記念事業として、第21回大学博物館等協議会・第13回日本博物科学会を香川大学幸町キャンパスで開催し、シンポジウム「大学博物館と地域との連携」をコーディネート



特別展

タロファ サモア ～南太平洋の島国の生活を知る～

期 間：2018年12月18日(火)～1月26日(土) 入場者：159名

香川大学医学部医学科の学生からの持ち込み企画。南太平洋にあるオセアニアの小さな島国サモアの人々の生活・伝統文化・また学校の生活について写真や生活雑貨等で展示。青年海外協力隊および同サモアOB会が行っている歯科医療支援や教育支援についての国際協力をパネルで展示



後 援：高松市教育委員会、JICA 四国、
香川大学医学部医学科同窓会 讃樹會、
青年海外協力隊サモアOB会、
香川県青年海外協力協会



浦崎裕之氏



氏原英敏氏

第68回
ミュージアム
レクチャー

「サモアについて知る・サモアで行う国際協力」

年月日：2018年12月22日(土)
講 師：浦崎裕之(浦崎歯科医院院長)
氏原英敏(香川大学医学部医学科1年)
会 場：香川大学研究交流棟5階 研究者交流スペース
参加者：44名

開館
10周年記念
特別展

木村美鈴寄贈作品展

期 間：(前期)2019年2月5日(火)～2月23日(土)
(後期)2019年2月26日(火)～3月16日(土) 入場者：326名

元香川大学教授木村美鈴氏(1940-2017)の遺作のうち香川大学に寄贈された作品13点を展示。木村氏は、高松市生まれ、高松市立四番丁小学校、高松市立紫雲中学校、香川県立高松高等学校で学び、東京藝術大学美術学部絵画科油画を1965年に卒業、同大学大学院美術研究科を1967年に修了。同大学で研究助手および講師を務めた後、1974年から香川大学教育学部でおよそ30年間教鞭をとり、2003年に退官後も制作を継続。学生時代の様子や制作活動が分かる写真や下絵等の資料、スケッチブックに残された下絵などもあわせて展示



後 援：香川大学教育学部同窓会松楠会、公益財団法人よんでん文化振興財団
協 力：木村美鈴遺作展をサポートする会



第69回
ミュージアム
レクチャー

「木村美鈴が追い求めた世界」

年月日：2019年3月9日(土)
講 師：松丸 光(木村美鈴遺作展をサポートする会代表)
菅原智子(同会、尾道市立大学芸術文化部非常勤講師、
女子美術大学芸術学部非常勤講師、東北芸術工科大学芸術学部非常勤講師)
会 場：香川大学博物館展示室
参加者：34名



左：松丸光氏 右：菅原智子氏

特別展

特別展

新しい昆虫食の世界

期 間：2020年1月15日(水)~2月8日(土)

入場者：283名

昆虫食は、持続可能な開発目標(SDGs)の17のゴールのうち「気候変動」「飢餓」の他、いくつもの目標を解決すると考えられる。しかし、従来の昆虫食は「昆虫を『直接』食べる」のが一般的で、その見た目や独特の風味に抵抗がある人が多く、日本ではその文化はあまり浸透していない。そこに一石を投じるのが、「間接的昆虫食」で、昆虫を飼料として家畜に与え、その家畜から得られた食料を人間が食べるものである。注目を浴びている昆虫食について、さらにあまり知られていない「新しい」世界についての紹介。2020年10月19日~11月6日には、香川大学図書館農学部分館で巡回展を開催



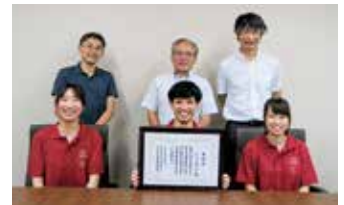
企 画：香川大学農学部公認サークル Lieto Ottimo



香川大学農学部公認サークル「Lieto Ottimo」が香川県青少年善行者表彰を2020年7月3日に受賞。この表彰は、青少年が未来を開き、希望に満ちて生きるよう、県および市町の青少年施策の強化を求めるとともに、これに協力して十分にその効果をあげた実践活動の優秀団体が表彰されるもの。特別展「新しい昆虫食の世界」も一つの受賞根拠。



香川県知事より表彰



香川大学農学部長に受賞を報告

特別展

香川大学第五代学長倉田貞美博士の業績

期 間：2020年2月19日(水)~3月24日(火)
新型コロナウイルス感染症拡大防止のため3月14日(土)で早期終了

入場者：148名

2019年8月に『倉田貞美著作集』が発刊されたのを機に、香川大学創立70周年記念事業の一つとして開催。倉田貞美氏(1908-1994)は、香川大学教授を長く務め、多くの学生を指導する一方で、生涯にわたり漢文学、特に清代末期から中華民国時代に至るまでの漢詩人の作品と時代背景を研究。香川大学では、学芸学部長、教育学部長を経て、1970年に第五代学長に就任。倉田博士の研究テーマである、清代末期から中華民国時代に至るまでの漢詩人の作品と時代背景だけではなく、倉田博士の学生時代から、香川大学学長として3年間の任期を務め終えられるまでの「研究者であり続ける姿勢」「教育者に必要な資質」、そして学生運動の嵐の中で「大学の矜持を守り抜くための人間性」とは何かを紹介



後 援：香川大学教育学部同窓会松楠会、香川大学国文学会、全国漢文教育学会、公益財団法人斯文会
協 力：倉田和務、西山弘子(香川大学名誉教授)、株式会社大修館書店、株式会社明德出版社

第69回
ミュージアム
レクチャー

「倉田貞美博士の生涯と学問」

年月日：2020年3月14日(土)

講 師：田山泰三(全国漢文教育学会評議員・『倉田貞美著作集』校訂者)

会 場：香川大学研究交流棟5階 研究者交流スペース

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止



特別
講演会瀬戸内国際芸術祭2019
現代アート入門 サイトスペシフィック・アートとは？

実施日：2019年5月11日(土)
 会場：サンポートホール高松 ホール棟5階 第2小ホール
 講師：秋元雄史(東京藝術大学大学美術館館長・教授、練馬区立美術館館長、
 大学博物館等協議会会長・日本博物科学会会長)
 プレゼンター：柴田悠基(香川大学創造工学部講師)
 モデレーター：寺林 優(博物館長・香川大学創造工学部教授)
 入場者：160名

1991年よりベネッセアートサイト直島のアートプロジェクトに関わった秋元雄史氏による講演では「90年代初頭、手探りで行う展覧会時代からスタートした直島のアート活動だが、通常の展覧会の型式ではすぐに行き詰まりを見せていった。その突破口として直島の風景や安藤建築と強く関わる現地制作型のアート作品による展覧会を実施した。そしてそれはやがて直島の風土や環境、歴史をテーマにしたサイトスペシフィック・ワークへと発展していく。」柴田悠基氏は、香川大学の学生と小豆島の高校生が未来を考えるプロジェクトに取り組み、演出家の豊永純子氏とともに制作した、小豆島の農村歌舞伎舞台とそれを育んだ風土を軸に史実や人々のエピソードからその土地の未来に向けた物語を紹介

後援：瀬戸内国際芸術祭実行委員会、香川県教育委員会、高松市、高松市教育委員会



秋元雄史氏



柴田悠基氏

協議会
学会

大学博物館等協議会2018年度大会・第13回日本博物科学会

実施日：2018年6月21日(木)・22日(金)

参加者：100名

第21回大学博物館等協議会および第13回日本博物科学会を香川大学幸町キャンパスで開催。初日の協議会では、寺林優香川大学博物館長の実行委員長挨拶、寛善行香川大学長の歓迎のことばと今後のリベラルアーツ教育においては本物を見抜く力が必要となり、大学博物館の担う役割がより重要になる旨の祝辞。協議会シンポジウム「大学博物館と地域との連携」では、石垣忍氏(岡山理科大学生物地球学部教授・恐竜学博物館長)の「大学らしい博物館のあり方とは?」、松本由樹氏(香川大学農学部准教授・香川大学博物館会議委員)の「博物館の多面機能を活かした地域連携～持続可能な資源循環の『みえる化』を目指して～」、谷地森秀二氏(認定NPO法人四国自然史科学研究センター)の「あと必要なのは箱ものだーNPO法人が行う地域の博物館的活動ー」による講演。パネルディスカッションでは、松本慶一氏(NPO法人みんなで作る自然史博物館・香川)の話題提供後、総合討論。シンポジウム終了後は、博物科学会のポスター発表(8本)と各館の紹介ポスターを掲示。館長会議と博物科学会理事会後の協議会総会の冒頭では、京都国立博物館の佐々木丞平館長から日本で初めて開催される国際博物館会議(ICOM)第25回国際博物館会議京都大会の紹介と協力依頼。協議会総会および博物科学会総会終了後、大学会館2階ペーカリーカフェ・ソラミにて、懇親会を開催。2日目の博物科学会では、「教育」「研究」「地域と社会連携」「情報」「マネジメント」「その他」の категорияにおいて、計16題の口頭発表。発表終了後は、特別名勝「栗林公園」の見学に34名が参加

協賛：一般社団法人希少糖普及協会、近藤電子株式会社、株式会社桜製作所
 四国放送株式会社、株式会社美巧社、丸文ウェスト株式会社
 三菱電機株式会社四国支社、株式会社レアスウィート、早稲田システム開発株式会社



シンポジウム



懇親会



博物科学会

第1回
企画展

ウズベキスタンの現代建築と世界遺産

期 間：2008年6月3日(火)～28日(土)

入場者：475名

中央アジアの中核をしめるウズベキスタンは、シルクロードの中核をしめていた。首都タシケントと世界遺産に登録されているブラハ、ヒヴァ、サマルカンド、シャフリサーヴスの5つのオアシス都市ごとに、現代建築と伝統的建築のパネルを展示。生活空間をいろいろの小物類（スザニ、絹織物、土人形、陶器、装飾小物、細密画など）を展示



共 催：ウズベキスタン文化・芸術フォーラム基金駐日代表部、世界麺フェスタ2008 in さぬき実行委員会
協 力：キュレレーターズ（東京）、中央アジアユーラシアクラブ（群馬）



特別
講演会

「シルクロードの国々の現状 ～独立後の経済開発～」

年月日：2008年6月13日(金)

講 師：田中哲二（中央アジア・コーカサス研究所副理事長兼所長、国連大学学長上級顧問）

会 場：香川大学研究交流棟5階 研究者交流スペース

参加者：89名

共 催：放送大学香川学習センター、香川大学経済学部



特別講演会

講演会

「ウズベキスタンの現代建築と装飾的建築」

年月日：2008年6月14日(土)

講 師：岡野 眞（企画展実行委員会委員長、香川大学工学部教授）

会 場：香川大学研究交流棟6階 生涯学習教育研究センター講義室

参加者：講演会 53名・ミュージアムトーク 20名



講演会

第2回
企画展

昆虫のふしぎ

期 間：2008年7月23日(水)～9月20日(土)

入場者：1,302名

香川県立農業専門学校（香川大学農学部の前身）昆虫学教室の初代教授岩田久二博士が研究した香川県の昆虫、香川県の87種のアリ、三木町白山のチョウ、オリーブの宿敵・オリーブアナアキゾウムシ、クスギなどの樹液をめぐる昆虫類を展示。昆虫のふしぎ（性的二型と性淘汰、擬態、ふしぎな形・美しい色、個体変異・地理的変異・種分化へ）に関する標本を展示。大屋 崇博士（三豊総合病院元副院長）のトリバネアゲハコレクションを特別展示



共 催：香川大学農学部
協 力：大屋 崇博士



公開
講座

「『モノ』の見方 ～研究はじめの第一歩～」

年月日：2008年7月23日(水)・24日(木)・25日(金)

講 師：安井行雄（企画展実行委員会委員長、香川大学農学部准教授）

寺林 優（博物館副館長、香川大学工学部准教授）

丹羽佑一（博物館長、香川大学経済学部教授）

会 場：香川大学博物館実習スペース

参加者：1日目（昆虫標本）28名

2日目（化石）26名

3日目（石器・土器）25名



第3回
企画展

瀬戸内の海・干潟・海浜の生き物

期 間：2009年7月23日(木)～8月29日(土) 入場者：578名

瀬戸内の海中と海辺の様子を探る展示。「海」瀬戸内海を支えているのはとても小さな生き物たち。これらの微小生物や香川大学工学部で開発された人工漁礁等を展示。「干潟」海でもあり、陸でもある干潟に生息する生物を展示。「海浜」高温や乾燥、海水による塩害など、生物にとってはたいへん厳しい環境のため、生物の多様性は決して高くはないが、このような場所でしか見ることができない海浜植物や昆虫等を展示



共 催：香川大学瀬戸内圏研究センター

協 力：株式会社日本ドルフィンセンター、NPO法人日本ドルフィンセラピー協会

公開
講座

「海岸の砂浜や海にすんでいる生物を調べよう」

年月日：2009年8月4日(火)・5日(水)・6日(木)

講 師：伊藤文紀(企画展実行委員会委員長、博物館副館長、香川大学農学部教授)
末永慶寛(香川大学工学部教授)
松本一範(香川大学教育学部准教授)

会 場：香川大学博物館実習スペース

参加者：1日目(干潟にすむ生物)23名
2日目(海の特徴と魚の性質に応じた魚礁)23名
3日目(魚の性の不思議)25名第4回
企画展

瀬戸内今昔観光遊覧

期 間：2009年10月31日(土)～11月28日(土) 入場者：478名

旧石器時代から弥生時代までの石器・石材中、西日本で最も広く用いられた香川県の名産サヌカイト。古代瀬戸内海域に広く流通したのは何故か、坂出市金山の発掘出土品を展示して紹介。



1934(昭和9)年に指定された日本で最初の国立公園のひとつが瀬戸内国立公園。当時の瀬戸内海の景観を示す珍しい資料を展示。遠藤亮氏の新発見大阪城残念石、さぬき市教育委員会の調査による大串半島の中世石切場の資料も特別展示

共 催：香川大学瀬戸内圏研究センター

協 力：香川大学生涯学習教育研究センター

第6回
ミュージアム
レクチャー

「瀬戸内今昔観光遊覧」

年月日：2009年11月14日(土)

講 師：稲田道彦(企画展実行委員会委員長、香川大学経済学部教授)
丹羽佑一(博物館長、経済学部教授)

会 場：香川大学博物館展示室

参加者：30名



第5回
企画展

アリの世界「○○してみる」研究室

期 間：2010年7月23日(金)～8月28日(土) 入場者：1,081名

「比べて見る」日本や外国にはたくさんの種類のアリがいます。体のようすを比べてみよう。「よく見てみる」顕微鏡やルーペで拡大して、アリの体を知ろう。「のぞいてみる」アリの巣の中はどうなっているのかな。アリはどんな動きをしているだろう。飼い方も紹介します。「食べてみる」日本や世界にはアリを食べるところもあるんだって!!ほんとなあ…!?!「匂ってみる」アリはいろんなにおいを出しているらしいよ。「採ってみる」アリを研究する方法や、採集する道具を紹介



協 力：山根正気・中村京平(鹿児島大学)、鹿児島大学総合研究博物館、江口克之(長崎大学)、香川大学農学部昆虫学教室



公開
講座

「アリのとり方、飼い方、調べ方」

年月日：2010年7月28日(水)・29日(木)
講 師：伊藤文紀(企画展実行委員会委員長、博物館副館長、香川大学農学部教授)
会 場：香川大学博物館実習スペース
参加者：1日目 22名
2日目 22名



第6回
企画展

四国遍路が残した資料

期 間：2010年10月26日(火)～11月27日(土) 入場者：648名

四国霊場八十八ヶ所を巡礼する四国遍路の歴史をたどる資料を展示。遍路地図、「四国偏禮道指南」などの道案内にあたるガイドブック、四国の霊場を廻った遍路の納経帳などを展示。そのほかにも納め札や旅手形、道具類等、江戸時代から昭和初期までの時代の変化で翻弄された遍路の姿が浮き彫りになる資料330点ほどを展示



第14回
ミュージアム
レクチャー

「四国遍路が残した資料」

年月日：2010年11月20日(土)
講 師：稲田道彦(企画展実行委員会委員長、香川大学経済学部教授)
会 場：香川大学博物館展示室
参加者：53名



第7回
企画展

おいしいお肉の向こうには…展

期 間：2011年7月22日(金)～8月27日(土) 入場者：1,010名

身近な食材である“ニワトリ”を取り上げ、鶏肉価格が決定する本当の理由を広く知ってもらうことを目的として開催。鶏肉や鶏卵生産の裏側にある農家・研究者の工夫や苦勞について、「鶏の種類」、「鶏を育てる環境」、「鶏の健康を守るために」などのコーナーで紹介。動物の品種・飼料・飼育環境といった価格変動の主要因について説明し、香川大農学部で取り組んでいる研究内容と連携させて展示



協 力：都築政起・岡 孝夫（広島大学）、長坂直比路（高知県畜産試験場）、（社）中央畜産会、（社）日本科学飼料協会、（社）アメリカ穀物協会



公開
講座

「たまごが先か？ニワトリが先か？育て方で決まります」

年月日：2011年7月23日(土)・26日(金)・28日(木)
講 師：松本由樹（企画展実行委員会委員長、香川大学農学研究院助教）
都築政起（広島大学大学院生物圏科学研究科教授、日本鶏資源開発プロジェクト研究センター長）
長坂直比路（高知県畜産試験場中小家畜課長）
会 場：香川大学博物館実習スペース・展示室・博物館前スペース
参加者：1日目・2日目（「鶏を育てる」ということ）7名
3日目（「鶏を食べる」ということ）8名



第8回
企画展

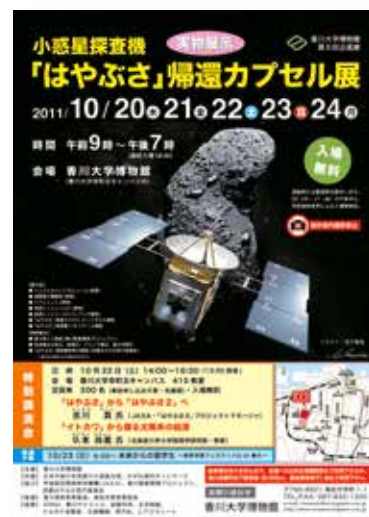
小惑星探査機「はやぶさ」帰還カプセル展

期 間：2011年10月20日(木)～10月24日(月) 入場者：10,445名

小惑星探査機「はやぶさ」帰還カプセルのインストゥルメントモジュール、搭載電子機器部、背面ヒートシールド、パラシュートの実物等、香川衛星開発プロジェクトの超小型人工衛星の模型等、NPOたけとよ・武豊はやぶさ実行委員会の「はやぶさ」実物大模型、高松市市民文化センター所蔵の国分寺隕石や本館所蔵のアンデ隕石、鉄隕石や地球最古岩石等を展示



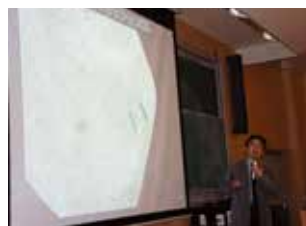
共 催：財団法人日本宇宙少年団香川小惑星分団、かがわ源内ネットワーク
協 力：独立行政法人宇宙航空研究開発機構（JAXA）、香川衛星開発プロジェクト、NPOたけとよ・武豊はやぶさ実行委員会
後 援：香川県教育委員会、高松市教育委員会
協 賛：株式会社STNet、株式会社香川サイエンス、株式会社桜製作所、太洋物産株式会社、株式会社成豊堂、株式会社日進機械、株式会社美巧社、株式会社レアスウィート
助 成：一般財団法人百十四銀行学術文化振興財団



特別
講演会

『「はやぶさ」から「はやぶさ2」へ』
講 師：吉川 真（「はやぶさ2」プロジェクトマネージャ）
『「イトカワ」から探る太陽系の起源』
講 師：坂本尚義（北海道大学大学院教授）

年月日：2011年10月22日(土)
会 場：香川大学幸町北キャンパス 415教室
参加者：361名以上



「はやぶさ」から「はやぶさ2」へ



「イトカワ」から探る太陽系の起源

第9回
企画展

ジオの世界

期 間：2012年7月19日(木)～9月1日(土)

入場者：1,867名

「地球の歴史」、「鉱物の世界」、「火を噴く大地」、「ゆれる大地」のテーマに沿った展示の他、「香川県の化石」、「極域の岩石」(南極の岩石、エベレスト山頂の岩石、深海底の鉱床)、「讃岐ジオサイト」等を展示。体験教室「作ってみよう！化石レプリカ①(アンモナイト)」、「作ってみよう！化石レプリカ②(三葉虫)」、「【博物館で自由研究】実験してみよう！火山岩と深成岩のちがい」、「探してみよう！砂の中の小さな宝石」、「観察してみよう！溶岩が流れる様子」を週替わりで午前と午後を実施し、「岩石を割って作ろう！石ころ標本箱」を毎回実施



協 力：岩崎正夫(徳島大学名誉教授)、森 繁(雨滝自然科学館館長)、加藤泰浩(東京大学大学院工学系研究科教授)、川村教一(秋田大学教育文化学部准教授)、清川昌一(九州大学大学院理学府准教授)、向井淳彦(香川県立高松高等学校教諭)、高松市、(独)石油天然ガス・金属鉱物資源機構、アイボスポーツ、(株)大真空、香川大学工学部長谷川研究室・山中研究室

第22回
ミュージアム
レクチャー

「化石について調べよう」

年月日：2012年7月21日(土)

講 師：寺林 優(企画展実行委員会委員長、博物館長、香川大学工学研究院教授)

会 場：香川大学博物館実習スペース

参加者：42名



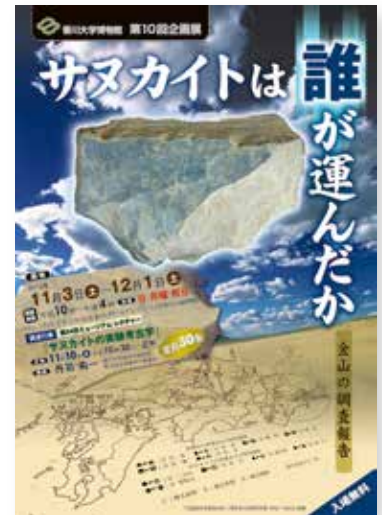
第10回
企画展

サヌカイトは誰が運んだか

期 間：2012年11月3日(土)～12月1日(土)

入場者：544名

香川県の名産サヌカイトは旧石器時代から弥生時代まで石器石材中、西日本で最も広く使用された。中でも坂出市金山のサヌカイトは縄文時代以降最も多量に使用された。その理由を求めて香川大学考古学研究室は平成18年から金山の発掘調査を行い、出土品のほとんどを占める石器石材の板状石核と、中四国の各ムラから出土した板状石核の比較から、広域流通のネットワークを復元し、回答とした。本企画展はその研究報告



第24回
ミュージアム
レクチャー

「サヌカイトの実験考古学」

年月日：2012年11月10日(土)

講 師：丹羽佑一(企画展実行委員会委員長、香川大学経済学研究院教授)

会 場：香川大学博物館実習スペース・展示室

参加者：23名



第11回
企画展

讃岐のため池 そーっとのぞいてみよう展

期 間：2013年7月19日(金)～8月31日(土) 入場者：711名

「ため池の役割としくみ」、
「ため池の自然環境と生き物
たち」、「ため池で、今、起
きている『困りごと』～ため
池を未来に残すには～」の
テーマに沿った展示。「ため
池の機能を支える技術とそ



の歴史」、「ため池の昆虫標本」、「ため池の貝類標本」、「ため池の植物標本」、「ため池の魚」、「外来種」、「みんなが書いた博物館絵日記」、「体験教室で見つけたプランクトン」、「ため池水のふるさと写真館」を展示。体験教室「香川のため池生き物観察」、「ため池ミニ工事体験」を実施。9月1日(日)には、関連企画「仏生山ため池歴史秘話・自然探索ウォーキング」を実施

協 力：香川県農政水産部土地改良課、多田 昭(香川生物学会)、水上水産、日本気象協会四国支店、独立行政法人情報処理推進機構

第29回
ミュージアム
レクチャー

「ため池の堤防の土 ～水にも強くする方法～」

年月日：2013年8月24日(土)
講 師：山中 稔(香川大学工学部准教授)
会 場：香川大学博物館
参加者：22名

第12回
企画展コレクション
神原甚造の蒐集物—旧香川大学・香川医科大学統合十周年記念—

期 間：2013年10月29日(火)～11月30日(土) 入場者：413名

香川大学図書館から博物館
に移管された「神原文庫」
の器物類を、初めて展示公
開。旧香川大学と香川医科
大学が統合してちょうど10
年になることを記念し、学
芸学部(香川師範学校・香
川青年師範学校を母体)およ



び経済学部(高松経済専門学校を母体)の2学部で
発足した旧香川大学の初代学長・神原甚造の大学・学生・郷土に対する思いな
などを当時の新聞記事や研究者による論文などから抜粋して展示

特別
講演会

「神原文庫に見る蘭学史・英学史 —東西交渉史・文明移入史の観点から—」

年月日：2013年11月10日(日)
講 師：竹中龍範(香川大学教育学部教授)
会 場：香川大学教育学部第3会議室
参加者：43名



第13回
企画展

昆虫の色とカタチ展

期 間：2014年7月18日(金)～8月30日(土)

入場者：773名

蝶やコガネムシ、タマムシなどの美しい昆虫の色や形が、どうやって作られるのか、昆虫にみられる色彩と造形の美を、実物の標本と拡大撮影した実体顕微鏡写真、走査型電子顕微鏡写真



によって紹介。これらの色や形が、昆虫の生き残り戦略に果たしている役割を考察。体験教室「電子顕微鏡を使ってみよう」を実施し、来館者による実体顕微鏡・電子顕微鏡観察結果を展示

協 力：株式会社日立ハイテクノロジーズ、四国医療器株式会社、四国八洲薬品株式会社



第34回
ミュージアム
レクチャー

「昆虫の美を探る ～色や形は何のため～」

年月日：2014年8月23日(土)

講 師：安井行雄(香川大学農学部准教授)

会 場：香川大学博物館展示室・香川大学教養教育地学実験室

参加者：14名



第14回
企画展

屋島の自然と景観－史跡・天然記念物屋島指定80周年記念企画展－

期 間：2014年11月8日(土)～12月20日(土)

入場者：606名

昭和9年11月10日に国の史跡と天然記念物に指定され、平成26年に80周年を迎えた「屋島」をテーマに、高松市歴史資料館の企画展「屋島－シンボリックな大地に刻まれた歴史－」と共同で



企画展を開催。香川大学博物館では、平成24・25年度に高松市から委託されて香川大学天然記念物屋島調査団が行った地形・地質をはじめとする自然および景観の調査研究の成果をパネル、写真や図表、標本資料等で紹介。体験教室「3Dプリンターで屋島や島々の形を作ってみよう」を火曜～金曜、各日2回実施

後 援：朝日新聞高松総局、RSK山陽放送、RNC西日本放送、NHK高松放送局、OHK岡山放送、KSB瀬戸内海放送、産経新聞高松支局、四国新聞社、TSCテレビせとうち、毎日新聞高松支局、読売新聞高松総局



第36回
ミュージアム
レクチャー

「天然記念物屋島調査と展示の解説」

年月日：2014年11月15日(土)・29日(土)

講 師：寺林 優(香川大学博物館長、香川大学工学部教授)

会 場：香川大学博物館展示室

参加者：1日目 19名

2日目 9名



第15回
企画展

カメの不思議

期 間：2015年7月17日(金)～8月29日(土) 入場者：1,265名

種々のカメの剥製標本を展示し、骨格標本でカメと他の動物を比較することによって、甲羅を有するカメの進化と多様性について紹介。また、日本固有のニホンイシガメをクサガメやミシシippアカミミガメと比較し、外来種問題の現状と対策について考えた。さらに会期中には、兵庫県立人と自然の博物館の移動博物館車「ゆめはく」による「むしむしみつけ!」を実施



協 力：香川大学工学部角道研究室、香川大学農学部附属農場、兵庫医科大学解剖学講座細胞生物部門、神戸市立須磨海浜水族園、株式会社自然回復



第38回
ミュージアム
レクチャー

「親子でカメキャッチー ーため池観察会ー」

年月日：2015年7月25日(土)
講 師：谷口真理(神戸市立須磨海浜水族園研究員・香川大学大学院工学研究科)
会 場：香川大学農学部附属農場
参加者：50名

講演会

「カメのきた長いみちのり」

年月日：2015年7月31日(金)
講 師：平山 廉(早稲田大学国際教養学部教授)
会 場：香川大学オーリースクエア
参加者：71名



カメのきた長いみちのり



親子でカメキャッチ

第16回
企画展

アートコレクション展ー香川大学の前身校から現在までの美の系譜ー

期 間：2015年10月28日(水)～11月28日(土) 入場者：451名

香川大学の前身校のひとつである香川県師範学校に赴任され、退職されるまで香川大学および香川県の美術教育発展のため貢献された谷口國介先生の絵画を紹介するとともに、香川大学博物館で所蔵している絵画や美術品を公開展示。香川大学教育学部同窓会「松楠会」所蔵の書と絵画、教育学部美術領域所属教員の作品展示とミュージアムトークを実施



協 力：倉石文雄(香川大学教育学部教授)、小西憲一(香川大学教育学部教授)、古草敦史(香川大学教育学部教授)、池田清史(香川大学教育学部特命教授)、香川大学教育学部同窓会 松楠会
協 賛：株式会社ナルホド成豊堂



第39回
ミュージアム
レクチャー

「発泡スチロールでスタンプを作ろう」

年月日：2015年11月7日(土)
講 師：井上幸恵(香川大学博物館事務補佐員)
会 場：香川大学教養教育地学実験室
参加者：14名



第40回
ミュージアム
レクチャー

「○○で!? 染め物体験 ーオリジナルバッグを作ろうー」

年月日：2015年11月14日(土)
講 師：井上幸恵(香川大学博物館事務補佐員)
会 場：香川大学教養教育生物学実験室
参加者：5名



第17回
企画展

ハチの世界

期 間：2016年7月21日(木)～8月27日(土) 入場者：920名

世界では約13万種、日本ではこれまで4500種を超えるハチが記録されています。種類が豊富で生活様式が多様なアリ類を含むハチ目について、「いろいろなハチー様々なハチの標本」「ハチのおしごとーハチの自然界での役割」「スズメバチーもっとも危険な野生動物の生態」「ミツバチー世界最古の家畜がもたらす恩恵」「世界のアリ・日本のアリー世界各地のアリの標本」「アリのくらしーアリの巣の中をのぞいてみよう」「アリと暮らす生き物ーアリなしでは生きていけない動物」についての展示



協 力：香川大学農学部伊藤研究室、峰山ハチミツ、曾根花卉、香川大学生生活共同組合、秋田大学大学院国際資源学研究所附属鉱業博物館



第48回
ミュージアム
レクチャー

「ミツバチをみてみよう」

年月日：2016年8月6日(土)
講 師：伊藤文紀(香川大学農学部教授、香川大学博物館副館長)
天野洋平(養蜂家・峰山ハチミツ)
会 場：香川大学教養教育生物学実験室
参加者：43名



ミツバチをみてみよう

第49回
ミュージアム
レクチャー

「ハチミツのある生活を考えよう」

年月日：2016年8月19日(金)
講 師：松本由樹(香川大学農学部准教授)
曾根和久・美智子(養蜂家・曾根花卉)
会 場：香川大学教養教育地学実験室
参加者：28名



ハチミツのある生活を考えよう

第18回
企画展

刷り物でみる金毘羅信仰

期 間：2016年10月27日(木)～11月26日(土) 入場者：467名

金毘羅は香川県の観光地として最初に思い浮かぶ場所です。旅行に制約を受けていた江戸時代の庶民が日本全国から参詣に来ることができた場所でした。人々にとってそれほど魅力ある場所で、人々を引き寄せる魅力が発信されてきました。金毘羅を紹介する絵地図、旅行案内、祭礼図、大神図、御神符、霊験府、物語など多種多様なものが作られ全国に流布していきました。多くが参詣の証にお土産として買われていったものです。どのような歴史的变化があったのか、また金毘羅信仰が持つ特質を考えることができるでしょうか。稲田道彦氏が四国遍路の研究を進める過程で、遍路の多くが金毘羅に詣でている事例に接したことが始まりで、金毘羅にまつわるものを集めたものを展示



第53回
ミュージアム
レクチャー

「刷り物でみる金毘羅信仰」(ミュージアムトーク)

年月日：2016年11月16日(水)
講 師：稲田道彦(企画展実行委員会委員長、香川大学経済学部教授)
会 場：香川大学博物館展示室
参加者：24名



ミュージアムトーク

第54回
ミュージアム
レクチャー

「刷り物でみる金毘羅信仰」(フィールドワーク)

年月日：2016年11月19日(土)
講 師：稲田道彦(企画展実行委員会委員長、香川大学経済学部教授)
会 場：金毘羅宮周辺
参加者：17名



フィールドワーク

第19回
企画展

ウサギの世界

期 間：2017年7月20日(木)～9月2日(土)

入場者：1,121名

ウサギは昔話や童話などによく登場し、ペットとしても人気があり、モチーフのグッズも多く、なじみ深い動物といえます。しかし、ウサギといってもいろいろな種類あり、なじみのあるウサギはごく一部にしかすぎません。ウサギの生態は意外と知られていません。「いろいろなウサギ」「世界のウサギと日本のウサギ」「ウサギの食べもの」「ウサギと人との関わり」「ウサギの体の仕組み」「ウサギとのふれあい」について、ウサギの仲間や天敵のはく製、エサの見本、腸の模型、ウサギ飼育法の古書、さらにウサギの生体を展示

協 力：香川大学農学部川崎研究室、香川大学農学部附属農場、全国ウサギネットワーク、秋田県畜産試験場、秋田県大仙市中仙支所、物産中仙株式会社、World Rabbit Science Association、株式会社アシスト



第56回
ミュージアム
レクチャー

「ウサギ観察会 ～ウサギはどうしてうんちを食べる?～」

年月日：2017年7月29日(土)

講 師：川崎浄教(企画展実行委員会委員長、
香川大学農学部助教)

会 場：香川大学農学部附属農場

参加者：50名



講演会

「南の島に暮らす世界自然遺産のウサギ! アミノクロウサギとは?」

年月日：2017年8月5日(土)

講 師：山田文雄(国立研究開発法人 森林研究・整備機構 森林総合研究所 特任研究員)

会 場：香川大学研究交流棟5階

参加者：37名



第20回
企画展

拓本でみる讃岐

期 間：2017年10月26日(木)～12月2日(土)

入場者：317名

野山や街角にひっそりと建つ石碑は、先人が残した郷土の貴重な文化の証です。故 森田政雄氏(暁峰)は、香川県内だけでなく日本各地を巡り、拓本を作品として数多く残されました。森田氏は、石碑に刻まれている詩や文章の内容を調べ、さらに歴史を紐解くことによって、作者の人柄や業績までを理解するように務め、拓本が単なる掛け軸でなく、作品をとおして見る人に、石碑に刻まれた内容と時代背景を伝えようとされました。森田氏のご遺族から寄贈された拓本作品138点の中から、香川県内に所在する石碑や香川にゆかりのある石碑の拓本から選りすぐって展示

協 力：山崎敏範(香川大学名誉教授、前放送大学香川学習センター所長)、小西憲一(香川大学教育学部教授)、渡邊史郎(香川大学教育学部准教授)



第59回
ミュージアム
レクチャー

「書道と拓本」

年月日：2017年11月30日(木)

講 師：小西憲一(香川大学教育学部教授)

会 場：香川大学博物館展示室

参加者：23名



書道と拓本

第60回
ミュージアム
レクチャー

「石碑における文学のテーマ」

年月日：2017年12月1日(金)

講 師：渡邊史郎(香川大学教育学部准教授)

会 場：香川大学博物館展示室

参加者：11名



石碑における文学のテーマ

第21回
企画展

動物の世界って、どなんなっとんな？ 形から動物のくらしや機能を知ろう

期 間：2018年7月20日(金)～9月1日(土) 入場者：737名

動物の体や体内のしくみ、食べる・食べられる世界から分解者までを博物館所蔵の佐藤コレクションの剥製を展示することで紹介。「はく製で見る動物の体のしくみ」「形から見る動物の体内のしくみ」「畜産動物を科学する」「野生動物を科学する」「食べる・食べられる世界」「世界をリサイクルする分解者」などのテーマに沿った展示。自然循環系の中で暮らす野生動物たちが獲得した「形」や「機能」に注目し、過酷な環境で生き抜く理由を展示。ヒトの暮らしが豊かになる「新しい資源循環」とは何か？分解者の「昆虫機能」を研究成果として展示



協 力：香川大学農学部松本研究室、香川大学農学部川崎研究室、大阪府立環境農林水産総合研究所、香川県畜産試験場、花田真理子(大阪産業大学大学院人間環境学専攻科教授)、村山美穂(京都大学野生動物研究センター教授)



第62回
ミュージアム
レクチャー

「栗林動物園の動物の見方」

年月日：2018年7月21日(土)
講 師：香川洋二(元栗林公園動物園副園長)
会 場：香川大学博物館展示室
参加者：23名



講演会

「食べ残しをリサイクルするミズアブのお話」

年月日：2018年7月28日(土)
講 師：藤谷泰裕(地方独立行政法人大阪府立環境農林水産総合研究所研究管理監)
会 場：香川大学研究交流棟5階 研究者交流スペース
参加者：38名



第22回
企画展

アルゼンチン—都市と地方の暮らしと音楽—

期 間：2018年10月30日(火)～12月1日(土) 入場者：341名

アルゼンチンでは、地理的また歴史的影響から非常に多様な文化が醸成。北部の山岳地帯では先住民文化が色濃く見られる一方、空の果てまで続くようなパンパ(平原地帯)では放牧された牛馬の横で、 gauchoと呼ばれるカウボーイたちの暮らしが続く。首都のブエノス・アイレスでは、19世紀末の移民がもたらしたヨーロッパ文化と現代文化が混在。香川大学経済学部准教授川端美都子氏による、18年に渡るアルゼンチンでのフィールドワークで撮影された写真や動画、そして収集された楽器や日用品の展示を通し、多様な側面を持つアルゼンチン文化を紐解く



後 援：在日アルゼンチン共和国大使館
協 力：香川大学経済学部川端研究室、フロレンシア・ルイス・レクチャー・コンサート実行委員会、ブスケダ・エテルナ公演実行委員会、Tiembra el Mohel

第67回
ミュージアム
レクチャー

「アルゼンチン—都市と地方の暮らしと音楽—」

年月日：2018年11月3日(土)
講 師：川端美都子(香川大学経済学部准教授)
会 場：香川大学博物館展示室
参加者：18名



レクチャー
コンサート

「イスラエルから響くアルゼンチン・ユダヤの音」

年月日：2018年11月15日(木)
講 師：川端美都子(第1部レクチャー「アルゼンチンにおけるユダヤ・コミュニティと音楽文化」)
演 者：ブスケダ・エテルナ、川端美都子(第2部コンサート「曲目：Tengo(その理由)他」)
会 場：アイバル香川
参加者：74名



第23回
企画展

行ってみよう！香川の自然

期 間：2019年7月19日(金)～10月13日(日)
9月14日(土)までの予定を好評につき会期延長

入場者：1,119名

香川県は自然に満ちあふれている。香川県が発行した「香川の自然ガイドマップ」に沿って、「屋島」「小豆島・寒霞浜」「琴平山」「大滝山」「有明浜」の地形のなりたちや生物を標本とともに紹介。さらに、香川の大地のなりたち（讃岐ジオパーク構想推進準備委員会）、香川県の1960～70年代の植物標本（香川大学教育学部生物学教室）、小豆島1970年代の昆虫標本（旧香川県立小豆島高等学校）、大滝山の1960年代の昆虫標本（香川大学学生サークル・自然科学部）、財田町の陸貝（財田町自然観察同好会）を展示

後 援：香川県

協 力：NPO法人みんなで作る自然史博物館・香川、
讃岐ジオパーク構想推進準備委員会、
財田町自然観察同好会、香川大学農学部伊藤研究室、
香川大学農学部川崎研究室、香川大学教育学部生物学教室



第74回
ミュージアム
レクチャー

「探しに行こう！香川の昆虫」

年月日：2019年8月3日(土)

講 師：松本慶一（NPO法人みんなで作る自然史博物館・香川、野生生物保護研究員）

会 場：香川大学博物館・香川大学教養地学実験室

参加者：50名



第24回
企画展

古生物研究の世界

期 間：2019年11月1日(金)～12月15日(日)

入場者：1,297名

香川大学で古生物を研究した板東祐司（1933-1984）氏と仲谷英夫氏の研究業績を紹介。板東氏は、中生代アンモナイト化石研究の第一人者で、国内だけでなくインド、パキスタン、アフガニスタン、イラン、ギリシャにかけてのヒマラヤ前縁帯の地質・古生物研究を行い、今となっては足を踏み入れることができない国や地域の化石も採取。仲谷氏は、哺乳類化石研究によって古環境や古生物地理を復元し、更にアフリカにおける人類進化の研究においても多大な貢献をした。さらに香川県内で見つかった化石の展示、岡山理科大学生物地球学部・恐竜学博物館のトリケラトプス頭骨等の展示及びモンゴル・ゴビ砂漠の発掘調査の様子を動画とパネルで紹介

後 援：日本地質学会四国支部

協 力：仲谷英夫（鹿児島大学大学院理工学研究科教授）、
中谷大輔（長崎市教育委員会恐竜博物館準備室）、
松居俊典（香川大学創造工学部技術職員）、香川大学教育学部地学教室、
岡山理科大学恐竜学博物館、さぬき市雨滝自然科学館



第76回
ミュージアム
レクチャー

「香川大学での古生物研究－四国から世界へ－」

年月日：2019年12月14日(土)

講 師：仲谷英夫（鹿児島大学教授、元香川大学教授）

会 場：香川大学研究交流棟5階 研究者交流スペース

参加者：69名


※第19回日本地質学会四国支部総会・講演会 特別講演



2009
第1回 5/9

サヌカイト・コレクション

講師
丹羽佑一
(香川大学経済学部教授・博物館長)




参加者:4名

2009
第2回 6/13

フィールドワークで地球を探る

講師
寺林 優
(香川大学工学部准教授・博物館副館長)



参加者:9名

2009
第3回 7/11

イルカのからだと海のゴミ

講師
寺山弘樹
(日本ドルフィンセンター長・NPO 法人日本ドルフィンセラピー協会)




参加者:11名

2009
第4回 9/12

雑草をみて描いてみよう

講師
岡田智子
(岡山市デジタルミュージアム学芸員)
末廣喜代一
(香川大学教育学部教授)



参加者:16名

2009
第5回 10/10

昆虫の色や形にはどんな意味があるだろう

講師
安井行雄
(香川大学農学部准教授)



参加者:15名

2009
第6回 11/14

瀬戸内今昔観光遊覧

講師
丹羽佑一
(香川大学経済学部教授・博物館長)
稲田道彦
(香川大学経済学部教授)



参加者:30名

2009
第7回 12/12

人工衛星KUKAIと香川発宇宙開発

講師
能見公博
(香川大学工学部准教授・香川衛星プロジェクト STARS 主宰)



参加者:9名

2010
第8回 2/13

瀬戸内に生息する生物たち

講師
滝川裕子
(香川大学農学部技術補佐員)




参加者:10名

2010
第9回 3/13

親子せっけん教室

講師
北條充敏・富田ゆかり
(香川大学情報図書グループ)




参加者:11名

2010
第10回 5/15

**みんなあつまれ!
わくわく大学たんけん隊**

講師
山本珠美
(香川大学生涯学習教育研究センター准教授)
葛城浩一
(香川大学大学教育開発センター准教授)




参加者:29名

2010
第11回 6/19

**サヌカイトの
考古学入門**

講師
丹羽佑一
(香川大学経済学部教授・博物館長)



参加者:7名

2010
第12回 7/10

**里山の哺乳類を
解剖する**

講師
川口 敏
(香川生物学会常任理事)




参加者:16名

2010
第13回 10/9

**花粉を
観察してみよう**

講師
松居俊典
(香川大学工学部技術職員)



参加者:14名

2010
第14回 11/20

**四国遍路が
残した資料**

講師
稲田道彦
(香川大学経済学部教授)




参加者:53名

2011
第15回 1/29

**みんなあつまれ!
わくわく大学たんけん隊 第2弾**

講師
わくわく大学たんけん☆プロジェクト
リーダー:鳥羽謙仁
(香川大学経済学部2年)
監修:山本珠美
(香川大学生涯学習教育研究センター准教授)




参加者:30名

2011
第16回 6/11

煮干しの解剖

講師
松本一範
(香川大学教育学研究院准教授)



参加者:18名

2011
第17回 7/23

**星座の物語
～プラネタリウムを作ろう～**

講師
久米咲弥香・黒瀬翔太
(香川大学教育学部3年) 他



参加者:21名

2011
第18回 10/8

マンドリンの魅力

講師
木村 竜
(香川大学マンドリン部) 他




参加者:4名

2011
第19回 11/5

プラネタリウムを作ろう
(ミュージアム・レクチャー in 小豆島 第1回)
会場：土庄町中央公民館

講師
山本珠美
(香川大学生涯学習教育研究センター准教授・博物館副館長)




主催：かがわ子ども大学実行委員会
香川大学博物館
土庄町教育委員会

参加者：15名

2011
第20回 11/12

アリの世界
(ミュージアム・レクチャー in 小豆島 第2回)
会場：土庄町中央公民館

講師
伊藤文紀
(香川大学農学研究院教授・博物館副館長)



主催：かがわ子ども大学実行委員会
香川大学博物館
土庄町教育委員会

参加者：10名

2011
第21回 11/19

アンモナイト・三葉虫レプリカ制作
(ミュージアム・レクチャー in 小豆島 第3回)
会場：土庄町中央公民館

講師
寺林 優
(香川大学工学研究院教授・博物館長)




主催：かがわ子ども大学実行委員会
香川大学博物館
土庄町教育委員会

参加者：19名

2012
第22回 7/21

化石について調べよう

講師
寺林 優
(香川大学工学研究院教授・博物館長)



参加者：42名

2012
第23回 10/13

大雨のひみつ

講師
寺尾 徹
(香川大学アーツ・サイエンス研究院教授)



参加者：22名

2012
第24回 11/10

サヌカイトの実験考古学

講師
丹羽佑一
(香川大学経済学研究院教授)



参加者：23名

2012
第25回 12/1

紙飛行機の魅力

講師
岩中貴裕
(香川大学大学教育開発センター准教授)



参加者：36名

2013
第26回 3/16

骨付き鳥の恐竜学

講師
松本由樹
(香川大学農学研究院准教授)




参加者：33名

2013
第27回 3/28

クジラの祖先は4本足で陸上を歩いていた

講師
石川 創
(公益財団法人下関海洋科学アカデミー-鯨類研究室室長)
寺山弘樹
(株式会社日本ドルフィンセンター-代表取締役社長)



参加者：60名

2013
第28回 6/29

のぞいてみよう！
顕微鏡の世界

講師
阪本晴彦
(香川大学副学長)




参加者:33名

2013
第29回 8/24

ため池の堤防の土
～水にも強くする方法～

講師
山中 稔
(香川大学工学部准教授)




参加者:22名

2014
第30回 2/1

「煮干しを解剖してみよう」
「ムラサキキャベツの色を変えよう」

講師
松本一範
(香川大学教育学部准教授)
篠原 渉
(香川大学教育学部准教授)




主催:かがわ子ども大学
香川大学キャンパス実行委員会

参加者:37名

2014
第31回 2/8

「アリの世界をみてみよう」
「ニワトリのからだのしくみ」

講師
伊藤文紀
(香川大学農学部教授・博物館副館長)
松本由樹
(香川大学農学部准教授)




主催:かがわ子ども大学
香川大学キャンパス実行委員会

参加者:29名

2014
第32回 2/15

「3Dプリンターでものづくり」
「光で遊ぼう」
「庵治石を切ってみがこう」

講師
石原秀則 鶴町徳昭
(香川大学工学部准教授) (香川大学工学部准教授)
寺林 優
(香川大学工学部教授・博物館長)



主催:かがわ子ども大学
香川大学キャンパス実行委員会

参加者:36名

2014
第33回 3/15

自作カメラで
写真を撮ろう!

講師
磯田 誠
(香川大学教育学部教授)



参加者:19名

2014
第34回 8/23

昆虫の美を探る
～色や形は何のため～

講師
安井行雄
(香川大学農学部准教授)



参加者:14名

2014
第35回 10/4・18

教授を魅了した大地の結晶
ミュージアムトーク

講師
谷山 譲
(香川大学名誉教授)



参加者:40名

2014
第36回 11/15・29

天然記念物屋島調査と
展示の解説

講師
寺林 優
(香川大学工学部教授・博物館長)




参加者:37名

2015
第37回 3/25

地震・津波を知り
南海トラフ巨大地震に備える
—高松に何が起こるか—

講師
岡村 眞
(高知大学総合研究センター教授)
堀込智之
(元宮城県立石巻工業高等学校教頭)



参加者:69名

2015
第38回 7/25

親子でカメキャッチ
～ため池観察会～

講師
谷口真理
(神戸市立須磨海浜水族園研究員・
香川大学大学院工学研究科)




主催:かがわ子ども大学
香川大学キャンパス実行委員会

参加者:50名

2015
第39回 11/7

発泡スチロールで
スタンプを作ろう

講師
井上幸恵
(香川大学博物館事務補佐員)



参加者:37名

2015
第40回 11/14

〇〇で!? 染め物体験
～オリジナルバッグを作ろう～

講師
井上幸恵
(香川大学博物館事務補佐員)




参加者:5名

2015
第41回 11/23

落ち葉の下の土壌動物の
世界をのぞいてみよう

講師
豊田 鮎
(香川大学農学部助教)



主催:かがわ子ども大学
香川大学キャンパス実行委員会

参加者:104名

2015
第42回 11/23

アリの取り方・調べ方

講師
伊藤文紀
(香川大学農学部教授・博物館副館長)




主催:かがわ子ども大学
香川大学キャンパス実行委員会

参加者:104名

2016
第43回 02/20

野生動物がいる
くらしを科学する

講師
十川和士
(香川県環境森林部みどり保全課)
松本保雄
(香川県環境森林部みどり保全課)




主催:かがわ子ども大学
香川大学キャンパス実行委員会

参加者:29名

2016
第44回 02/20

家畜がいる
くらしを科学する

講師
川崎浄教
(香川大学農学部助教)
松本由樹
(香川大学農学部准教授)




主催:かがわ子ども大学
香川大学キャンパス実行委員会

参加者:29名

2016
第45回 07/26

ハチの調べ方

講師
伊藤文紀
(香川大学農学部教授・博物館副館長)




参加者:44名

2016
第46回 7/27

香川大学で「星空探検」
～35cm反射型望遠鏡で火星・木星・土星をみよう～

講師
松村雅文
(香川大学教育学部教授)
岡内尊重
(日本宇宙少年団香川小惑星分団長)
伊藤文紀
(香川大学農学部教授・博物館副館長)




主催:香川大学博物館
かがわ宇宙教育推進協議会

参加者:121名

2016
第47回 8/2

アリの調べ方

講師
伊藤文紀
(香川大学農学部教授・博物館副館長)




参加者:27名

2016
第48回 8/6

ミツバチをみてみよう

講師
伊藤文紀
(香川大学農学部教授・博物館副館長)
天野洋平
(養蜂家・峰山ハチミツ)




主催:かがわ子ども大学
香川大学キャンパス実行委員会

参加者:43名

2016
第49回 8/19

ハチミツのある生活を考えよう

講師
松本由樹
(香川大学農学部准教授)
曾根和久・美智子
(養蜂家・曾根花卉)




主催:かがわ子ども大学
香川大学キャンパス実行委員会

参加者:28名

2016
第50回 8/27

**「水辺の植物と生物を観察しよう」
「森の樹木を調べよう」**

講師
佐藤 明
(香川植物の会)
守屋 均
(香川大学工学部講師)




主催:かがわ子ども大学
香川大学キャンパス実行委員会

参加者:29名

2016
第51回 9/3

**「森の中のキノコを観察しよう」
「落ち葉の下の土壤動物の世界をのぞいてみよう」**

講師
池野芳孝
(公益財団法人かがわ水と緑の財団・キノコアドバイザー)
豊田 鮎
(香川大学農学部助教)



主催:かがわ子ども大学
香川大学キャンパス実行委員会

参加者:41名

2016
第52回 9/10

**野生動物と家畜がいる
くらしを考えよう**

講師
松本慶一
(特定非営利活動法人みんなでつくる自然史博物館・香川)
川崎浄教
(香川大学農学部助教)



主催:かがわ子ども大学
香川大学キャンパス実行委員会

参加者:31名

2016
第53回 11/16

**刷り物でみる
金毘羅信仰**

講師
稲田道彦
(香川大学経済学部教授)



参加者:24名

2016
第54回 11/19

**刷り物でみる
金毘羅信仰**

講師
稲田道彦
(香川大学経済学部教授)



参加者:17名

2017
第55回 7/28

香川大学で「星空探検」

講師
松村雅文
(香川大学教育学部教授)
岡内尊重
(日本宇宙少年団香川小惑星分団長)




主催:かがわ子ども大学
香川大学キャンパス実行委員会 参加者:105名

2017
第56回 7/29

ウサギ観察会
~ウサギはどうしてうちを食べる?~

講師
川崎浄教
(企画展実行委員長・香川大学農学部助教)



主催:かがわ子ども大学
香川大学キャンパス実行委員会 参加者:50名

2017
第57回 8/5

化石の発掘体験

講師
森 繁
(雨滝自然科学館館長)



主催:かがわ子ども大学
香川大学キャンパス実行委員会 参加者:36名

2017
第58回 8/26

水辺の植物を観察しよう

講師
佐藤 明
(香川植物の会)



主催:かがわ子ども大学
香川大学キャンパス実行委員会 参加者:12名

2017
第59回 11/30

書道と拓本

講師
小西憲一
(香川大学教育学部教授)



参加者:23名

2017
第60回 12/1

石碑における
文学のテーマ

講師
渡邊史郎
(香川大学教育学部准教授)




参加者:11名

2017
第61回 12/16

ムロ民族の文化

講師
マンラン・ムロ
(日本唯一のムロ民族出身)
通訳:田中志歩
(香川大学大学院教育学研究科M1)



参加者:13名

2018
第62回 7/21

栗林動物園の動物の見方

講師
香川洋二
(元栗林公園動物園副園長)




参加者:23名

2018
第63回 7/27

香川大学で「星空探検」

講師
伊藤 寛
(かがわ宇宙教育推進協議会会長)
松村雅文
(香川大学教育学部教授)



主催:かがわ子ども大学
香川大学キャンパス実行委員会 参加者:72名

2018
第64回 7/28

身近な動物を観察しよう

講師
川崎浄教
(香川大学農学部助教)



主催:かがわ子ども大学
香川大学キャンパス実行委員会 参加者:28名

2018
第65回 8/4

水辺の植物を観察しよう

講師
佐藤 明
(香川植物の会)
守屋 均
(香川大学創造工学部講師)




主催:かがわ子ども大学
香川大学キャンパス実行委員会 参加者:7名

2018
第66回 8/18

化石の発掘体験

講師
森 繁
(雨滝自然科学館館長)
寺林 優
(香川大学博物館長・香川大学創造工学部教授)




主催:かがわ子ども大学
香川大学キャンパス実行委員会 参加者:36名

2018
第67回 11/3

アルゼンチン
—都市と地方の暮らしと音楽—

講師
川端美都子
(香川大学経済学部准教授)



参加者:18名

2018
第68回 12/22

サモアについて知る・
サモアで行う国際協力

講師
浦崎裕之
(浦崎歯科医院院長)
氏原英敏
(香川大学医学部医学科1年)



参加者:44名

2019
第69回 3/9

木村美鈴が追い求めた世界

講師
松丸 光
(木村美鈴遺作展をサポートする会代表)
菅原智子
(同会、尾道市立大学芸術化学部非常勤講師)




参加者:34名

2019
第70回 5/11

現代アート入門
サイトスペシフィック・アートとは?

講師
秋元雄史
(東京藝術大学大学美術館館長・教授)




参加者:160名

2019
第71回 7/26

香川大学で「星空探検」

講師
伊藤 寛
(かがわ宇宙教育推進協議会会長)
松村雅文
(香川大学教育学部教授)




参加者:80名

2019
第72回 7/27

里山の昆虫を観察しよう

講師
松本慶一
(NPO法人みんなでつくる自然史博物館・香川)
川崎浄教
(香川大学農学部助教)
松本由樹
(香川大学農学部准教授)



主催:森の生き物探検隊実行委員会 参加者:54名

ミュージアム・レクチャー

2019
第73回 8/3

水辺の植物を観察しよう

講師
佐藤 明
(香川植物の会)
守屋 均
(香川大学創造工学部講師)



主催: 森の生き物探検隊実行委員会 参加者: 27名

2019
第74回 8/3

探しに行こう! 香川の昆虫

講師
松本慶一
(NPO法人みんなでつくる自然史博物館・香川)




参加者: 27名

2019
第75回 8/4

化石の発掘体験

講師
森 繁
(雨滝自然科学館館長)
寺林 優
(香川大学博物館長・香川大学創造工学部教授)



主催: 森の生き物探検隊実行委員会 参加者: 36名

2019
第76回 12/14

香川大学での古生物研究 —四国から世界へ—

講師
仲谷英夫
(鹿児島大学教授、元香川大学教授)



参加者: 69名

2020
第77回 3/14

倉田貞美博士の生涯と学問

講師
田山泰三
(全国漢文教育学会評議員・
『倉田貞美著作集』校訂者)




※ 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止

2020
第78回 8/1

水辺の植物を観察しよう

講師
佐藤 明
(香川植物の会)
青木修一
(香川植物の会)




主催: 森の生き物探検隊実行委員会 参加者: 29名

2020
第79回 8/8

里山の昆虫を観察しよう

講師
松本慶一
(NPO法人みんなでつくる自然史博物館・香川)
川崎浄教
(香川大学農学部助教)



主催: 森の生き物探検隊実行委員会 参加者: 33名

2020
第80回 8/9

化石の発掘体験をしよう

講師
森 繁
(雨滝自然科学館館長)
寺林 優
(香川大学博物館長・香川大学創造工学部教授)



主催: 森の生き物探検隊実行委員会 参加者: 20名

ミュージアム・レクチャー 募集チラシ



ものづくり教室 in 香川大学博物館

講師 かがわ源内ネットワーク
(独) 科学技術振興機構「地域の科学舎推進事業」

第1回 2010/12/4

手作りのおもちゃで遊ぼう!



参加者:37名

第2回 2011/1/22

熱気球を作ろう!



参加者:43名

第3回 2011/2/19

レゴロボットで遊ぼう!



参加者:31名

第4回 2011/5/21	第5回 2011/6/18	第6回 2011/7/16	第7回 2011/9/17
スライム作り	ブーメラン作り	紙コップであやつり人形を作ろう!	ハイパーおりがみ
参加者:12名	参加者:15名	参加者:11名	参加者:11名
第8回 2011/11/19	第9回 2011/12/17	第10回 2012/1/21	第11回 2012/2/18
ストロンボーンを作ろう	紙皿飛行機を作ろう	空き缶で弓矢を作ろう	空気砲を作ろう
参加者:8名	参加者:15名	参加者:11名	参加者:11名



ブーメラン作り



紙コップであやつり人形を作ろう!



空気砲を作ろう

第12回 2012/5/19	第13回 2012/6/16	第14回 2012/7/21	第15回 2012/9/15
手作り和紙	万華鏡づくり	ストロークラフト・スライム	飛び出すカード
参加者:24名	参加者:31名	参加者:23名	参加者:17名
第16回 2012/10/21	第17回 2012/11/17	第18回 2012/12/15	第19回 2013/1/26
おばけコップダンシング	コイルモーター	電気クラゲ・フランクリンモータ・百人おどし	ブンブンごま・ヘリコプターごま
参加者:15名	参加者:13名	参加者:11名	参加者:2名



手作り和紙



万華鏡づくり



ストロークラフト・スライム

教育活動

● 香川大学博物館

◆平成25年度地域連携推進経費「さめき自然史研究リーダーの養成」

実施日: 2013(平成25)年10月14日(月)
場所: 東かがわ市田の浦海岸および城山・香川県立三本松高等学校
講師: 「樹木班」守屋 均(工学部講師)、TA(ティーチングアシスタント)1名
「昆虫班」伊藤文紀(博物館副館長、農学部教授)、TA3名
「地質班」寺林 優(博物館長、工学部教授)、TA1名
参加校: 三本松高等学校、高松高等学校、高松商業高等学校、
観音寺第一高等学校
参加者: 生徒32名、教員4名

◆平成27年度高大接続推進事業「自然史研究リーダー養成によるフィールド研究志向高校生のリクルート」

実施日: 2015(平成27)年11月14日(土)
場所: 屋島(長崎の鼻～北嶺～屋島山上)・れいがん茶屋
講師: 「地質班」寺林 優(博物館長、工学部教授)、TA2名
「昆虫班」伊藤文紀(博物館副館長、農学部教授)、TA3名
「植物(樹木)班」守屋 均(工学部講師)、TA2名
「植物(草本)班」篠原 渉(教育学部准教授)、TA3名
参加校: 香川中央高等学校、高松東高等学校、高松北高等学校、
高松西高等学校、丸亀高等学校、丸亀城西高等学校、
観音寺第一高等学校
参加者: 生徒28名、教員7名

◆平成28年度高大接続推進事業「自然史研究リーダー養成によるフィールド研究志向高校生のリクルート」

実施日: 2016(平成28)年11月5日(土)
場所: 屋島(長崎の鼻～北嶺～屋島山上)・れいがん茶屋
講師: 「地形・地質班」寺林 優(博物館長、工学部教授)・
野々村敦子(工学部准教授)、TA3名
「昆虫班」伊藤文紀(博物館副館長、農学部教授)、TA3名
「樹木班」守屋 均(工学部講師)、TA3名
「草本班」篠原 渉(教育学部准教授)、TA2名
参加校: 香川中央高等学校、高松東高等学校、高松商業高等学校、
高松第一高等学校、坂出高等学校、丸亀城西高等学校、
観音寺第一高等学校、笠田高等学校
参加者: 生徒46名、教員12名

◆平成29年度高大接続推進事業「自然史研究リーダー養成」

実施日: 2017(平成29)年11月11日(土)
場所: 屋島(長崎の鼻～北嶺～屋島山上)・れいがん茶屋
講師: 「地形・地質班」寺林 優(博物館長、工学部教授)、TA3名
「昆虫班」伊藤文紀(博物館副館長、農学部教授)、TA4名
「樹木班」守屋 均(工学部講師)、TA3名
「草本班」篠原 渉(教育学部准教授)、TA4名
参加校: 津田高等学校、香川中央高等学校、高松桜井高等学校、
高松第一高等学校、高松北高等学校、高松西高等学校、
坂出高等学校、丸亀城西高等学校、観音寺第一高等学校、
観音寺総合高等学校
参加者: 生徒66名、教員15名

◆平成30年度高大接続推進事業「自然史研究リーダー養成によるフィールド研究志向高校生のリクルート」

実施日: 2018(平成30)年11月17日(土)
場所: 屋島(長崎の鼻～北嶺～屋島山上)・れいがん茶屋
講師: 「地形・地質班」寺林 優(博物館長、創造工学部教授)、TA2名
「昆虫班」伊藤文紀(博物館副館長、農学部教授)、TA3名
「樹木班」守屋 均(創造工学部講師)、TA4名
「草本班」篠原 渉(博物館副館長、教育学部准教授)、TA3名
参加校: 高松高等学校、高松商業高等学校、高松東高等学校、
高松西高等学校、高松北高等学校、高松桜井高等学校、
高松第一高等学校、坂出高等学校、丸亀城西高等学校、
観音寺第一高等学校、善通寺養護学校
参加者: 生徒33名、教員15名

◆平成30年度高大接続推進事業「さめき自然史探究」

実施日: 2019(平成31)年1月12日(土)
場所: 大麻山周辺・香川県立小豆島中央高等学校
講師: 「地形・地質班」寺林 優(博物館長、創造工学部教授)、TA1名
「昆虫班」伊藤文紀(博物館副館長、農学部教授)、TA2名
「樹木班」守屋 均(創造工学部講師)、TA1名
参加校: 小豆島中央高等学校
参加者: 生徒4名、教員6名、保護者等2名

◆平成31年度高大接続推進事業「自然史研究リーダー養成によるフィールド研究志向高校生のリクルート」

実施日: 2019(令和元)年11月9日(土)
場所: 屋島(長崎の鼻～北嶺～屋島山上)・香川県立屋島少年自然の家

講師: 「地形・地質班」寺林 優(博物館長、創造工学部教授)、TA2名
「昆虫班」伊藤文紀(博物館副館長、農学部教授)、TA4名
「草本班」篠原 渉(博物館副館長、教育学部准教授)、TA2名
参加校: 高松東高等学校、高松北高等学校、香川中央高等学校、
高松桜井高等学校、高松第一高等学校、坂出高等学校、
丸亀高等学校、丸亀城西高等学校、観音寺第一高等学校、
観音寺総合高等学校
参加者: 生徒60名、教員15名

◆平成31年度高大接続推進事業「さめき自然史探究」

実施日: 2020(令和2)年2月1日(土)
場所: 大麻山周辺・香川県立小豆島中央高等学校
講師: 「地形・地質班」寺林 優(博物館長、創造工学部教授)、TA2名
参加校: 小豆島中央高等学校
参加者: 生徒1名、教員3名、一般1名

◆令和2年度高大連携推進事業「自然史研究リーダー養成によるフィールド研究志向高校生のリクルート」

実施日: 2020(令和2)年11月14日(土)
場所: 屋島(長崎の鼻～北嶺～屋島山上)
講師: 「地形・地質班」寺林 優(博物館長、創造工学部教授)、TA2名
「昆虫班」伊藤文紀(博物館副館長、農学部教授)、TA4名
「草本班」篠原 渉(博物館副館長、教育学部准教授)、TA3名
「樹木班」小宅由似(創造工学部助教)・守屋 均(元創造工学部
講師)、TA2名
参加校: 高松東高等学校、高松北高等学校、香川中央高等学校、
高松商業高等学校、坂出高等学校、丸亀高等学校、
丸亀城西高等学校、観音寺第一高等学校
参加者: 生徒60名、教員10名

● 香川大学教育学部博物館学芸員コース

◆マイミュージアム(私設博物館)展

第1回: 2009(平成21)年5月19日(火)～29日(金) 出展6名
第2回: 2010(平成22)年6月12日(土)～26日(土) 出展6名
第3回: 2011(平成23)年6月25日(土)～7月9日(土) 出展18名
第4回: 2012(平成24)年6月19日(火)～30日(土) 出展6名
第5回: 2013(平成25)年6月18日(火)～29日(土) 出展3名

● 香川大学美術研究室

◆香川大学大学院美術研究室「修了展」

期間: 2017(平成29年)2月21日(火)～2月25日(土)
場所: 香川大学博物館展示室
発表者: 矢野愛恵(香川大学大学院教育学研究科2年)
入場者: 44名

◆香川大学大学院美術研究室「修了展」

期間: 2021(令和3年)2月9日(火)～3月5日(金)
場所: 香川大学博物館展示室
発表者: 河西紀亮(香川大学大学院教育学研究科2年)
入場者: 200名

● 香川大学生涯学習教育研究センター

◆平成17年度公開講座

実施日: 2005(平成17)年7月26日(火)・27日(水)・28日(木)、
8月8日(月)・9日(火)・10日(水)
講座名: 恐竜を復元しよう
講師: 仲谷英夫(香川大学博物館研究機構、工学部教授)
受講者: 31名

◆平成18年度公開講座

実施日: 2006(平成18)年5月14日(土)～7月19日(水)(5回)
講座名: 人類の知的財産を守る
講師: 丹羽佑一(博物館委員会委員、経済学部教授)
山本珠美(博物館委員会委員、生涯学習教育研究センター助教)ほか
受講者: 6名

◆平成20年度公開講座

実施日: 2008(平成20)年7月23日(水)・24日(木)・25日(金)
講座名: 「モノ」の見方～研究はじめの第一歩～
講師: 安井行雄(第2回企画展実行委員会委員長、農学部准教授)
寺林 優(博物館副館長、工学部准教授)
丹羽佑一(博物館長、経済学部教授)
受講者: 27名

◆平成21年度公開講座

実施日：2009（平成21）年8月4日（火）・5日（水）・6日（木）
 講座名：海岸の砂浜や海にすんでいる生物を調べよう
 講師：伊藤文紀（第3回企画展実行委員会委員長、博物館副館長、農学部教授）
 末永慶寛（工学部教授）
 松本一範（教育学部准教授）
 受講者：25名

◆平成22年度公開講座

実施日：2010（平成22）年7月28日（水）・29日（木）
 講座名：アリのとり方、飼い方、調べ方
 講師：伊藤文紀（第5回企画展実行委員会委員長、博物館副館長、農学部教授）
 受講者：22名

◆平成23年度公開講座

実施日：2011（平成23）年7月23日（土）・26日（金）・28日（木）
 講座名：たまごが先か？ニトリが先か？育て方で決まります
 講師：松本由樹（第7回企画展実行委員会委員長、農学研究科助教）
 都築政起（広島大学大学院生物圏科学研究科教授・
 日本鶏資源開発プロジェクト研究センター長）
 長坂直比路（高知県畜産試験場中小家畜課長）
 受講者：8名

◆平成23年度公開講座

実施日：2011（平成23）年7月28日（木）・29日（金）
 講座名：アリのとり方、飼い方、調べ方
 講師：伊藤文紀（博物館副館長、農学研究科教授）
 受講者：20名

◆平成30年度公開講座

実施日：2018（平成30）年5月12日（土）・19日（土）・26日（土）
 講座名：持続可能な動物生産を考える
 講師：松本由樹（農学部准教授）
 受講者：4名

◆平成31年度公開講座

実施日：2019（令和元）年6月8日（土）・6月15日（土）・7月6日（土）
 講座名：ICT機器を使って、持続可能な動物生産を考えよう！
 講師：松本由樹（農学部准教授）
 受講者：10名

●香川大学希少糖研究センター

◆「世界最初に大量生産した希少糖および分離機器」展示開始
記念講演会・説明会

実施日：2012（平成24）年3月17日（土）
 会場：講演会 香川大学幸町北415教室・説明会 博物館展示室
 講演会：かがわ生まれの希少糖で健康になろう
 題目：「希少糖を作る」
 何森 健（香川大学特任教授）
 「希少糖を使う」
 徳田雅明（香川大学希少糖研究センター長）
 「希少糖を拡げる」
 近藤浩二（株式会社希少糖生産技術研究所代表取締役）
 参加者：講演会35名・説明会33名
 主催：香川大学博物館・香川大学希少糖研究センター

●香川大学医学部附属病院ワーク・ライフ・バランス支援室

◆児童サマースクール「医学部探検隊」

実施日：2011（平成23）年8月19日（金）
 講座名：いのちをいただくということ
 講師：松本由樹（第7回企画展実行委員会委員長、農学研究科助教）
 参加者：27名

●香川大学男女共同参画推進室

◆児童サマースクール「幸町探検隊」

実施日：2013（平成25）年8月20日（火）
 講座名：ため池ミニ工事体験
 講師：山中 稔（第11回企画展実行委員、工学部准教授）
 参加者：30名

◆児童サマースクール「ハチの世界」

実施日：2016（平成28）年8月19日（金）
 講座名：ハチミツのある生活を考えよう
 講師：松本由樹（農学部准教授）
 曾根和久・美智子（養蜂家・曾根花卉）
 参加者：14名

◆児童サマースクール「ウサギの世界」

実施日：2017（平成29）年8月4日（金）
 講座名：ウサギ観察会
 講師：川崎浄教（第19回企画展実行委員会委員長、農学部助教）
 参加者：24名

◆児童サマースクール「動物の世界」

実施日：2018（平成30）年8月10日（金）
 講座名：動物の世界
 講師：松本由樹（第21回企画展実行委員会委員長、農学部准教授）
 参加者：19名

◆児童サマースクール「探しに行こう！香川の昆虫」

実施日：2019（令和元年）年8月9日（金）
 講座名：動物の世界
 講師：松本慶一（NPO法人みんなであつくる自然史博物館・香川）
 参加者：21名

●放送大学香川学習センター

◆平成20年度面接授業

実施日：2008（平成20）年12月13日（土）・14日（日）
 科目名：古代瀬戸内の石の文化
 講師：丹羽佑一（博物館長、経済学部教授）
 受講者：29名

◆平成22年度面接授業

実施日：2010（平成22）年7月10日（土）・11日（日）
 科目名：生命と地球の共進化
 講師：寺林 優（博物館副館長、工学部准教授）
 受講者：36名

◆平成22年度公開講演会

実施日：2010（平成22）年12月5日（日）
 演題：紫雲山弥生人はどこから来たか
 講師：丹羽佑一（博物館長、経済学部教授、放送大学客員教授）
 参加者：20名

◆平成24年度面接授業

実施日：2012（平成24）年10月27日（土）・28日（日）
 科目名：地球とその歴史を探る
 講師：寺林 優（博物館長、工学部教授）
 受講者：25名

◆平成28年度面接授業

実施日：2016（平成28）年12月24日（土）・25日（日）
 科目名：博物館で学ぶ地球の歴史
 講師：寺林 優（博物館長、工学部教授）
 受講者：40名

●香川県教育委員会

◆平成25年度家庭・地域教育力再生事業「かがわ子ども大学」

香川大学まるごと体験ツアー
～あなたにぴったりの「博士」を見つけよう！～

実施日：2014（平成26）年2月1日（土）
 場所：香川大学幸町キャンパス
 講座名：「煮干しを解剖してみよう」
 松本一範（教育学部准教授）
 「ムラサキキャベツの色を変えよう」
 篠原 渉（教育学部准教授）

参加者：37名

実施日：2014（平成26）年2月8日（土）
 場所：香川大学三木町農学部キャンパス
 講座名：「アリの世界をみてみよう」

伊藤文紀（博物館副館長、農学部教授）
 「ニトリのからだのしくみ」
 松本由樹（農学部准教授）

参加者：29名

実施日：2014（平成26）年2月15日（土）
 場所：香川大学林町キャンパス
 講座名：「3Dプリンターでものづくり」

石原秀則（工学部准教授）
 「光で遊ぼう」
 鶴町徳昭（工学部准教授）

「庵治石を切ってみよう」
 寺林 優（博物館長、工学部教授）
 参加者：36名

教育活動

主 催：かがわ子ども大学香川大学キャンパス実行委員会
共 催：香川大学博物館

◆平成27年度家庭・地域教育力再生事業「かがわ子ども大学」 外来種動物による農作物被害や在来種絶滅はなぜ起きるのだろうか

実施日：2015（平成27）年7月25日（土）
場 所：香川大学農学部附属農場
講座名：「親子でカメキャッチ」
谷口真理（神戸市立須磨浜水族園研究員・香川大学大学院工学研究科）

参加者：50名

実施日：2015（平成27）年11月23日（月）
場 所：香川県公測森林公園
講座名：「落ち葉の下の土壌動物の世界をのぞいてみよう」

豊田 鮎（農学部助教）
「アリの取り方・調べ方」
伊藤文紀（博物館副館長、農学部教授）

参加者：104名

実施日：2016（平成28）年2月20日（土）
場 所：香川大学農学部附属農場
講座名：「野生動物のいるくらしを科学する」
「身近な自然と生き物たち」

十川和士（香川県環境森林部みどり保全課）
「もしも野外でイノシシに出あったら」
松本保雄（香川県環境森林部みどり保全課）
「家畜がいるくらしを科学する」
「農場のアライグマ・イノシシ対策」
川崎浄教（農学部助教）
「イノシシとブタの家畜への道」
松本由樹（農学部准教授）

参加者：29名

主 催：かがわ子ども大学香川大学キャンパス実行委員会
共 催：香川大学博物館

◆平成28年度家庭・地域教育力再生事業「かがわ子ども大学」 森の生き物探検隊～香川の里山を調べよう～

実施日：2016（平成28）年8月6日（土）
場 所：香川大学幸町キャンパス
講座名：「ミツバチをみてみよう」
伊藤文紀（博物館副館長、農学部教授）
天野洋平（養蜂家・峰山ハチマン）

参加者：43名

実施日：2016（平成28）年8月19日（金）
場 所：香川大学幸町キャンパス
講座名：「ハチマンのある生活を考えよう」

松本由樹（農学部准教授）
曾根和久・美智子（養蜂家・曾根花卉）

参加者：28名

実施日：2016（平成28）年8月27日（土）
場 所：国営讃岐まんのう公園・自然生態園
講座名：「水辺の植物と生物を観察しよう」

佐藤 明（香川植物の会）
「森の樹木を調べよう」
守屋 均（工学部講師）

参加者：29名

実施日：2016（平成28）年9月3日（土）
場 所：香川県公測森林公園・森林学習展示館
講座名：「森の中のキノコを観察しよう」

池田芳孝（公益財団法人かがわ水と緑の財団・キノコアドバイザー）
「落ち葉の下の土壌動物の世界をのぞいてみよう」
豊田 鮎（農学部助教）

参加者：41名

実施日：2016（平成28）年9月10日（土）
場 所：香川大学農学部附属農場
講座名：「野生動物と家畜がいるくらしを考えよう」

松本慶一（特定非営利活動法人みんなで作る自然史博物館・香川）
川崎浄教（農学部助教）

参加者：31名

主 催：かがわ子ども大学香川大学キャンパス実行委員会
共 催：香川大学博物館

◆平成29年度家庭・地域教育力再生事業「かがわ子ども大学」 研究者への第一歩～のぞこう、みよう、観察しよう～

実施日：2017（平成29）年7月28日（金）
場 所：香川大学幸町キャンパス
講座名：「香川大学で『星空探検』」

松村雅文（香川大学教育学部教授）
岡村尊重（日本宇宙少年団香川小惑星分団長）

参加者：72名

実施日：2017（平成29）年7月29日（土）
場 所：香川大学農学部附属農場
講座名：「ウサギ観察会～ウサギはどうしてうちを食べる?～」
川崎浄教（農学部助教）

参加者：48名

実施日：2017（平成29）年8月5日（土）
場 所：雨滝自然科学館
講座名：「化石の発掘体験」

森 繁（雨滝自然科学館館長）

参加者：39名

実施日：2017（平成29）年8月26日（土）
場 所：国営讃岐まんのう公園・自然生態園
講座名：「水辺の植物を観察しよう」

佐藤 明（香川植物の会）

参加者：12名

主 催：かがわ子ども大学香川大学キャンパス実行委員会
共 催：香川大学博物館

◆平成30年度家庭・地域教育力再生事業「かがわ子ども大学」 研究者への第一歩2018～のぞこう、みよう、観察しよう～

実施日：2018（平成30）年7月27日（金）
場 所：香川大学研究交流棟
講座名：「香川大学で『星空探検』」
伊藤 寛（かがわ宇宙教育推進協議会会長）
松村雅文（教育学部教授）

参加者：72名

実施日：2018（平成30）年7月28日（土）
場 所：香川大学農学部附属農場
講座名：「身近な動物を観察しよう」
川崎浄教（農学部助教）

参加者：28名

実施日：2018（平成30）年8月4日（土）
場 所：国営讃岐まんのう公園自然生態園
講座名：「水辺の植物を観察しよう」
佐藤 明（香川植物の会）
守屋 均（創造工学部講師）

参加者：7名

実施日：2018（平成30）年8月5日（日）
場 所：雨滝自然科学館
講座名：「化石の発掘体験」

森 繁（雨滝自然科学館館長）
寺林 優（博物館長、創造工学部教授）

参加者：36名

主 催：かがわ子ども大学香川大学キャンパス実行委員会
共 催：香川大学博物館

◆平成31年度家庭・地域教育力再生事業「地域で共育！」 森の生き物探検隊～香川の里山を調べよう～

実施日：2019（令和元）年7月27日（土）
場 所：香川大学農学部附属農場
講座名：「里山の昆虫を観察しよう」
松本慶一（NPO法人みんなで作る自然史博物館・香川）
川崎浄教（農学部助教）
松本由樹（農学部准教授）

参加者：54名

実施日：2019（令和元）年8月3日（土）
場 所：国営讃岐まんのう公園自然生態園
講座名：「水辺の植物を観察しよう」

佐藤 明（香川植物の会）
守屋 均（創造工学部講師）

参加者：27名

協 力：国営讃岐まんのう公園
実施日：2019（令和元）年8月4日（日）
場 所：雨滝自然科学館
講座名：「化石の発掘体験」

森 繁（雨滝自然科学館館長）
寺林 優（博物館長、創造工学部教授）

参加者：36名

主 催：森の生き物探検隊実行委員会
共 催：香川大学博物館

◆令和2年度家庭・地域教育力再生事業「地域で共育！」

森の生き物探検隊～香川の里山を調べよう～

実施日:2020(令和2)年8月1日(土)
 場所:国営讃岐まんのう公園自然生態園
 講座名:「水辺の植物を観察しよう」
 佐藤 明(香川植物の会)
 青木修一(香川植物の会)

参加者:29名
 協力:国営讃岐まんのう公園

実施日:2020(令和2)年8月8日(土)
 場所:香川大学農学部附属農場
 講座名:「里山の昆虫を観察しよう」
 松本慶一(NPO法人みんなのでつくる自然史博物館・香川)
 川崎浄教(農学部助教)

参加者:33名

実施日:2020(令和2)年8月9日(日)
 場所:雨滝自然科学館
 講座名:「化石の発掘体験をしよう」
 森 繁(雨滝自然科学館館長)
 寺林 優(博物館長、創造工学部教授)

参加者:20名

主催:森の生き物探検隊実行委員会
 共催:香川大学博物館

●高松市こども未来館

◆開館1年前イベント「こども未来館まつり2015」

実施日:2015(平成27)年10月24日(土)・25日(日)
 場所:香川大学工学部・高陽建設(株) Gallery sizucu
 講座名:化石レプリカを作ろう
 講師:寺林 優(博物館長、工学部教授)、TA 4名
 参加者:304名
 主催:高松市子育て支援課こども未来館整備室
 協力:香川大学博物館、他10団体

◆開館記念事業

実施日:2016(平成28)年11月23日(水)
 場所:たかまつミライエ 4F 科学体験ひろば・科学展示室
 講座名:化石レプリカを作ろう
 講師:寺林 優(博物館長、工学部教授)、TA 5名
 参加者:180名
 主催:高松市こども未来館
 協力:香川大学博物館

◆開館記念事業

実施日:2017(平成29)年2月26日(日)
 場所:たかまつミライエ 4F 科学体験ひろば・科学展示室
 講座名:化石レプリカを作ろう
 講師:寺林 優(博物館長、工学部教授)、TA 6名
 参加者:145名
 主催:高松市こども未来館
 協力:香川大学博物館

◆体験イベント

実施日:2018(平成30)年7月14日(土)
 場所:たかまつミライエ 4F 科学体験ひろば・科学展示室
 講座名:化石レプリカを作ろう
 講師:寺林 優(博物館長、創造工学部教授)、TA 3名
 参加者:95名
 主催:高松市こども未来館
 協力:香川大学博物館

◆体験イベント

実施日:2019(令和元)年7月7日(日)
 場所:たかまつミライエ 4F 科学体験ひろば・科学展示室
 講座名:化石レプリカを作ろう
 講師:寺林 優(博物館長、創造工学部教授)、TA 3名
 参加者:117名
 主催:高松市こども未来館
 協力:香川大学博物館

●高松市生涯学習センター「まなびCAN」

◆遊々塾「宇宙から学ぼう」

実施日:2016(平成28)年11月3日(木・祝)
 場所:高松市生涯学習センター
 講座名:地球の岩石と小惑星の岩石

講師:寺林 優(博物館長、工学部教授)
 参加者:13名
 主催:高松市生涯学習センター
 協力:かがわ宇宙教育推進協議会

◆宇宙講座「はやぶさ2が還ってくる」

実施日:2020(令和2)年10月31日(土)
 場所:高松市生涯学習センター
 講座名:最近の惑星探査-生命の痕跡を求めて-
 講師:寺林 優(博物館長、工学部教授)
 参加者:13名
 主催:高松市生涯学習センター
 協力:かがわ宇宙教育推進協議会

●独立行政法人科学技術振興機構

◆平成21年度サイエンス・パートナーシップ・プロジェクト「モノ」の見方～研究はじめの第一歩～

実施日:2010(平成22)年2月12日(金)・16日(火)・26日(金)
 場所:高松市石清尾山塊
 講座名:「石清尾山の昆虫を調べよう」
 伊藤文紀(博物館副館長、農学部教授)
 「石清尾山塊の地質を調べよう」
 寺林 優(博物館副館長、工学部准教授)
 「石清尾山で古墳人に会おう」
 丹羽佑一(博物館長、経済学部教授)
 連携先:香川大学教育学部附属高松中学校
 受講者:362名(延べ)

◆平成22年度サイエンス・パートナーシップ・プロジェクト「モノ」の見方～研究はじめの第一歩～

実施日:2011(平成23)年1月18日(火)・2月1日(火)・8日(火)
 場所:坂出市金山
 講座名:「金山の植生を調べよう」
 守屋 均(工学部講師)
 「冬の虫たちを調べよう」
 伊藤文紀(博物館副館長、農学部教授)
 「金山の地質を調べよう」
 寺林 優(博物館副館長、工学部教授)
 「金山で先史人と会おう」
 丹羽佑一(博物館長、経済学部教授)
 連携先:香川大学教育学部附属坂出中学校
 受講者:353名(延べ)

◆平成24年度サイエンス・パートナーシップ・プロジェクトさぬき自然史探究

実施日:2012(平成24)年6月8日(金)・16日(土)・9月8日(土)
 場所:丸亀市飯野山
 講座名:「飯野山の植生を調べる」
 守屋 均(博物館会議委員、工学研究院講師)
 「飯野山の地質を調べよう」
 寺林 優(博物館長、工学研究院教授)
 「飯野山のアリを調べよう」
 伊藤文紀(博物館副館長、農学研究教授)
 実施日:2012(平成24)年9月11日(火)・29日(土)
 場所:小豆島町大麻山
 講座名:「大麻山周辺の植生を調べる」
 守屋 均(博物館会議委員、工学研究院講師)
 「小豆島の地質を調べよう」
 寺林 優(博物館長、工学研究院教授)
 「小豆島のアリを調べよう」
 伊藤文紀(博物館副館長、農学研究教授)
 連携先:香川県立丸亀城西高等学校、香川県立土庄高等学校、
 香川県立小豆島高等学校
 受講者:120名(延べ)

●独立行政法人宇宙航空研究開発機構

◆ディスカバリーキッズ科学実験館コスミックカレッジ2012

実施日:2012(平成24)年12月15日(土)
 会場:香川大学研究交流棟5階 研究者交流スペース
 テーマ:宇宙開発が拓く、私たちの未来
 講師:JAXA 宇宙教育センター宇宙教育指導者他
 参加者:午前の部 99名・午後の部 98名
 主催:ディスカバリー・ジャパン株式会社
 独立行政法人宇宙航空研究開発機構(JAXA)
 共催:香川大学博物館
 財団法人日本宇宙少年団香川小惑星分団
 特別協力:高松ケーブルテレビ

教育活動

◆ディスカバリーキッズ科学実験館コズミックカレッジ2014

実施日: 2014 (平成26) 年11月30日(日)
会場: 香川大学幸町北415教室
テーマ: めざせ!宇宙を探索するミッションスペシャリスト
講師: JAXA 宇宙教育センター宇宙教育指導者他
参加者: 午前の部 232名・午後の部 162名
主催: ディスカバリー・ジャパン株式会社
独立行政法人宇宙航空研究開発機構 (JAXA)
香川大学博物館
協力: ケーブルメディア四国
協賛: 三菱電機株式会社、株式会社ヤクルト本社

● みんなでつくる自然史博物館・香川

◆平成26年度ナチュラルヒストリーの基礎講座

実施日: 2014 (平成26) 年7月5日(土)
場所: e-とびあ・かがわ5階 BBスクエア
講座名: 瀬戸内火山岩類と屋島
講師: 寺林 優 (博物館長、工学部教授)
実施日: 2015 (平成27) 年3月7日(土)
場所: e-とびあ・かがわ5階 BBスクエア
講座名: 屋島の昆虫と陸貝
講師: 伊藤文紀 (博物館副館長、農学部教授)
多田 昭 (香川生物学会)

● 三菱電機株式会社四国支社

◆みつびしでんき野外教室「冬の昆虫類を観察しよう」

実施日: 2013 (平成25) 年12月7日(土)
場所: 高松市峰山公園 はにわっ子広場および周辺散策道
講師: 伊藤文紀 (博物館副館長、農学部教授)
参加者: 22名
主催: 三菱電機株式会社四国支社
共催: 香川大学博物館

◆みつびしでんき野外教室「親子でカメ Catch ため池観察会」

実施日: 2014 (平成26) 年8月23日(土)
場所: 香川県公湖森林公園 森林学習展示館およびその近辺のため池
講師: 谷口真理 (神戸市立須磨海浜水族園研究員・香川大学大学院工学研究科)
参加者: 27名
主催: 三菱電機株式会社四国支社
共催: 香川大学博物館

◆みつびしでんき野外教室「石清尾山の秋の昆虫類を観察しよう」

実施日: 2016 (平成28) 年11月12日(土)
場所: 高松市峰山公園 はにわっ子広場周辺
講師: 伊藤文紀 (博物館副館長、農学部教授)、TA 4名
参加者: 44名
主催: 三菱電機株式会社四国支社
共催: 香川大学博物館

◆みつびしでんき野外教室「藻場造成と豊かな海づくり」

実施日: 2017 (平成29) 年3月25日(土)
場所: 香川大学庵治マリンステーション
講師: 末永慶寛 (工学部教授)、寺林 優 (博物館長、工学部教授)
参加者: 10名
主催: 三菱電機株式会社四国支社
共催: 香川大学博物館
協力: 香川大学庵治マリンステーション

◆みつびしでんき野外教室「石清尾山の秋の昆虫類を観察しよう」

実施日: 2017 (平成29) 年9月9日(土)
場所: 高松市峰山公園 はにわっ子広場周辺
講師: 伊藤文紀 (博物館副館長、農学部教授)、TA 4名
参加者: 40名
主催: 三菱電機株式会社四国支社
共催: 香川大学博物館

◆高松幼稚園秋の虫観察 野外教室

「石清尾山の秋の昆虫類を観察しよう」
実施日: 2018 (平成30) 年10月20日(土)
場所: 高松市峰山公園 はにわっ子広場周辺
講師: 伊藤文紀 (博物館副館長、農学部教授)、TA 4名
参加者: 学校法人高松幼稚園園児 40名
主催: 香川大学博物館

◆みつびしでんき野外教室「峰山の虫を観察しよう」

実施日: 2019 (令和元) 年9月21日(土)
場所: 高松市峰山公園 はにわっ子広場周辺

講師: 伊藤文紀 (博物館副館長、農学部教授)、TA 4名
参加者: 32名
主催: 三菱電機四国支社
共催: 香川大学博物館

◆みつびしでんき野外教室「峰山の虫を観察しよう」

実施日: 2020 (令和2) 年9月5日(土)
場所: 高松市峰山公園 はにわっ子広場周辺
講師: 伊藤文紀 (博物館副館長、農学部教授)、TA 4名
参加者: 21名
主催: 三菱電機四国支社
共催: 香川大学博物館

● かがわ宇宙教育推進協議会

◆香川大学で「星空探検」

～35cm反射型望遠鏡で火星・木星・土星をみよう～
実施日: 2016 (平成28) 年7月27日(水)
場所: 香川大学研究交流棟
講師: 松村雅文 (教育学部教授)
岡内尊重 (宇宙少年団香川小惑星分団長)
伊藤文紀 (博物館副館長、農学部教授)
参加者: 139名
主催: 香川大学博物館、かがわ宇宙教育推進協議会

◆香川大学で「星空探検」

実施日: 2017 (平成29) 年7月28日(金)
場所: 香川大学研究交流棟
講師: 松村雅文 (教育学部教授)
岡内尊重 (宇宙少年団香川小惑星分団長)
参加者: 105名
主催: 香川大学博物館、かがわ宇宙教育推進協議会

◆香川大学で「星空探検」

実施日: 2018 (平成30) 年7月27日(金)
場所: 香川大学研究交流棟
講師: 伊藤 寛 (かがわ宇宙教育推進協議会会長)
松村雅文 (教育学部教授)
参加者: 72名
主催: かがわ子ども大学香川大学キャンパス実行委員会
共催: かがわ宇宙教育推進協議会

◆香川大学で「星空探検」

実施日: 2019 (令和元) 年7月26日(金)
場所: 香川大学研究交流棟
講師: 伊藤 寛 (かがわ宇宙教育推進協議会会長)
松村雅文 (教育学部教授)
参加者: 80名
主催: 香川大学博物館
共催: かがわ宇宙教育推進協議会、四国天文協会香川支部

● 日本学術会議全国縦断サイエンスカフェ@香川 ／香川大学アドバンスト・セミナー

実施日: 2016 (平成28) 年12月4日(日)
場所: 香川大学研究交流棟5階研究者交流スペース
題目: 核廃棄物処分の科学・技術と民主主義
話題提供者: 今田高俊 (東京工業大学名誉教授、日本学術会議連携会員)、
柴田徳思 (㈱千代田テック大洗研究所、日本学術会議連携会員)
参加者: 34名
主催: 日本学術会議
共催: 香川大学教育基盤センター、香川大学教育学部、
香川大学博物館
後援: 香川県教育委員会、高松市教育委員会

研究活動

● 学会発表

- ◆中原恵子・岡野 眞・仲谷英夫・寺林 優・丹羽佑一
香川大学における大学博物館づくり
日本地質学会四国支部第5回講演会(香川大学, 2005年12月)
- ◆山本珠美
香川大学博物館における公開講座の取組～「恐竜を復元しよう」を例に～
第1回博物科学会(北海道大学, 2006年6月)
- ◆寺林 優・山本珠美・倉橋伴知
大学と地域の連携を深めるための博物館づくり—香川大学博物館の
構想から開館まで—
第3回博物科学会(大阪大学, 2008年6月)
- ◆岡野 眞・寺林 優
大学博物館のファシリティマネジメントに関する考察
第4回博物科学会(鹿児島大学, 2009年5月)
- ◆松下幸司・松本由樹・伊藤文紀・寺林 優
「来館者とのコミュニケーションがつくる企画展」の試み:平成22年度企
画展「アリの世界～『〇〇してみる』研究室～」の事例から
第6回博物科学会(名古屋大学, 2011年6月)
- ◆松本由樹・松下幸司・伊藤文紀・寺林 優
来館者とのコミュニケーションがつくる企画展—平成23年度企画展
「おいしいお肉の向こうには」の事例から
第7回博物科学会(京都大学, 2012年6月)
- ◆松本由樹・松下幸司・伊藤文紀・寺林 優
来館者とのコミュニケーションがつくる企画展—「形と機能」の理解を旨
とした展示は伝わったのか?
第9回博物科学会(愛媛大学, 2014年6月)
- ◆篠原 渉
香川大学教育学部生物学教室所蔵さく葉標本の特徴
第10回博物科学会(金沢大学, 2015年6月)
- ◆川崎浄教・松本由樹・伊藤文紀・寺林 優
香川大学博物館第19回企画展「ウサギの世界」の実践例
第13回日本博物科学会(香川大学, 2018年6月)
- ◆奥嶋涼太・今出雄太・片山進亮・中村絵理子・松本由樹
企画展「おいしいお肉の向こうには・・・」が導く高大連携・地元養鶏
農家の理解
第13回日本博物科学会(香川大学, 2018年6月)
- ◆今出雄太・松本由樹
企画展「ハチの世界」を通してみえた課題と研究へのフィードバック
第13回日本博物科学会(香川大学, 2018年6月)

● 調査研究

- ◆博物館展示用標本特別収集(沖縄県石垣島新石垣空港建設現場地
内鍾乳洞の鍾乳石). 丹羽佑一・寺林 優・倉橋伴知, 2009(平成21)
年3月25日(水)～27日(金), 平成20年度香川大学特定施策推進経
費(臨時)
- ◆香川大学博物館第8回企画展「小惑星探査機『はやぶさ』帰還カプセル
展」. 寺林 優・伊藤文紀・山本珠美・松村雅文・古草敦史・岩本
直樹, 一般財団法人百十四銀行学術文化振興財団平成23年度研究
助成
- ◆さぬき自然史探求—地域の貴重な自然史資源の探求とその利活用—
寺林 優・伊藤文紀・守屋 均・松本一範・一見和彦, 2012(平成
24)年度香川大学地域連携推進経費
- ◆さぬき自然史研究リーダーの養成. 寺林 優・伊藤文紀・守屋 均・松
本一範・一見和彦, 2013(平成25)年度香川大学地域連携推進経費
- ◆モバイルミュージアムによるさぬき自然史研究リーダーの養成. 寺林 優
(代表), 2015(平成26)年度香川大学地(知)の拠点整備事業
- ◆モバイルミュージアムによるさぬき自然史研究リーダーの養成. 寺林 優
(代表), 2016(平成27)年度香川大学地(知)の拠点整備事業

● 共同研究

- ◆パブリック・ヒューマニティーズの方法論:学術標本資料ならびに文化資
源のネットワーク型共同利用から創出される学術的専門知と公共社会
との融和. 寺林 優(代表 出口正之国立民俗学博物館教授), 2008
(平成20)年度人間文化研究機構総合推進事業(課題番号:
20301133)

● セミナー・シンポジウム

- ◆ミュージアムITセミナー2016 in 香川
実施日:2016(平成28)年6月24日(金)
場 所:香川大学工学部
題 目:「ミュージアムの外国人対応」
矢柳祐介(トライベクトル株式会社代表取締役)
「ミュージアムITの最新事情」
内田剛史(早稲田システム開発株式会社代表取締役)
「ミュージアム展示ガイドアプリ『ポケット学芸員』」
内田剛史(早稲田システム開発株式会社代表取締役)
「I.B.MUSEUM SaaS操作研修初級編」
早稲田システム開発株式会社
「I.B.MUSEUM SaaS操作研修上級編」
早稲田システム開発株式会社
参加者:41名(23機関)
主 催:香川大学博物館
後 援:香川県立ミュージアム
協 力:株式会社ミュージアムメディア研究所
- ◆大学博物館等協議会2018年度大会・第13回日本博物科学会シン
ポジウム「大学博物館と地域との連携」
実施日:2018(平成30)年6月21日(木)
場 所:香川大学オーリーブスクエア2F 多目的ホール
題 目:「趣旨説明」
伊藤文紀(博物館副館長)
「大学らしい博物館のあり方とは?」
石垣 忍(岡山理科大学学生地球学部教授・恐竜学博物館長)
「博物館の多面機能を活かした地域連携
～持続可能な資源循環の『見える化』を目指して」
松本由樹(香川大学農学部准教授, 香川大学博物館会議委員)
「あと必要なのは箱ものだ—NPO法人が行う地域の博物館活動—」
谷地森秀二(認定NPO法人四国自然史科学研究センター)
「討議・話題提供」
松本慶一(NPO法人みんなでつくる自然史博物館・香川)
参加者:100名
主 催:大学博物館等協議会2018年度大会・第13回日本博物科学
会実行委員会
協 賛:一般社団法人希少糖普及協会、近藤電子株式会社、
株式会社桜製作所、四国放送株式会社、株式会社美巧社、
丸文ウェスト株式会社、三菱電機株式会社四国支社、
株式会社レアスウィート、早稲田システム開発株式会社

● 展示設計

- ◆高松市こども未来館(仮称)展示設計用務に係る監修員. 寺林 優.
2014(平成26)年12月26日～2016(平成28)年3月31日, 高松市

報道状況

2005
(平成17)
年度

2005年7月11日
2005年7月12日
2005年7月12日
2005年7月13日
2005年7月20日
2006年1月24日
2006年3月6日

NHK 高松放送局
読売新聞(35面)
四国新聞(22面)
山陽新聞(32面)
毎日新聞(20面)
四国新聞(15面)
四国新聞(3面)

香川大学工学部でサヌカイトを展示(ゆうどき香川がいっぱい 他)
眠った資料一般に公開 博物館構想スタート まずサヌカイト展示
学術資産を地域公開 香川大が「大学博物館」サヌカイトを初展示
香川大を博物館に 展示第1弾サヌカイト
香川大で博物館づくり
大学博物館 学術資料 地域に公開
月曜随想「クビナガリュウの化石」

2006
(平成18)
年度

2006年8月10日
2007年1月20日
2007年1月23日
2007年1月23日
2007年1月24日
2007年1月24日
2007年1月24日
2007年1月25日
2007年1月26日

NHK 高松放送局
リビングたかまつ(5面)
NHK 高松放送局
RNC 西日本放送
山陽新聞(32面)
山陽新聞(30面)
四国新聞(19面)
朝日新聞(32面)
読売新聞(27面)

子供たちが恐竜を復元(ゆうどき香川がいっぱい 他)
香川大学博物館 第1回学外特別展「香川大学のあしあと」
香川大の資料など展示(ゆうどき香川がいっぱい 他)
今春 香川大博物館開設記念“香川大学のあしあと”(RNC News リアルタイム)
研究成果地域に公開 香川大学博物館4月開設
歩み知る貴重資料 香川大学博物館特別展示始まる
香川大の“お宝”公開「博物館構想」高松で初の学外展覧会
開かれた大学へ商店街で資料展 香川大
技術や資料 地域に生かせ 香大博物館 初の学外展

2007
(平成19)
年度

2008年1月18日
2008年1月22日
2008年1月22日
2008年1月23日
2008年1月23日
2008年1月25日
2008年2月28日

読売新聞(26面)
KSB 瀬戸内海放送
NHK 高松放送局
山陽新聞(28面)
四国新聞(20面)
朝日新聞(32面)
読売新聞(33面)

学外特別展「かがわの里山」
香川大学が自然をテーマに展示会(岡山・香川のニュース)
里山の自然展(ゆうどき香川ニュース610 他)
香川大 高松で学外展「かがわの里山」
「香川大博物館」4月開設 研究資料を地域に公開
香大の里山研究紹介 高松で学外展 チョウや骨格標本展示
香川大に博物館

2008
(平成20)
年度

2008年4月12日
2008年4月16日
2008年4月18日
2008年4月24日
2008年4月24日
2008年4月24日
2008年4月24日
2008年4月25日
2008年4月25日
2008年4月25日
2008年4月25日
2008年4月25日
2008年4月25日
2008年5月4日
2008年5月9日
2008年6月3日
2008年6月6日
2008年6月12日
2008年6月13日
2008年6月17日
2008年6月23日
2008年6月23日
2008年7月1日
2008年7月2日
2008年7月29日
2008年7月31日
2008年7月
2008年8月13日
2008年8月29日
2008年8月
2008年9月7日
2008年9月8日
2008年9月12日
2008年10月22日
2008年11月1日
2009年1月1日

リビングたかまつ(8面)
スポーツ報知(25面)
KSB 瀬戸内海放送
KSB 瀬戸内海放送
NHK 高松放送局
RNC 西日本放送
TSC テレビせとうち
産経新聞(24面)
山陽新聞(32面)
朝日新聞(32面)
読売新聞(29面)
四国新聞(25面)
山陽新聞(23面)
NHK 高松放送局
RNC ラジオ
朝日新聞(25面)
NHK 高松放送局
山陽新聞(28面)
毎日新聞(20面)
RSK 山陽放送
読売新聞(27面)
かがわ探検ミュージアム(15頁)
文教速報(12頁)
RNC ラジオ
NHK 高松放送局
かがアト8号(15-16頁)
FM 香川
読売さぬきネット
RSK 山陽放送
四国新聞(1面)
読売新聞(27面)
高松ケーブルテレビ
文教速報(8頁)
かがわ探検ミュージアム(16頁)
かがわ探検ミュージアム(15頁)

4月24日午後オープン「香川大学博物館」
四国初の大学附属博物館で志願者減少止める
四国初 香川大学に博物館(KSBスーパーJチャンネル)
香川大学博物館オープン(岡山・香川のニュース)
香川大に博物館 四国初 香川大学にオープン(ゆうどき香川ニュース610)
四国初!香川大学に付属博物館(RNC News リアルタイム)
香川大学博物館オープン(ザニュースTSC)
香川大に博物館オープン 地域交流拠点目指し
収集の資料標本を公開 香川大学博物館が開館
香川大が博物館 研究成果を展示 高松にオープン
香川大博物館が開館
研究成果惜しみなく 香大博物館オープン 全学部の資料展示
香川大学博物館オープン 知的好奇心がいっぱい
大学に博物館(ゆうどき香川ニュース610・中継おじゃまします)
ウズベキスタンの現代建築(情報てんこもりラジオでDON)
ウズベキスタンの建築・文化紹介 香川大博物館第1回企画展
ウズベキスタンの建築を紹介(ゆうどき香川ニュース610)
生活彩る小物紹介 香川大博物館 ウズベキスタン展
四国ミュージアム回廊 香川大学博物館 人工衛星 STARS いよいよ宇宙へ
「ウズベキスタンの現代建築と世界遺産」展について
ウズベキスタン建築 伝統と華麗 香川大博物館が企画展
春オープン!! 香川大学博物館でいろいろな発見を楽しもう!!
香川大博物館「ウズベキスタンの現代建築と世界遺産」展を開催
安井行雄第2回企画展実行委員長(ミュージック・イン・ランチボックス)
世界の昆虫展(ゆうどき香川ニュース610 他)
「香川大学博物館」図書館帰りや下校途中にふらっと立ち寄れる博物館
香川大学博物館「昆虫のふしぎ」展(786・SUPER MEDIO)
珍しい昆虫いっぱい
「昆虫のふしぎ」展について
一日一言「香大博物館の昆虫展」
擬態昆虫不思議の世界 香川大博物館 標本670点展示
「昆虫のふしぎ」展について(PEPTV~地域密着情報系~)
香川大博物館の出演協力者に感謝状贈呈
香川大学のお宝を見て、研究の成果を知ろう!!
大昔の瀬戸内海は陸だった!

2009
(平成21)
年度

2009年5月1日
2009年5月23日
2009年7月23日
2009年7月23日
2009年8月1日
2009年8月2日
2009年8月28日
2009年9月3日

かがわ探検ミュージアム(14頁)
リビングたかまつ(13面)
RNC 西日本放送
KSB 瀬戸内海放送
NHK 高松放送局
産経新聞(24面)
FM 香川
朝日小学生新聞(3面)

大昔の瀬戸内海は陸だった!
第2土曜は1日香川大生「ミュージアム・レクチャー」始まりました
瀬戸内海の生き物と先端技術に触れる 香川大学で企画展(RNC News リアルタイム)
「瀬戸内の海・干潟・海浜の生き物」展(岡山・香川のニュース)
瀬戸内海が育む命(ゆうどき香川ニュース610 他)
企画展「瀬戸内の海・干潟・海浜の生き物」香川大学博物館
「瀬戸内の海・干潟・海浜の生き物」展について(786・SUPER MEDIO)
大学の博物館「香川大学博物館」標本・資料紹介 地域にちなむ企画

2010
(平成22)
年度

2010年7月23日	NHK 高松放送局	アリの生態を紹介 (645かがわ 他)
2010年8月19日	FM香川	香川大学博物館 第5回企画展「アリの世界」(786-SUPER MEDIO)
2010年10月1日	文教速報(10頁)	香川大学博物館で企画展「アリの世界～〇〇してみる研究室～」
2010年10月28日	NHK 高松放送局	四国遍路の資料展(ゆう6かがわ 他)
2010年11月8日	山陽新聞(21面)	四国遍路往時に光 江戸期から昭和初期 指南書や納経帳展示
2010年11月11日	四国新聞(22面)	四国遍路の足跡探る 香大で資料展 納経帳や道案内書330点
2010年12月7日	四国新聞(24面)	「はやぶさ」高松で公開 来年10月22、23日
2010年12月15日	NHK 高松放送局	「はやぶさカプセル」香川大で展示へ(ゆう6かがわ 他)
2011年1月1日	読売新聞(36面)	「はやぶさ」カプセル展示 10月香川大 本体やパラシュート
2011年1月10日	朝日新聞(17面)	「はやぶさ」の旅 香川でも カプセル、10月に香川大博物館で展示

2011
(平成23)
年度

2011年6月25日	NHK 高松放送局	大学生のコレクション展(ゆう6かがわ 他)
2011年6月29日	四国新聞(28面)	第3回マイミュージアム展
2011年7月4日	NHK 高松放送局	マイミュージアム展(ゆう6かがわ)
2011年7月16日	リビングたかまつ(12面)	第7回企画展「おいしいお肉の向こうには…」
2011年7月23日	NHK 高松放送局	鶏肉と卵をもっと知って(ニュース 他)
2011年9月30日	文教速報(13頁)	香川大学博物館が企画展「おいしいお肉の向こうには」
2011年10月1日	リビングたかまつ(3面)	7年間、60億kmの宇宙の旅を終えた小惑星探査機「はやぶさ」帰還カプセル展
2011年10月4日	FM香川	第8回企画展(786 SUPER MEDIO)
2011年10月15日	FM815	第8回企画展(みっちゃんのオペラだ～い好き)
2011年10月19日	KSB 瀬戸内海放送	あすから「はやぶさ」帰還展(KSBスーパーJチャンネル)
2011年10月19日	RNC 西日本放送	「はやぶさ」香川に!あすから公開帰還展(RNC news every.)
2011年10月19日	朝日新聞(35面)	60億キロの旅 きょうから「帰還展」はやぶさの夢 届くカプセルや模型、7点
2011年10月20日	読売新聞(34面)	「はやぶさ」ってすごい 内覧会で児童ら感激 きょうから 香川大でカプセル、模型展示
2011年10月20日	山陽新聞(26面)	“勇姿”を県内初公開 小惑星探査機「はやぶさ」きょうから香川大博物館 カプセルや電子機器展示
2011年10月20日	KSB 瀬戸内海放送	小惑星探査機「はやぶさ」一般公開(KSBスーパーJチャンネル)
2011年10月20日	NHK 高松放送局	小惑星探査機「はやぶさ」帰還カプセル展(ゆう6かがわ)
2011年10月20日	OHK 岡山放送	宇宙から帰還“はやぶさ”が香川へ(OHKスーパーニュース)
2011年10月21日	四国新聞(21面)	「はやぶさ」カプセルで初公開 香川大学博物館 親子ら宇宙ロマンに浸る
2011年10月21日	日本経済新聞(33面)	「はやぶさ」展示始まる
2011年10月21日	毎日新聞(25面)	実物「はやぶさ」カプセルを展示 香川大博物館
2011年10月21日	産経新聞(22面)	「はやぶさ」の帰還カプセル 香川大学博物館で展示
2011年10月22日	FM815	第8回企画展(みっちゃんのオペラだ～い好き)
2011年10月22～28日	高松ケーブルテレビ	小惑星探査機「はやぶさ」帰還カプセル展
2011年10月23日	朝日新聞(30面)	はやぶさの夢 300人感動「帰還展」特別講演
2011年10月23日	四国新聞(23面)	小惑星イトカワ探査の苦勞語る 吉川氏、香川大で講演
2011年10月31日	朝日新聞(27面)	はやぶさ展企画 大成功(讃岐ひと模様)
2012年2月16日	朝日新聞(31面)	南極の岩石香川大に 第1次観測隊の2個、寄贈
2012年3月17日	OHK 岡山放送	香川大学「希少糖」の研究成果を発表(OHKスーパーニュース)
2012年3月19日	KSB 瀬戸内海放送	希少糖研究“生産装置”を展示(KSBスーパーJチャンネル)

2012
(平成24)
年度

2012年4月1日	ライト&ライブ(4頁)	「特集」大学へ行こう! 香川大学 図書館や博物館など日常的な活用が可能
2012年5月18日	四国新聞(23面)	はやぶさカプセル展に貢献 宇宙少年団に感謝状 香川大
2012年6月18日	OHK 岡山放送	第4回マイミュージアム展(OHKスーパーニュース)
2012年6月19日	KSB 瀬戸内海放送	学生が自由に展示「マイミュージアム」(KSBスーパーJチャンネル)
2012年6月20日	朝日新聞(33面)	私のお気に入り 見て
2012年6月26日	四国新聞(24面)	第4回マイミュージアム展
2012年6月29日	毎日新聞(25面)	思い思い「私設博物館」
2012年7月19日	四国新聞(26面)	第9回企画展「ジオの世界」
2012年8月4日～10日	高松ケーブルテレビ	第9回企画展「ジオの世界」
2012年8月23日	朝日新聞(13面)	砂の中に「宝石」キラリ 香川大学博物館鉱物探し体験
2012年8月25日	RNC 西日本放送	第9回企画展「ジオの世界」
2012年12月16日	読売新聞(33面)	ガリレオの驚き体験 高松、宇宙科学教室
2013年3月2日	リビングたかまつ(3面)	香川大学博物館 開館5周年記念特別展「フクイサウルスがやってきた!～骨から学ぶ生物進化～」
2013年3月6日	NHK 高松放送局	香川大学博物館 開館5周年記念特別展(ゆう6かがわ)
2013年3月7日	NHK 高松放送局	恐竜“フクイサウルス”特別展(ゆう6かがわ 他)
2013年3月7日	四国新聞(24面)	香川大学博物館 開館5周年記念特別展
2013年3月7日	KSB 瀬戸内海放送	香川に恐竜がやって来た(KSBスーパーJチャンネル)
2013年3月8日	NHK 高松放送局	香川大学博物館 開館5周年記念特別展(ゆう6かがわ)
2013年3月8日	読売新聞(31面)	福井の恐竜 香大に“上陸”博物館 骨格標本など特別展
2013年3月8日	産経新聞(24面)	フクイサウルスがやってきた! 開館5周年の香川大博物館 恐竜の骨格標本展示
2013年3月15日	RNC 西日本放送	香川大学博物館 入場無料の恐竜展(RNC news every.)
2013年3月16日	朝日新聞(35面)	骨格標本で進化の軌跡 香川大学博物館 恐竜・スナメリなど6体展示

2013
(平成25)
年度

2013年4月2日	NHK 高松放送局	ミュージアムナビ「フクイサウルスがやってきた!～骨から学ぶ生物進化～」(ゆう6かがわ)
2013年4月2日	RSK 山陽放送	香川大博物館 恐竜「フクイサウルス」展示(RSKイブニングニュース 他)
2013年4月9日	朝日新聞(29面)	平成25年度科学技術分野文部科学大臣表彰
2013年4月19日	科学新聞(2面)	科学技術賞 理解増進部門
2013年4月23日	四国新聞(19面)	香川大学博物館長ら5人に科学技術賞
2013年5月13日	文教ニュース(48頁)	香川大学博物館長ら平成25年度科学分野の文部科学大臣表彰受賞

報道状況

2013年5月17日	文教速報(7頁)	香川大博物館長らが科学分野の文科学大臣表彰を受賞
2013年6月21日	NHK 高松放送局	香川大で「マイミュージアム展」(ひるまえかがわ)
2013年6月28日	KSB瀬戸内海放送	香川大学第5回「マイミュージアム展」(KSBスーパーJチャンネル)
2013年7月19日	四国新聞(30面)	企画展「讃岐のため池香川大学博物館でそーつとのぞいてみよう」
2013年7月	かがアド18号(4頁)	「香川大学博物館」未来の自分は好奇心の先に
2013年8月3日	リビングたかまつ(11面)	「讃岐のため池そーつとのぞいてみよう」展
2013年8月23日	NHK 高松放送局	香川大博物館ため池展でミニ工事体験開催(ひるまえかがわ・ゆう6かがわ)
2013年10月4日	文教速報(11頁)	「讃岐のため池」香川大博物館が企画展
2014年2月16日	読売新聞(24面)	「ロシア隕石」3点高松へ 昨年落下 来月、3か所で展示
2014年2月22日	毎日新聞(25面)	ロシアに大被害 高松で隕石公開 四国初 来月1日から
2014年3月1日	リビングたかまつ(10面)	講演「3D and Finland～北欧の妖精ムーミントロールの立体映像が生まれるまで～」
2014年3月7日	朝日新聞(28面)	香川大博物館特別講演会「3D and Finland 北欧の妖精、ムーミントロールの立体映像が生まれるまで」(イベントガイド)
2014年3月7日	四国新聞(26面)	春の特別展「時代を駆け抜けた銀塩カメラフィルムカメラ40台の展示」(週末イベントガイド)
2014年3月7日	四国新聞(26面)	香川大博物館特別講演会(週末イベントガイド)
2014年3月7日	四国新聞オアシス(15面)	時代を駆け抜けた銀塩カメラフィルムカメラ40台の展示(イベント情報)
2014年3月7日	朝日新聞(28面)	3D and Finland—北欧の妖精、ムーミントロールの立体映像が生まれるまで(イベント情報)
2014年3月27日	KSB瀬戸内海放送	時代を駆け抜けたフィルムカメラの展示会(KSBスーパーJチャンネル)

2014 (平成26) 年度

2014年7月22日	NHK 高松放送局	“昆虫に迫る”展示会(NHK各地のニュース・ゆう6かがわ)
2014年8月8日	NHK 高松放送局	香川大博物館「昆虫の色とカタチ展」(週末情報)
2014年9月25日	四国新聞(17面)	教授を魅了した大地の結晶 北川隆司鉱物コレクション(木曜倶楽部)
2014年9月26日	四国新聞オアシス(5面)	教授を魅了した大地の結晶(はな)—北川隆司鉱物コレクション—(イベント情報)
2014年9月30日	香川大学環境報告書2014	夏休みの企画展「讃岐のため池そーつとのぞいてみよう」(p.22)
2014年10月28日	四国新聞(23面)	自然の造形美来場者見入る 香川大学博物館で鉱物展
2014年11月12日	NHK 高松放送局	屋島の自然紹介する展示会(NHK各地のニュース・ゆう6かがわ)
2014年11月13日	読売新聞(33面)	屋島の歴史、自然知って
2014年11月30日	KSB瀬戸内海放送	宇宙に興味を 科学体験教室(ANN ニュース)
2014年11月30日	RNC西日本放送	香川大学 親子で学ぶ宇宙科学教室(RNC Just News)
2014年12月1-7日	高松ケーブルテレビ	ディスカバリーキッズ科学実験館(ニュースの時間です。)
2014年12月7日	朝日新聞(32面)	国史跡「屋島」高松で企画展 自然・歴史テーマに
2014年12月14日	四国新聞(17面)	香川知ってるつもり!? 最古の○○ 番外編 奈良時代末～平安初期〆足跡、
2015年2月4日	文教速報(15頁)	香川大博物館、市歴史資料館と企画展を共同開催

2015 (平成27) 年度

2015年7月24日	四国新聞オアシス	企画展「カメの不思議」
2015年7月30日	NHK 高松放送局	カメの剥製や標本など紹介(ゆう6かがわ他)
2015年8月14日	四国新聞オアシス(12面)	兵庫県立人と自然の博物館移動博物館車「ゆめはく」
2015年8月15日	RNCラジオ	企画展「カメの不思議」(さいむす2☆ぼっ)
2015年9月30日	香川大学環境報告書2015	屋島の自然と景観(p.9)
2015年9月30日	香川大学環境報告書2015	くらべて発見!! 昆虫の色とカタチ展(p.11)
2015年10月17日	RNCラジオ	企画展「アートコレクション展」(さいむす2☆ぼっ)
2015年10月23日	朝日新聞(30面)	香川大博物館第16回企画展「アートコレクション展」(イベントガイド)
2015年10月28日	NHK 高松放送局	香川大美術教員の作品を展示(ゆう6かがわ他)
2015年10月30日	四国新聞オアシス(14面)	アートコレクション展—香川大学の前身校から現在までの美の系譜—
2015年11月4日	FM高松	アートコレクション展(STEP!!)
2015年11月7日	リビングたかまつ(10面)	アートコレクション展
2015年11月11日	日本経済新聞(39面)	アートコレクション展(カルチャーガイド)
2015年11月12日	四国新聞(15面)	教育現場の美の系譜 歴代教授の絵画や書など(木曜倶楽部)
2016年2月20日	RNCラジオ	かがわ子ども大学香川大学キャンパス(さいむす2☆ぼっ)



2014年3月27日 KSB瀬戸内海放送
「時代を駆け抜けたフィルムカメラの展示会」の取材を受ける鈴木桂輔工学部准教授



2014年11月12日 NHK高松放送局
「屋島の自然紹介する展示会」の取材を受ける寺林 優博物館長

2016
(平成28)
年度

2016年5月31日	MAPPSメールニュース	IT時代に遅れないための環境づくりを1日で学べる!「ミュージアムITセミナー2016 in 香川」のお知らせ
2016年6月20日	高松市HPイベントの森(キッズ向け)	「星空探検」～35cm反射型望遠鏡で火星・木星・土星をみよう～
2016年7月5日	毎日新聞(27面)	研究の現場から アリの種類や生態研究30年
2016年7月5日	FM香川	「星空探検」～35cm反射型望遠鏡で火星・木星・土星をみよう～765(SUPER MEDIO)
2016年7月5日	読売新聞(33面)	惑星やISS 観察しよう 27日、香川大
2016年7月6日	毎日新聞(23面)	香川大で「星空探検」
2016年7月15日	株式会社ミュージアムメディア研究所	ミュージアムITセミナー2016 in 香川報告書
2016年7月18日	読売新聞(29面)	ハチ 多様な生態学ぼう 21日から香川大企画展
2016年8月4日	RNCラジオ	企画展「ハチの世界」(きままにラジオ～雨の日曇りの日～ラジオカーレポート)
2016年8月5日	読売新聞(29面)	宇宙に飛べ讃岐っ子 学者ら教育推進協発足 イベントで科学の魅力伝える
2016年8月23日	KSB瀬戸内海放送	博物館企画展「ハチの世界」について(KSBニュース)
2016年8月23日	KSB瀬戸内海放送	香川大学博物館 ハチの特徴や生態が分かる展示会(KSBスーパーJチャンネル)
2016年8月26日	NHK高松放送局	里山の自然を子供たちが学ぶ(ゆう6かがわ)
2016年8月27日	NHK高松放送局	里山の自然を子供たちが学ぶ(NHKニュース)
2016年9月	香川大学環境報告書2016	カメの不思議(p.14)
2016年9月	香川大学環境報告書2016	ミュージアム・レクチャー in 香川大学農場(p.15)
2016年10月	News Letter from MAPPS No.9	博物館ITに特化した貴重なセミナーが実現
2016年11月20日	KSB瀬戸内海放送	企画展「金毘羅信仰を考える」(KSBニュース、KSBスーパーJチャンネル)
2016年12月1日	電気新聞(5面)	三菱電機四国支社 園児が昆虫採集挑戦 高松・峰山公園で野外教室
2017年1月25日	RNCラジオ	特別展「パンチを予見する男」(さわやかラジオ 気分上々)
2017年1月27日	四国新聞オアシス(12面)	特別展「パンチを予見する男 福田直樹写真展～渡米15年の軌跡」(イベント情報)
2017年2月3日	KSB瀬戸内海放送	特別展「パンチを予見する男 福田直樹写真展～渡米15年の軌跡」(KSBニュース)
2017年2月3日	KSB瀬戸内海放送	世界一のボクシングカメラマン「パンチを予見する男」写真展(KSBスーパーJチャンネル)
2017年2月4日	KSB瀬戸内海放送	特別展「パンチを予見する男 福田直樹写真展～渡米15年の軌跡」トークイベント(KSBニュース)
2017年2月9日	四国新聞(15面)	ボクシングの迫力 間近で 米で最優秀写真賞4回 カメラマン福田直樹が個展(木曜倶楽部)
2017年2月14日	毎日新聞(26面)	ボクサーの「一瞬」撮影 香川大で60点展示
2017年2月15日	四国新聞(24面)	パンチを予見する男 福田直樹写真展～渡米15年の軌跡
2017年3月31日	電気新聞(5面)	里海保全活動に参加 三菱電機四国支社 香川大の人工藻場見学

2017
(平成29)
年度

2017年7月1日	高松リビング新聞(2面)	夏休み!子どもカルチャーニュース ①星空探検 ②ウサギ観察会
2017年8月1日	KSB瀬戸内海放送	企画展「ウサギの世界」の意外と知らない事実(KSBスーパーJチャンネル)
2017年8月17日	RNCラジオ	ウサギの世界(さわやかラジオ ～知識の神様Z～)
2017年9月9日	KSB瀬戸内海放送	高松市 園児の昆虫観察教室(KSBニュース、KSBスーパーJチャンネル)
2017年9月11日	CAPAカメラネット	K-Lovers Photographers 写真展 ～香川で生まれた、ファインアート写真家集団～ 会期I 9/12～23
2017年9月11日	CAPAカメラネット	K-Lovers Photographers 写真展 ～香川で生まれた、ファインアート写真家集団～ 会期II 9/26～10/7
2017年9月11日	CAPAカメラネット	所幸則写真展～香川が生んだ、時のWizard～ 10/10～21
2017年9月13日	四国新聞(21面)	高松で作品展 写真家・所さん指導のグループ 独特の感性で県内写す
2017年9月21日	四国新聞(19面)	K-Lovers Photographers 写真展・前期
2017年9月21日	RNCラジオ	K-Lovers Photographers 写真展(さわやかラジオ ～知識の神様Z～)
2017年9月22日	電気新聞(5面)	林の生き物と触れ合い 三菱電機四国支社 高松市で野外教室
2017年9月28日	四国新聞(15面)	K-Lovers Photographers 写真展・後期(木曜倶楽部)
2017年10月3日	四国新聞(22面)	K-Lovers Photographers 写真展・後期
2017年10月5日	四国新聞(26面)	K-Lovers Photographers 写真展・後期
2017年10月12日	四国新聞(14面)	独自視点で日常写す 所幸則が写真展(木曜倶楽部)
2017年10月13日	四国新聞オアシス(10面)	博物館特別展「所幸則写真展」(イベント情報)
2017年11月2日	四国新聞(15面)	拓本でみる讃岐(木曜倶楽部)
2017年11月6日	四国新聞(22面)	拓本でみる讃岐
2017年11月9日	四国新聞(24面)	拓本でみる讃岐
2017年11月16日	四国新聞(24面)	拓本でみる讃岐
2017年12月7日	NHK高松放送局	Bangladesh国境沿いのエスニックマイノリティの世界(ゆう6かがわ「明日のうごき」)
2017年12月8日	NHK高松放送局	Bangladesh国境沿いのエスニックマイノリティの世界(7:45ニュース「今日のうごき」)
2017年12月8日	読売新聞(27面)	Bangladesh国境沿いのエスニックマイノリティの世界(7:45ニュース「今日のうごき」)
2017年12月9日	高松リビング新聞(5面)	Bangladesh国境沿いのエスニックマイノリティの世界
2017年12月12日	高松経済新聞	特別展「Bangladesh国境沿いのエスニックマイノリティの世界」
2017年12月14日	四国新聞(26面)	香川大学博物館でエスニックマイノリティ展示会 ムロ民族による講演会も
2017年12月15日	ふらっと高松(高松市市民活動センター)	ミュージアム・レクチャー「ムロ民族の文化」
2017年12月15日	ふらっと高松(高松市市民活動センター)	香川大学博物館特別展 Bangladesh国境沿いのエスニックマイノリティの世界
2017年12月15日	ふらっと高松(高松市市民活動センター)	本邦初!クミ民族・ムロ民族の暮らしをのぞいてみませんか?
2017年12月15日	朝日新聞(28面)	香川大博物館特別展「Bangladesh国境沿いのエスニックマイノリティの世界」
2017年12月16日	毎日新聞(24面)	紛争苦の少数民族知って 香川大生 NGO がバングラ支援
2017年12月17日	朝日新聞(29面)	少数民族の現状知って バングラ・ムロ族香川大で特別展 教育環境整わず
2018年2月13日	電気新聞(5面)	香川大学博物館で特別展 情報機器の変遷紹介 進化史を現物で一望

報道状況

2018
(平成30)
年度

2018年6月22日	四国新聞(24面)	学生の存在強みに 大学博物館がシンボ
2018年7月21日	リビングたかまつ(10面)	動物の世界って、どなんなつとんな?
2018年7月28日	四国新聞(26面)	企画展「動物の世界って、どなんなつとんな?」
2018年7月30日	RNCラジオ	第21回企画展「動物の世界って、どなんなつとんな?」(さわやかラジオ ~知識の神様Z~)
2018年8月29日	四国新聞(24面)	博物館企画展「動物の世界って、どなんなつとんな?」
2018年12月13日	FM香川	特別展「タロファ サモア ~南太平洋の島国の生活を知る~」
2019年1月31日	四国新聞(13面)	特別展「木村美鈴寄贈作品展」(木曜倶楽部)
2019年2月23日	リビングたかまつ(10面)	特別展「木村美鈴寄贈作品展」
2019年2月28日	KSB瀬戸内海放送	特別展「木村美鈴寄贈作品展」(KSBスーパーJチャンネル)

2019
(平成31・
令和元)
年度

2019年4月19日	リビングたかまつ(10面)	香川大学博物館特別講演会「現代アート入門サイトスペシフィック・アートとは?」
2019年4月28日	徳島放送	徳島市藍場浜公園「ストーンフェア2019」開催(徳島新聞ニュース)
2019年5月7日	RNCラジオ	瀬戸内国際芸術祭2019香川大学博物館特別講演会
		「現代アート入門サイトスペシフィック・アートとは?」(さわやかラジオおはようハイタッチ!)
2019年7月12日	リビングたかまつ(2面)	夏休み体験大集合(自然・科学編) ①香川大学で星空探検 ②里山の昆虫を観察しよう
2019年7月26日	四国新聞よんしんitsumo(8面)	行ってみよう! 香川の自然!
2019年7月30日	KSB瀬戸内海放送	香川大学博物館第71回ミュージアム・レクチャー「香川大学で『星空探検』」 (KSBスーパーJチャンネル)
2019年11月7日	四国新聞(12面)	古生物研究の世界(木曜倶楽部)
2019年11月8日	四国新聞よんしんitsumo(8面)	古生物研究の世界
2019年11月15日	リビングたかまつ(12面)	古生物研究の世界
2019年11月20日	四国新聞(20面)	古生物研究の世界
2019年11月25日	RNCラジオ	香川大学博物館第24回企画展「古生物研究の世界」(開催中)について (さわやかラジオおはようハイタッチ!)
2019年12月2日	四国新聞(20面)	古生物研究の世界
2019年12月5日	四国新聞(12面)	古生物の研究 つぶさに(木曜倶楽部)
2019年12月5日	四国新聞かがわエンタメマガジン(2面)	古生物研究の世界
2020年1月31日	読売新聞(25面)	世界を救え 昆虫飼料
2020年1月31日	四国新聞よんしんitsumo(8面)	新しい昆虫食の世界
2020年1月31日	リビングたかまつ(6面)	特別展「新しい昆虫食の世界」
2020年2月19日	RSK山陽放送	香川大学の創立70周年記念 特別展(RSK ニュース)
2020年2月27日	四国新聞(12面)	香川大学第5代学長 倉田貞美博士の業績(木曜倶楽部)
2020年2月28日	四国新聞よんしんitsumo(8面)	香川大学第五代学長 倉田貞美博士の業績
2020年3月	香川県教育委員会	地域で子どもを育てる仕掛けづくり! 平成31年度家庭・地域教育力再生事業「地域で共育!」事例集

2020
(令和2)
年度

2020年9月28日	RNCラジオ	香川大学農学部で研究を進めている、昆虫飼料化の推進や安全性研究と特別展 「新しい昆虫食の世界」について(さわやかラジオおはようハイタッチ!)
2020年10月14日	KSB瀬戸内海放送	文化振興への貢献称える 高松市文化奨励賞の受賞者が決定
2020年10月15日	四国新聞(16面)	高松市文化奨励賞(顕彰部門)に2人 香川大学博物館 寺林館長
2020年11月4日	四国新聞(13面)	受賞の2人 飛躍誓う 高松市文化奨励賞贈呈式
2020年11月12日	朝日新聞(23面)	大学博物館は外への「窓」
2020年11月	香川大学広報紙KADAIGEST	寺林 優教授(博物館長、創造工学部教授)が高松市文化奨励賞を受賞
2020年12月2日	文教速報(6頁)	香川大教授が高松市文化奨励賞を受賞
2020年12月7日	文教ニュース(29頁)	香川大学の寺林 優教授 高松市文化奨励賞を受賞
2020年12月7日	NHK高松放送局	はやぶさ2が帰還 はやぶさのカプセル展示した博物館は(ゆう6かがわ)
2020年12月11日	リビングたかまつ(1面)	オススメの本or映画3選 香川大学博物館長 寺林優さん
2020年12月28日	RNCラジオ	小惑星探査機「はやぶさ2」について(さわやかラジオおはようハイタッチ!)
2021年1月	広報 高松(14頁)	寺林 優教授(博物館長、創造工学部教授)が高松市文化奨励賞を受賞
2021年1月25日	RNCラジオ	香川大学大学院美術研究室修了制作展 河西紀亮(さわやかラジオおはようハイタッチ!)
2021年2月4日	四国新聞(11面)	香川大学大学院美術研究室修了制作展 河西紀亮(木曜倶楽部)
2021年2月7日	四国新聞(22面)	香川大学大学院美術研究室修了制作展 河西紀亮(イベントガイド)
2021年2月24日	四国新聞(14面)	あの人この人「物の存在感」絵で表現 香川大学大学院美術研究室修了制作展 河西紀亮
2021年3月	月刊 香川こまち(3月号)	香川大学大学院美術研究室修了制作展 河西紀亮
2021年3月12日	リビングたかまつ(2面)	より見やすく、より鮮明に すごいぞ、図鑑 香川大学博物館長 寺林優さん

組織

2006 (平成18) 年度

図書館・情報機構長 前田 肇 学術担当理事・副学長
 代表 岡野 眞 工学部教授
 事務 洪澤 知伸 学術部長
 事務 吉見 賢一 情報図書グループリーダー
 事務補佐員 西浦 敦子 (～2006.8.31)
 事務補佐員 黒瀬由美子 (2006.9.1～)

博物館委員会
 工学部・委員長 教授 岡野 眞
 教育学部 教授 末廣喜代一
 教育学部 講師 松下 幸司
 経済学部 教授 丹羽 佑一
 経済学部 教授 福田 道彦
 連合法務研究科 教授 高橋 正俊
 医学部 助教 村主 成
 医学部 技官 永田 若
 工学部 教授 伊藤 寛
 工学部 助教 寺林 優
 農学部 教授 市川 俊英
 農学部 教授 伊藤 文紀
 生涯学習教育研究センター 助教 山本 珠美

2009 (平成21) 年度

図書館・情報機構長 前田 肇 学術担当理事・副学長
 館長 丹羽 佑一 経済学部教授
 副館長 (研究担当) 寺林 優 工学部准教授
 副館長 (資料担当) 伊藤 文紀 農学部教授
 事務 伊藤 公明 学術部長
 事務補佐員 大谷亜樹子
 事務補佐員 倉橋 伴知 (～2009.9.30)
 事務補佐員 鳥山さやか (2009.10.21～)

博物館会議
 博物館 館長 丹羽 佑一
 工学部 副館長 (研究担当) 寺林 優
 農学部 副館長 (資料担当) 伊藤 文紀
 教育学部 教授 末廣喜代一
 教育学部 教授 田中 健二
 教育学部 准教授 松下 幸司
 経済学部 教授 福田 道彦
 経済学部 准教授 松岡 久美
 法学部 准教授 岸野 薫
 連合法務研究科 教授 柴田 潤子
 地域マネジメント研究科 教授 畑中 和義
 医学部 助教 田中 澄子
 医学部 講師 松本 由樹
 医学部 技術職員 永田 若
 工学部 教授 岡野 眞
 農学部 准教授 安井 行雄
 生涯学習教育研究センター 准教授 山本 珠美
 情報図書グループ リーダー 北條 充敏

2007 (平成19) 年度

図書館・情報機構長 前田 肇 学術担当理事・副学長
 館長 丹羽 佑一 経済学部教授
 副館長 (研究担当) 寺林 優 工学部准教授
 副館長 (資料担当) 市川 俊英 農学部教授
 事務 榎山登志雄 学術部長
 事務補佐員 大谷亜樹子
 事務補佐員 倉橋 伴知

博物館会議
 博物館 館長 丹羽 佑一
 工学部 副館長 (研究担当) 寺林 優
 農学部 副館長 (資料担当) 市川 俊英
 教育学部 教授 末廣喜代一
 教育学部 教授 葛西 崇
 教育学部 准教授 松下 幸司
 経済学部 教授 福田 道彦
 経済学部 教授 姚 峰
 法学部 教授 飯島 暢
 連合法務研究科 教授 高橋 正俊
 地域マネジメント研究科 教授 緒方 俊則
 医学部 教授 西山 成
 医学部 技術職員 永田 若
 工学部 教授 岡野 眞
 農学部 准教授 安井 行雄
 生涯学習教育研究センター 准教授 山本 珠美
 情報図書グループ リーダー 吉見 賢一

2010 (平成22) 年度

図書館・情報機構長 柴田 昭二 情報担当副学長
 館長 丹羽 佑一 経済学部教授
 副館長 (研究担当) 寺林 優 工学部准教授 (教授2011.1.1～)
 副館長 (資料担当) 伊藤 文紀 農学部教授
 事務 井上 明夫 学術部長
 事務補佐員 大谷亜樹子
 事務補佐員 鳥山さやか (～2010.9.17)
 事務補佐員 藤城 早希 (2010.10.1～)

博物館会議
 博物館 館長 丹羽 佑一
 工学部 副館長 (研究担当) 寺林 優
 農学部 副館長 (資料担当) 伊藤 文紀
 教育学部 教授 末廣喜代一
 教育学部 教授 田中 健二
 教育学部 准教授 松下 幸司
 経済学部 教授 福田 道彦
 経済学部 准教授 松岡 久美
 法学部 准教授 吉井 匡
 連合法務研究科 教授 柴田 潤子
 地域マネジメント研究科 教授 畑中 和義
 医学部 助教 田中 澄子
 医学部 助教・学内講師 松本 由樹 (～2010.8.31)
 医学部 技術職員 永田 若
 工学部 教授 岩本 直樹
 農学部 准教授 安井 行雄
 農学部 助教 松本 由樹 (2010.9.1～)
 生涯学習教育研究センター 准教授 山本 珠美
 情報図書グループ リーダー 北條 充敏

2008 (平成20) 年度

図書館・情報機構長 前田 肇 学術担当理事・副学長
 館長 丹羽 佑一 経済学部教授
 副館長 (研究担当) 寺林 優 工学部准教授
 副館長 (資料担当) 伊藤 文紀 農学部教授
 事務 伊藤 公明 学術部長
 事務補佐員 大谷亜樹子
 事務補佐員 倉橋 伴知

博物館会議
 博物館 館長 丹羽 佑一
 工学部 副館長 (研究担当) 寺林 優
 農学部 副館長 (資料担当) 伊藤 文紀
 教育学部 教授 末廣喜代一
 教育学部 教授 田中 健二
 教育学部 准教授 松下 幸司
 経済学部 教授 福田 道彦
 経済学部 教授 金 徳謙
 法学部 准教授 岸野 薫
 連合法務研究科 教授 高橋 正俊
 地域マネジメント研究科 教授 畑中 和義
 医学部 教授 村主 成
 医学部 助教 松本 由樹
 医学部 技術職員 永田 若
 工学部 教授 岡野 眞
 農学部 准教授 安井 行雄
 生涯学習教育研究センター 准教授 山本 珠美
 情報図書グループ リーダー 吉見 賢一

2011 (平成23) 年度

図書館・情報機構長 柴田 昭二 情報担当副学長 (～2011.9.30)
 図書館・情報機構長 阪本 晴彦 情報担当副学長 (2011.10.1～)
 館長 寺林 優 工学研究科教授
 副館長 (研究担当) 山本 珠美 生涯学習教育研究センター准教授
 副館長 (資料担当) 伊藤 文紀 農学研究科教授
 事務 井上 明夫 学術部長
 事務 片山 恒信 情報図書グループサブリーダー
 事務補佐員 大谷亜樹子
 事務補佐員 藤城 早希

博物館会議
 議長 館長 寺林 優
 生涯学習教育研究センター 副館長 (研究担当) 山本 珠美
 農学研究科 副館長 (資料担当) 伊藤 文紀
 アーツ・サイエンス研究科 教授 丹羽 佑一
 アーツ・サイエンス研究科 教授 王 維
 教育学研究科 教授 松村 雅文
 教育学研究科 准教授 古草 敦史
 教育学研究科 准教授 松下 幸司
 経済学研究科 准教授 神吉 直人 (～2011.7.12)
 経済学研究科 准教授 金澤 忠信 (2011.7.13～)
 法学研究科 教授 馬淵 勉
 医学研究科 助教 田中 澄子
 医学研究科 技術職員 永田 若
 工学研究科 教授 岩本 直樹
 工学研究科 講師 守屋 均
 農学研究科 准教授 安井 行雄
 農学研究科 助教 松本 由樹
 情報図書グループ リーダー 北條 充敏

組織

2012 (平成24) 年度

図書館・情報機構長	阪本 晴彦	情報担当副学長	寺林 優
館長	寺林 優	工学研究院教授	伊藤 文紀
副館長 (資料担当)	伊藤 文紀	農学研究院教授	井上 明夫
事務	井上 明夫	学術部長	片山 恒信
事務	片山 恒信	情報図書グループサブリーダー	ルーツ由佳
事務補佐員	ルーツ由佳		
博物館会議			
議長	館長	寺林 優	
農学研究院	副館長 (資料担当)	伊藤 文紀	
アーツ・サイエンス研究院	教授	寺尾 徹	
教育学研究院	教授	松村 雅文	
教育学研究院	教授	古草 敦史	
教育学研究院	准教授	松下 幸司	
法学研究院	教授	馬淵 勉	
経済学研究院	教授	丹羽 佑一	
経済学研究院	准教授	神吉 直人 (2012.10.1~)	
医学研究院	助教	田中 澄子	
医学部	技術職員	永田 若	
工学研究院	教授	岩本 直樹	
工学研究院	講師	守屋 均	
農学研究院	准教授	安井 行雄	
農学研究院	助教	松本 由樹 (准教授 2012.11.1~)	
大学教育開発センター	准教授	岩中 貴裕	
情報図書グループ	リーダー	北條 充敏	

2015 (平成27) 年度

情報担当副学長	寛 善行 (~2015.9.30)		
情報・学術担当副学長	吉田 秀典 (2015.10.1~)		
館長	寺林 優	工学部教授	寺尾 徹
副館長 (研究担当)	寺尾 徹	教育学部教授	伊藤 文紀
副館長 (資料担当)	伊藤 文紀	農学部教授	石橋 英二
事務	石橋 英二	学術部長	白井 修
事務	白井 修	情報図書グループサブリーダー	ルーツ由佳 (~2015.4.30)
事務補佐員	ルーツ由佳 (~2015.4.30)		
事務補佐員	井上 幸恵 (2015.5.1~2015.12.25)		
博物館会議			
議長	館長	寺林 優	
教育学部	副館長 (研究担当)	寺尾 徹	
農学部	副館長 (資料担当)	伊藤 文紀	
教育学部	准教授	篠原 渉	
教育学部	准教授	金子 太郎	
法学部	教授	和食 俊朗	
法学部	教授	山本 健一	
連合法務研究科	准教授	大北 健一	
経済学部	准教授	新井 明治	
地域マネジメント研究科	准教授	石原 秀則	
医学部	准教授	松本 由樹	
医学部	准教授	北條 充敏	
工学部	准教授		
農学部	准教授		
情報図書グループ	リーダー		

2013 (平成25) 年度

情報担当副学長	阪本 晴彦	工学部教授	寺林 優
館長	寺林 優	教育学部教授	寺尾 徹
副館長 (研究担当)	寺尾 徹	農学部教授	伊藤 文紀
副館長 (資料担当)	伊藤 文紀	学術部長	枝川 幸司
事務	枝川 幸司	情報図書グループサブリーダー	岩澤 尚子
事務	岩澤 尚子		
事務補佐員	ルーツ由佳		
博物館会議			
議長	館長	寺林 優	
教育学部	副館長 (研究担当)	寺尾 徹	
農学部	副館長 (資料担当)	伊藤 文紀	
教育学部	教授	古草 敦史	
教育学部	准教授	松下 幸司	
教育学部	准教授	松本 一範	
教育学部	准教授	篠原 渉	
法学部	准教授	村田 大樹	
連合法務研究科	教授	馬淵 勉	
経済学部	教授	高橋 明郎	
経済学部	准教授	宮脇 秀貴	
地域マネジメント研究科	准教授	大北 健一	
医学部	准教授	新井 明治	
医学部	技術職員	永田 若	
工学部	准教授	石原 秀則	
工学部	講師	守屋 均	
農学部	准教授	松本 由樹	
農学部	准教授	安井 行雄	
大学教育開発センター	准教授	岩中 貴裕	
情報図書グループ	リーダー	北條 充敏	

2016 (平成28) 年度

情報・学術担当副学長	吉田 秀典		
館長	寺林 優	工学部教授	寺尾 徹
副館長 (研究担当)	寺尾 徹	教育学部教授	伊藤 文紀
副館長 (資料担当)	伊藤 文紀	農学部教授	野田 潔
事務	野田 潔	学術部長	白井 修
事務	白井 修	情報図書グループサブリーダー	上佐香奈江 (2016.4.1~2017.2.28)
事務補佐員	上佐香奈江 (2016.4.1~2017.2.28)		
博物館会議			
議長	館長	寺林 優	
教育学部	副館長 (研究担当)	寺尾 徹	
農学部	副館長 (資料担当)	伊藤 文紀	
教育学部	准教授	篠原 渉	
教育学部	教授	金子 太郎	
連合法務研究科	准教授	清淵 彰	
経済学部	教授	大北 貴照	
地域マネジメント研究科	教授	井上 健一	
医学部	准教授	新井 明治	
工学部	准教授	石原 秀則	
工学部	准教授	松本 由樹	
農学部	准教授	橋本 敬三	
情報図書グループ	リーダー		

2014 (平成26) 年度

情報担当副学長	寛 善行	工学部教授	寺林 優
館長	寺林 優	教育学部教授	寺尾 徹
副館長 (研究担当)	寺尾 徹	農学部教授	伊藤 文紀
副館長 (資料担当)	伊藤 文紀	学術部長 (2014.4.1~2014.7.23)	西川 暢一
事務	西川 暢一	学術部長 (2015.1.1~)	石橋 英二
事務	石橋 英二	情報図書グループサブリーダー	岩澤 尚子
事務	岩澤 尚子		
事務補佐員	ルーツ由佳		
博物館会議			
議長	館長	寺林 優	
教育学部	副館長 (研究担当)	寺尾 徹	
農学部	副館長 (資料担当)	伊藤 文紀	
教育学部	教授	古草 敦史	
教育学部	准教授	松下 幸司	
教育学部	准教授	松本 一範	
教育学部	准教授	篠原 渉	
法学部	教授	金子 太郎	
連合法務研究科	教授	馬淵 勉	
経済学部	教授	井上 貴照	
経済学部	教授	小宮 一高	
地域マネジメント研究科	准教授	大北 健一	
医学部	准教授	新井 明治	
医学部	技術職員	永田 若	
工学部	准教授	石原 秀則	
工学部	講師	守屋 均	
農学部	准教授	松本 由樹	
農学部	准教授	安井 行雄	
大学教育開発センター	准教授	岩中 貴裕	
情報図書グループ	リーダー	北條 充敏	

2017 (平成29) 年度

情報・学術担当副学長	吉田 秀典 (~2017.9.30)		
図書館・博物館・特命担当副学長	中舎 喜博 (2017.10.1~)		
館長	寺林 優	工学部教授	寺尾 徹
副館長 (研究担当)	寺尾 徹	教育学部教授	伊藤 文紀
副館長 (資料担当)	伊藤 文紀	農学部教授	野田 潔
事務	野田 潔	学術部長	白井 修
事務	白井 修	情報図書グループサブリーダー	鎌田 真菜
事務補佐員	鎌田 真菜		
博物館会議			
議長	館長	寺林 優	
教育学部	副館長 (研究担当)	寺尾 徹	
農学部	副館長 (資料担当)	伊藤 文紀	
教育学部	准教授	篠原 渉	
教育学部	准教授	佐川友佳子	
法学部	准教授	宮崎 浩一	
経済学部	准教授	大北 健一	
地域マネジメント研究科	教授	久富 信之	
医学部	准教授	石井 明	
工学部	教授	松本 由樹	
農学部	准教授	橋本 敬三	
情報図書グループ	リーダー		

2018 (平成30) 年度

情報・危機管理・学術・特命担当副学長	吉田 秀典	創造工学部教授
館長	寺林 優	教育学部教授
副館長 (研究担当)	寺尾 徹	農学部教授
副館長 (資料担当)	伊藤 文紀	学術部長
事務	宮下 真来枝	情報図書グループサブリーダー
事務	竹島 雅美	
事務	村尾 佳範 (2018.12.1 ~)	情報図書グループチーフ
事務補佐員	鎌田 真菜 (~ 2018.9.30)	
事務補佐員	ルーツ 由佳 (2018.10.9 ~ 2018.12.21)	
事務補佐員	井上 幸恵 (2019.1.1 ~)	
博物館会議		
議長	館長	寺林 優
教育学部	副館長 (研究担当)	寺尾 徹
農学部	副館長 (資料担当)	伊藤 文紀
教育学部	准教授	篠原 渉
法学部	教授	石井 一也
経済学部	教授	横山 佳充
地域マネジメント研究科	教授	岩本 直
医学部	准教授	久富 信之
創造工学部	教授	石井 明
農学部	准教授	松本 由樹
情報図書グループ	リーダー	叶井 貴一郎

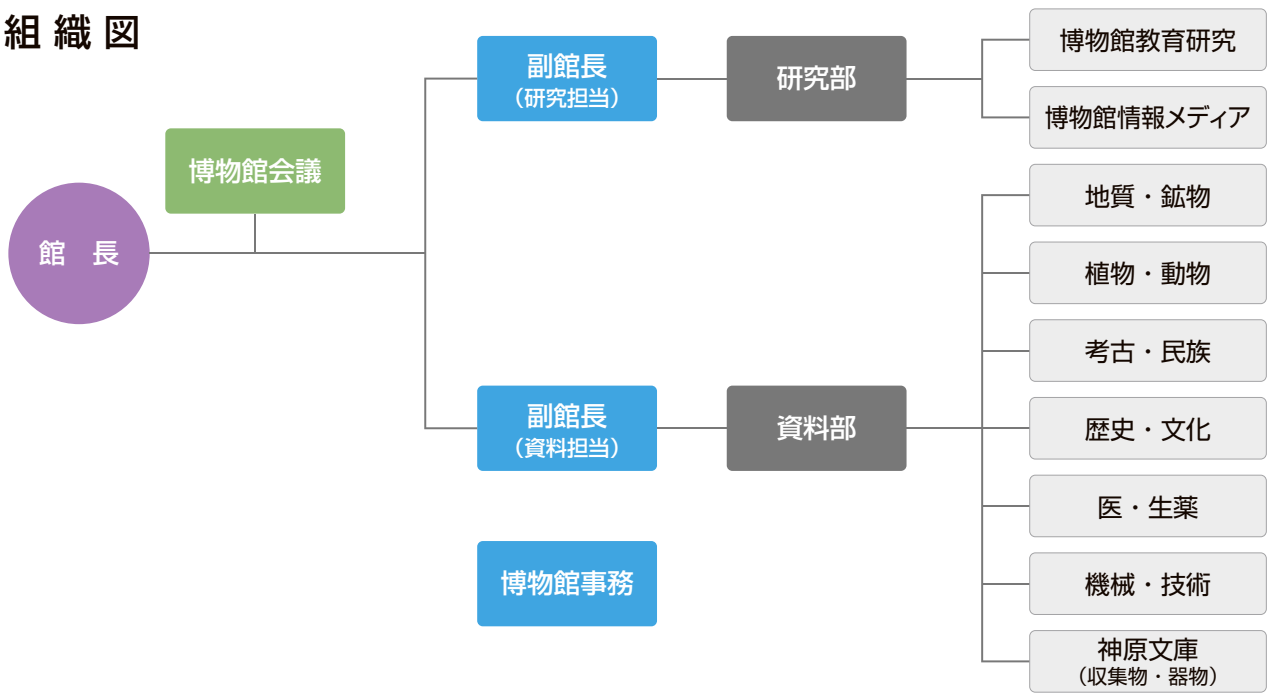
2020 (令和2) 年度

情報・危機管理・学術・特命担当副学長	吉田 秀典	創造工学部教授
館長	寺林 優	教育学部教授
副館長 (研究担当)	篠原 渉	農学部教授
副館長 (資料担当)	伊藤 文紀	学術部長
事務	川端 義則	情報図書グループサブリーダー
事務	竹島 雅美	
再採用職員	村尾 佳範	
事務補佐員	井上 幸恵	
博物館会議		
議長	館長	寺林 優
教育学部	副館長 (研究担当)	篠原 渉
農学部	副館長 (資料担当)	伊藤 文紀
教育学部	教授	寺尾 徹
法学部	教授	石井 一也
経済学部	講師	福村 晃一
地域マネジメント研究科	教授	西中 美和
医学部	准教授	久富 信之
創造工学部	講師	國枝 孝之
農学部	准教授	松本 由樹
情報図書グループ	リーダー	福山 栄作

2019 (平成31・令和元) 年度

情報・危機管理・学術・特命担当副学長	吉田 秀典	創造工学部教授
館長	寺林 優	教育学部教授
副館長 (研究担当)	篠原 渉	農学部教授
副館長 (資料担当)	伊藤 文紀	学術部長
事務	小野 浩三	情報図書グループサブリーダー
事務	竹島 雅美	
再採用職員	村尾 佳範	
事務補佐員	井上 幸恵	
博物館会議		
議長	館長	寺林 優
教育学部	副館長 (研究担当)	篠原 徹
農学部	副館長 (資料担当)	伊藤 文紀
教育学部	教授	寺尾 徹
法学部	教授	石井 一也
経済学部	教授	久松 博之
地域マネジメント研究科	教授	西中 美和
医学部	准教授	久富 信之
創造工学部	講師	國枝 孝之
農学部	准教授	松本 由樹
情報図書グループ	リーダー	叶井 貴一郎

● 組織図



○香川大学博物館規程

平成19年4月1日

(趣旨)

第1条 この規程は、国立大学法人香川大学組織規則第17条第3項の規定に基づき、香川大学博物館(以下「博物館」という。)に関し必要な事項を定める。

(目的)

第2条 博物館は、香川大学(以下「本学」という。)の学術標本資料の収集・管理・展示、公開及び学術標本資料に関する教育研究支援を行うとともに、学内外の教育研究活動に寄与することを目的とする。

(業務)

第3条 博物館は、次の各号に掲げる業務を行う。

- (1) 学術標本資料の調査・収集、分類・保存及びその利用に関すること。
- (2) 学術標本資料の解析及び学術評価に関すること。
- (3) 学術標本資料の情報化に関すること。
- (4) その他博物館の目的を達成するために必要なこと。

(組織)

第4条 博物館に、研究部及び資料部を置く。

2 研究部及び資料部に関し必要な事項は別に定める。

(博物館会議)

第5条 博物館の円滑な運営を図るため、香川大学博物館会議(以下「博物館会議」という。)を置く。

2 博物館会議に関し必要な事項は、別に定める。

(職員)

第6条 博物館に次の各号に掲げる職員を置く。

- (1) 館長
- (2) 副館長(研究担当)
- (3) 副館長(資料担当)
- (4) 研究員
- (5) その他の職員

(館長)

第7条 館長の任命は、学長が指名する理事又は副学長が本学の専任教員の中から推薦し、学長が行う。

2 館長の任期は2年とし、再任を妨げない。ただし、任期の末日は、当該館長を任命する学長の任期の末日以前とする。

3 前項の規定にかかわらず、館長が辞任をした場合又は欠員となった場合の後任者の任期は、前任者の残任期間とする。

(副館長)

第8条 副館長の任命は、本学の専任教員の中から館長の申し出に基づき、学長が行う。

2 前項の申し出は、博物館会議が選考した候補者を推薦することにより行う。

3 副館長は、館長の職務を助け、博物館の業務を処理する。

4 副館長の任期は2年とし、再任を妨げない。ただし、副館長が辞任をした場合又は欠員となった場合の後任者の任期は、前任者の残任期間とする。

(研究員)

第9条 博物館に、本学の学術標本資料の調査・収集、分類・保存のため、及び学術標本資料を用いた教育・研究のため研究員を置く。

2 研究員は、本学教職員から選出するものとし、所属部局等の長の同意を経て、館長が委嘱する。

(学外協力者)

第10条 博物館に、学外協力者を置くことができる。

2 学外協力者は、博物館会議の議を経て、館長が委嘱する。

(事務)

第11条 博物館の事務は、当分の間、学術部情報図書グループにおいて処理する。

(雑則)

第12条 この規程に定めるもののほか、博物館に関し必要な事項は、別に定める。

附 則

この規程は、平成19年4月1日から施行する。

附 則

1 この規程は、平成25年4月1日から施行する。

2 この規程の施行の際、現に館長である者の任期は、第7条第2項の規定にかかわらず、平成25年9月30日までとする。

附 則

この規程は、平成27年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成27年11月1日から施行する。

附 則

この規程は、令和2年4月1日から施行する。

○香川大学博物館研究部規程

平成19年7月10日

(趣旨)

第1条 この規程は、香川大学博物館規程第4条第2項の規定に基づき、香川大学博物館研究部(以下「研究部」という。)の組織及び運用に関し必要な事項を定める。

(目的)

第2条 研究部は、香川大学博物館の目的を達成するため、学術標本資

料の解析及び学術評価を行うとともに、その情報化に関する教育及び研究の進展を図ることを目的とする。

(組織)

第3条 研究部に、博物館教育研究及び博物館情報メディア研究の分野を置く。

(研究部会議)

第4条 研究部に学術標本資料の活用等に関する事項を審議するため、研究部会議を置く。

2 研究部会議の運営に関し必要な事項は、別に定める。

(事務)

第5条 研究部の事務は、当分の間、学術部情報図書グループにおいて処理する。

(雑則)

第6条 この規程に定めるもののほか、研究部に関し必要な事項は、別に定める。

附 則

この規程は、平成19年7月10日から施行する。

附 則

この規程は、平成27年11月1日から施行する。

附 則

この規程は、令和2年4月1日から施行する。

○香川大学博物館資料部規程

平成19年7月10日

(趣旨)

第1条 この規程は、香川大学博物館規程第4条第2項の規定に基づき、香川大学博物館資料部(以下「資料部」という。)の組織及び運用に関し必要な事項を定める。

(目的)

第2条 資料部は、香川大学博物館の目的を達成するため、学術標本資料の調査・収集、分類・保存を行うとともに、その利用に関する教育及び研究を補助し、その進展を図ることを目的とする。

(組織)

第3条 資料部に地質・鉱物、植物・動物、考古・民族・歴史・文化、医・生薬、機械・技術、神原文庫(収集物・器物等)の専門分野を置く。

(分野主任)

第4条 各専門分野に分野主任を置く。

2 分野主任は、当該分野に関係のある兼任教員をもって充てる。

3 分野主任の選出は、各分野の推薦に基づき、館長が委嘱する。

4 分野主任は、各分野における学術標本の管理、運用の取りまとめを行う。

5 分野主任の任期は2年とし、再任を妨げない。ただし、欠員が生じた場合の補欠の分野主任の任期は前任者の残任期間とする。なお、再任を妨げない。

(主任会議)

第5条 資料部に学術標本の管理・運用に関わる諸事項および各分野間の連絡調整を計るため、主任会議を置く。

2 主任会議の運営に関し必要な事項は、別に定める。

(事務)

第6条 資料部の事務は、当分の間、学術部情報図書グループにおいて処理する。

(雑則)

第7条 この規程に定めるもののほか、資料部に関し必要な事項は、別に定める。

附 則

この規程は、平成19年7月10日から施行する。

附 則

この規程は、平成27年11月1日から施行する。

附 則

この規程は、令和2年4月1日から施行する。

○香川大学博物館会議規程

平成19年4月1日

(趣旨)

第1条 この規程は、香川大学博物館規程第5条第2項の規定に基づき、香川大学博物館会議(以下「博物館会議」という。)に関し、必要な事項を定める。

(任務)

第2条 博物館会議は、香川大学博物館(以下「博物館」という。)に関し、次の各号に掲げる事項を審議する。

- (1) 博物館の運営に関する事項
- (2) 博物館資料の運用及び整備に関する事項
- (3) その他博物館の管理運営に関して必要とする事項

(組織)

第3条 博物館会議は、次の各号に掲げる委員をもって組織する。

- (1) 館長
- (2) 副館長(研究担当)
- (3) 副館長(資料担当)
- (4) 各学部から選出された教員各1人
- (5) 地域マネジメント研究科から選出された教員1人

- (6) 情報図書グループリーダー
 (7) その他館長が必要と認めた者
- 2 前項第4号及び第5号の委員数において、副館長が任命された部局等はその副館長を選出された委員数に含める。
- 3 第1項第4号、第5号及び第7号の委員は、それぞれの部局等の長の推薦に基づき、学長が任命する。
- 4 第1項第4号、第5号及び第7号の委員の任期は、2年とし、再任を妨げない。ただし、委員に欠員が生じたときの補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。
 (議長)
- 第4条 博物館会議に議長を置き、館長をもって充てる。
 2 議長は、博物館会議を招集し、主宰する。
 3 議長に事故があるときは、議長の予め指名した副館長がその職務を代行する。
 (議事)
- 第5条 博物館会議は、委員の過半数の出席がなければ、議事を開くことができない。
 2 議事は、出席委員の過半数をもって決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。
 (委員以外の者の出席)
- 第6条 博物館会議は、必要があるときは、委員以外の者の出席を求め意見を聴くことができる。
 (専門会議)
- 第7条 博物館会議は、専門の事項を検討するため、必要に応じて専門会議を置くことができる。
 2 専門会議に関し必要な事項は、別に定める。
 (事務)
- 第8条 博物館会議の事務は、当分の間、学術部情報図書グループにおいて処理する。
 (雑則)
- 第9条 この規程に定めるもののほか、博物館会議に関し必要な事項は、博物館会議が別に定める。

附 則

この規程は、平成19年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成23年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成23年5月13日から施行し、平成23年4月1日から適用する。

附 則

この規程は、平成25年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成27年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成27年11月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成29年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、令和2年4月1日から施行する。

○香川大学博物館利用規程

平成24年1月1日

(趣旨)

第1条 この規程は、香川大学博物館規程第12条の規定に基づき、香川大学博物館(以下「博物館」という。)の利用に関し、必要な事項を定めるものとする。

(利用者)

第2条 博物館を利用できる者(以下「利用者」という。)は、次の各号に掲げる者とする。

- (1) 本学の職員
- (2) 本学の学生(研究生を含む。)
- (3) 本学の名誉教授
- (4) 本学に受け入れた各種研修員、研究員及び外国人研究者
- (5) 本学の旧職員
- (6) 本学の卒業生
- (7) その他一般利用者

2 博物館は、必要があると認めるときは、利用者に対し身分証明書等の提示を求めることができる。

(開館時間)

第3条 博物館の開館時間は、午前10時から午後4時までとする。

2 香川大学博物館長(以下「館長」という。)は、特別の事情がある場合においては、前項の開館時間を変更することができる。

(休館日)

第4条 博物館の休館日は、次のとおりとする。

- (1) 日曜日及び月曜日
- (2) 国民の祝日に関する法律(昭和23年法律第178号)に規定する休日
- (3) 年末年始(12月28日から翌年の1月4日まで)

2 前項に定めるもののほか、館長が必要と認めるときは、臨時に休館又は開館することができる。

(利用者の遵守事項)

第5条 利用者は、博物館の利用に当たって、次の各号を遵守しなければ

ならない。

- (1) 他の利用者の迷惑にならないこと。
- (2) 資料及び備品等を汚損及びき損しないこと。
- (3) 館内で飲食しないこと。
- (4) 許可なくして資料等の撮影をしないこと。
- (5) その他博物館職員の指示に従うこと。

(入館規律)

第6条 前条に反し、又は職員の指示に従わない者に対しては、博物館の入館に制限を加えることがある。

(損害賠償の義務)

第7条 利用者は、故意又は重大な過失により資料及び備品等を汚損及びき損若しくは博物館の施設及び設備に損害を与えたときは、これを弁償しなければならない。

(資料の寄贈)

第8条 博物館に資料を寄贈しようとする者は、寄贈申込書(別記様式第1号)により館長に申し出るものとする。

2 館長は、資料の寄贈を受けたときは、寄贈者に受領書(別記様式第2号)を交付するものとする。

(資料の寄託)

第9条 博物館に資料を寄託しようとする者は、寄託申込書(別記様式第3号)を館長に提出し、その承認を得なければならない。

(寄託資料等の取扱い)

第10条 館長は、前条の寄託資料及び所有者に出品を依頼した展示資料(以下「寄託資料等」という。)を受け入れたときは、当該所有者に預り証(別記様式第4号)を交付し、資料を返還するときは、預り証と引き替えに所有者に引き渡すものとする。

2 寄託資料等の保管は、無償とする。ただし、保管に特別の費用を要するものは、この限りでない。

3 寄託資料等の運搬費、展示費及び保存のため必要な修理費は、博物館においてその一部又は全部を負担することができる。

(損害賠償の免責)

第11条 博物館は、寄託資料等が天災、火災その他避けられない事故によって汚損し、又は亡失した場合は、寄託者に対して補償の責めを負わない。

(個人情報情報の漏えい防止)

第12条 資料等に記録されている個人情報については、国立大学法人香川大学個人情報管理規則の規定に準じて、その漏えい防止のための措置を講ずるものとする。

(雑則)

第13条 この規則に定めるもののほか、博物館の利用に関し必要な事項は、館長が別に定める。

附 則

この規程は、平成24年1月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成30年6月1日から施行し、平成29年11月24日から適用する。

附 則

この規程は、令和元年6月6日から施行し、令和元年5月1日から適用する。

○香川大学博物館学外協力者に関する申合せ

平成21年4月1日

(趣旨)

1 香川大学博物館(以下「本館」という。)の研究等の推進を図るため、香川大学博物館規程第10条第1項の規定に基づく学外協力者を置くときは、この申合せにより必要な事項を定める。

(申込)

2 前項の学外協力者として本館における活動を行おうとする者がいる場合は、別記様式による申込書に所定の記載をさせ、館長へ提出させるものとする。

(選考)

3 館長は、前項の申込書を提出した者を学外協力候補者として本館会議に推薦し、学外協力者の受入れ及び委嘱について選考する。

(期間)

4 学外協力者の委嘱期間は2年とし、満了後の期間更新を妨げない。

(経費)

5 学外協力者の受入れ及び本館における活動に要する経費は、すべて学外協力者の負担とする。ただし、ボランティア保険は、博物館が加入する。

(活動内容)

6 学外協力者は、本館の職員と連携し、本館の標本の整理・保管、その標本に基づく研究等のための協力を行うものとする。

(成果取扱)

7 前項の活動成果の取扱いについては、当該研究データ等を公開する場合に館長の承諾がなければこれを行わない等、あらかじめ学外協力者からその旨を誓約させておくものとする。

(その他)

8 この申合せに定めるもののほか、学外協力者に関して必要な事項は、本館会議が別に定める。

附 則

この申合せは、平成21年4月1日から適用する。

The Kagawa University Museum



利用案内

- 開館時間 10:00～16:00
- 休館日 日曜日、月曜日、祝日／年末年始／大学入学共通テスト／展示替えの期間等
※オープンキャンパス、香川大学祭、未来からの留学生等の開催中は開館することがあります。
※休館日の詳細についてはウェブサイトまたは電話でご確認ください。
- 入館料 無料

交通

■ JR高松駅から

【徒歩】18分(駅前広場地下にレンタサイクルあり)

【ことでんバス】

下笠居線・香西線 高松駅バスターミナル②番のりば

[11] 昭和町市図書館 弓弦羽
「幸町」下車 徒歩2分

[13] 県庁・日赤前 宮脇町 弓弦羽
「宮脇町」下車 徒歩8分

[15] 県庁・日赤前 宮脇町 香西車庫
「宮脇町」下車 徒歩8分

まちなかループバス 高松駅バスターミナル①番のりば

[東廻り]「香川大学教育学部前」下車 徒歩1分

[西廻り]「香川大学教育学部前」下車 徒歩2分

■ JR昭和町駅から

【徒歩】8分

■ ことでん瓦町駅から

【徒歩】23分(駅地下にレンタサイクルあり)

【ことでんバス】

香西線 瓦町駅前バスのりば③番のりば

[23] 弓弦羽
「宮脇町」下車 徒歩8分

まちなかループバス 瓦町駅東口バスのりば①番のりば

[東廻り]「香川大学教育学部前」下車 徒歩1分

[西廻り]「香川大学教育学部前」下車 徒歩2分

※駐車場がありませんので、公共交通機関もしくは周辺のコインパーキングなどをご利用ください。

■ アクセスマップ



■ 香川大学幸町北キャンパス



問い合わせ

香川大学博物館

- 住所：〒760-8521 香川県高松市幸町1-1
- TEL：087-832-1300
- FAX：087-832-1301
- E-mail：museum@kagawa-u.ac.jp
- HP：http://www.museum.kagawa-u.ac.jp/



香川大学博物館 13 年間の歩み

- 発行日 令和3年3月
- 発行者 香川大学博物館
寺林 優
村尾 佳範
井上 幸恵
- 印刷製本 株式会社 美巧社